

# 豊田厚生病院年報

令和6年度

*Toyotakosei Hospital Annual Report 2024*

# 豊田厚生病院理念

私たちはたえず  
新しい医療のあり方を追求し  
優しさと温かさを大切にして  
地域の人たちと共に歩みます



## 基本方針

私たちは、次の基本方針に基づいて患者に適切な医療・保健・福祉サービスを提供します。

1. 公的病院として、地域住民の健康増進・病気の治療と予防に努めます。
2. 患者の権利に配慮した安全で安心できる医療・保健・福祉サービスの提供を行います。
3. 常に医学の進歩に目を向け、人的・設備的な質向上に努めます。
4. 地域の医療機関との緊密な連携を図り、患者中心の地域医療体系の構築に努めます。

## 患者の権利と責任

1. 個人の尊厳  
人格が尊重され人間としての尊厳を守られる権利があります。
2. 平等な医療を受ける権利  
良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
3. 知る権利  
病状・検査・治療について十分な説明を受ける権利があります。
4. 自己決定の権利  
納得できるまで説明を受けた上で、自ら治療方法を選択する権利があります。また、セカンド・オピニオンを求めることができます。
5. プライバシーが守られる権利  
ご自分の情報を承諾なしに第三者に提示されない権利があります。
6. 参加と協同の責任  
患者は、これらの権利を守るため、医療従事者との信頼関係の構築に努め、医療に参加、協力する責任があります。

# 発刊にあたり

豊田厚生病院 病院長 服部直樹



わが国では少子高齢化による人口減少が加速的に進展しており、高齢化に伴い医療ニーズが増加する一方で、生産年齢人口の減少により医療従事者の労働力不足を招いております。また、労働力人口の減少は、経済成長の鈍化や社会保障制度の維持を困難とする要因ともなり、社会保障給付費は年々増加の一途を辿っております。国は給付費の削減や負担の引き上げによる社会保障制度の維持を目指しておりますが、国民皆保険制度の維持や必要な医療サービスの提供などへ支障が出るのが懸念されております。

医療・介護の分野においては、人件費や物価等の高騰で収入増をはるかに上回るスピードで経費が増えており、医療機関は非常に苦しい経営を迫られています。令和6年度診療報酬改定では経費上昇に見合うだけの報酬引き上げはなく、前年度にも増して赤字施設の割合は増加し、地域の医療提供体制が崩壊しかねない状況に瀕しています。

こうしたなか、当院は西三河北部医療圏の中核病院として地域における役割を果たすとともに、地域住民に安全で安心な医療を提供するため、以下の取り組みを行いました。

- ① 新興感染症に対し入院診療等を実施する医療機関として、第一種協定指定医療機関に指定されました。第二種感染症指定医療機関の役割とあわせて、指定感染症等の診療体制充実に努めて参ります。
- ② 放射線治療体制強化のため、放射線治療医を増員しました。強度変調放射線治療（IMRT）の実施が可能となり、がん治療の幅が広がりました。
- ③ 体外式衝撃波結石破碎装置を更新しました。尿路結石手術において、より広い範囲の結石に対し、精度の高い治療が可能となりました。
- ④ 臨床研修医の質を確保するため、卒後臨床研修評価機構（JCEP）による更新審査を受けて認定されました。質の高い指導要綱や体制、実績等が認められ、特に優れた病院に与えられる「エクセレント賞」を受賞しました。
- ⑤ 地域の小中学生を対象に、「夏休みキッズセミナー」を開催しました。子供向けの医療体験を通じ、未来の医療従事者育成へ繋げていきます。
- ⑥ 健康管理センターの機能強化として、新規のドックやオプション検査を導入しました。予防医療を充実させることで、地域住民の健康増進へ寄与していきます。

運営面では、外来は1日当りの患者数1,311人（予算1,316人、前年度1,340人）1人当りの診療単価30,655円（予算29,416円、前年度29,101円）となりました。入院は、1日当りの患者数547人（予算549人、前年度555人）1人当りの診療単価86,014円（予算84,352円、前年度86,786円）となりました。外来は単価が上昇したことで前年度を上回りましたが、入院は患者数・単価ともに下回る結果となりました。

今後も当地域の高度急性期病院として、最新の医療機器や医療技術の導入、医療従事者の確保などにより質の高い医療が提供できるよう邁進いたします。そのためにも、病院経営に厳しい時代ではありますが、経営健全化に向けて職員一丸となって取り組んで参ります。地域住民の健康増進に配慮した、安全で安心できる医療・保健・福祉サービスを提供できるよう努めて参ります。

令和7年12月1日

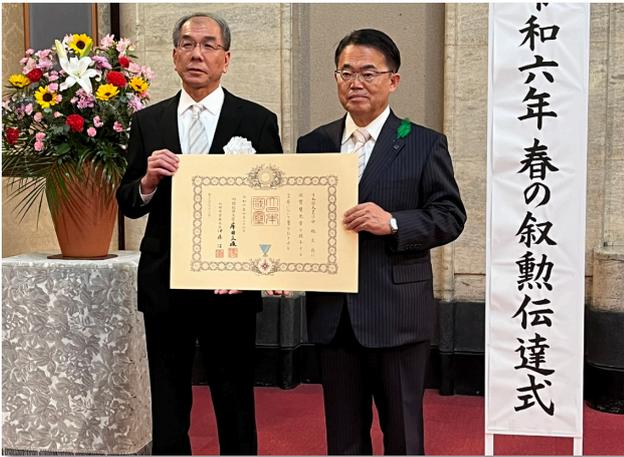
病院長 服部 直樹



4月 新入職員研修



5月 かもボランティア 緑綬褒章を受章



5月 臨床検査技師 中根生弥さん 瑞宝双光章受章



6月 消化・避難訓練実施



8月 夏休みキッズセミナー開催



9月 脊椎ドック・腰痛ドック開始



9月 豊田市山岳救助合同訓練実施



11月 厚生連球技大会 (バレー部)



11月 厚生連球技大会 (野球部)



12月 JCEP認定更新・エクセレント賞受賞



1月 厚生連卓球大会



3月 定年退職者を送る会

take free

豊田厚生病院 広報誌

# 豊田厚生 Navi

特集：婦人科 低侵襲手術



P2 — 婦人科 低侵襲手術  
 P4 — 能登半島地震被災地支援 豊田厚生病院のDMAT活動  
 P6 — 今日からできる！減塩のコツ  
 P7 — みなさまの地域のかかりつけ医を紹介します  
     ■ 美里たなかクリニック  
     ■ もとまち内科クリニック  
 P8 — ニュース

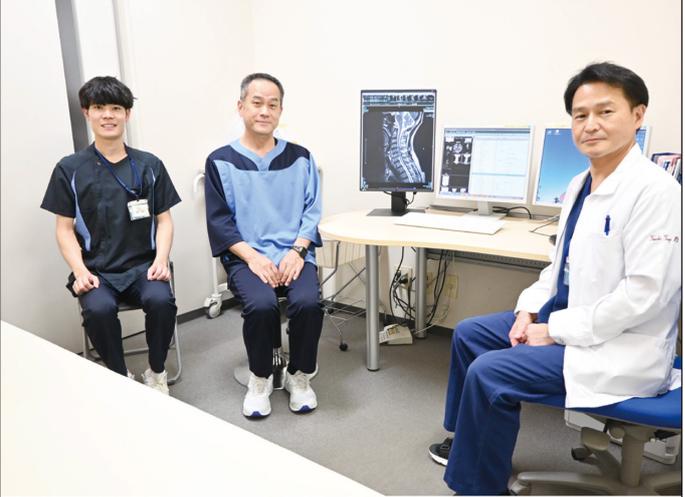
**Vol.103**  
2024 / spring  
ご自由にお持ちください

take free

豊田厚生病院 広報誌

# 豊田厚生 Navi

特集：脊椎ドック・腰痛ドック



P2 — 脊椎ドック・腰痛ドック  
 P4 — 高精度放射線治療を適応する疾患を拡大しました  
 P5 — 肩甲骨ストレッチにて肩こりを予防しましょう  
 P6 — 夏休みキッズセミナー！めざせ未来のドクター  
 P7 — みなさまの地域のかかりつけ医を紹介します  
     ■ なかおクリニック  
     ■ 『かかりつけ医検索システム』について  
 P8 — ニュース

**Vol.104**  
2024 / summer  
ご自由にお持ちください

take free

豊田厚生病院 広報誌

# 豊田厚生 Navi

特集：口腔がんの光免疫療法



P2 — 口腔がんの光免疫療法  
 P4 — 骨粗しょう症ドック 令和6年11月新設予定  
 P5 — 膀胱がんドック 令和6年11月新設予定  
 P6 — 患者満足度アンケート調査結果  
 P7 — みなさまの地域のかかりつけ医を紹介します  
     ■ 小石川医院  
 P8 — ニュース

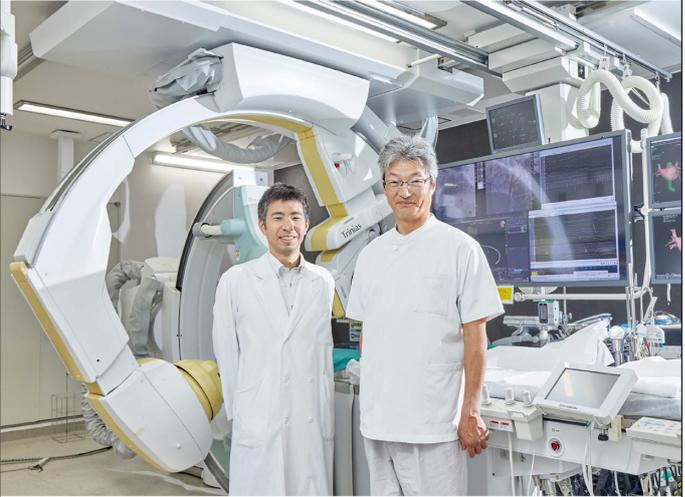
**Vol.105**  
2024 / autumn  
ご自由にお持ちください

take free

豊田厚生病院 広報誌

# 豊田厚生 Navi

特集：心房細動の新たな治療法



P2 — 年始のご挨拶  
 P3 — 健康管理センターからのお知らせ～オプション検査のご紹介～  
 P4 — 心房細動の新たな治療法  
 P6 — 新たに始まる地域医療連携  
     ■ こばやし腎・泌尿器科クリニック  
 P7 — 第26回 市民公開講座  
 P8 — 第8回「健診スクール」

**Vol.106**  
2025 / winter  
ご自由にお持ちください

# 目次

豊田厚生病院理念	1
基本方針、患者の権利と責任	2
発刊にあたり	3
主な出来事	4
広報誌院外版	6
豊田厚生病院概要	9
豊田厚生病院組織図	11
豊田厚生病院会議・委員会組織図	12
医師名簿	13
役付職員名簿	15
職員数	16
令和6年度事業計画	17

## I. 医療実績

1. 診療科別延患者数及び診療収入	
1) 科別延患者数	23
2) 科別診療収入	24
2. 市町村別利用状況	
1) 市町村別外来利用状況	25
2) 市町村別入院利用状況	26
3. 年齢別利用状況	
1) 年齢別外来利用状況	27
2) 年齢別入院利用状況	27
4. 救命救急センター外来利用状況	
1) 診療科別患者数	28
2) 月別患者数	29
3) 救急車受入状況	29
5. 手術件数	32
6. 分娩数・死亡数・剖検数	33
7. 退院患者統計	
1) 診療科別・月別退院患者数	34
2) 診療科別・死亡退院患者数	34
3) 地域別・年齢階層別退院患者数	35
4) 疾病別・診療科別退院患者数	37
5) 診療科別・在院期間別退院患者数	38

6) 疾病別・在院期間別退院患者数	39
7) 疾病別・年齢階層別退院患者数	40
8) 診療科別疾患順位	42
8. 剖検数	46
II. 部署別業務実績	
1. 診療放射線室	49
2. 臨床検査室	55
3. リハビリテーション室	60
4. 臨床工学室	62
5. 栄養管理室	66
6. 薬剤部	69
7. 看護部	74
8. 医療安全管理部	75
9. 感染制御部	80
10. 地域医療連携課（地域医療連携係）	84
11. 地域医療連携課（在宅支援コーディネーター係）	88
12. 医療福祉相談課（兼がん相談支援センター）	90
13. 豊田厚生訪問看護ステーション	93
14. 居宅介護支援事業所（豊田厚生介護保険センター）	96
15. 豊田厚生地域包括支援センター	98
16. 保険事業部 健康管理室	101
III. 職員活動	
1. 研究業績	107
2. 院内研修活動	
1) 全体講演会・全体発表会	132
2) 市民向け講座	135
IV. 委員会活動	
1. 委員会一覧	139



# 豊田厚生病院概要

令和7年3月1日現在

## ■ 名 称

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院

## ■ 所在地

〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原500-1  
TEL(0565)43-5000 FAX(0565)43-5100

## ■ 設立年月日

昭和22年5月1日（豊田厚生病院開院 平成20年1月1日）

## ■ 病床数

606床（一般600床・感染症6床）

## ■ 標榜科目 40科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、アレルギー科、緩和ケア内科、感染症内科、精神科、小児科、放射線科、放射線治療科、放射線診断科、臨床検査科、病理診断科、外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、小児外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓外科、救急科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、ペインクリニック外科、歯科口腔外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、皮膚科、産婦人科、リハビリテーション科、化学療法内科

## ■ 専門外来 37科

血液内科、腎臓外来、糖尿病外来、脳神経内科、小児循環器科、小児神経科、小児血液科、小児アレルギー科、小児外科、ストーマ外来、内分泌外来、肝臓外来、ペースメーカークリニック、血管外科、膠原病外来、インプラント外来、助産師外来、乳腺外来、婦人科腫瘍外来、糖尿病フットケア外来、女性専門外来、小児腎臓外来、ボトックス外来、緩和ケア外来、肥満外来、セカンドオピニオン外来、ペインクリニック、胃瘻交換外来、母乳外来、耳鼻いんこう科腫瘍外来、糖尿病療養指導士外来、リウマチ外来、不整脈外来、骨粗鬆症外来、心不全外来、側彎症外来、無痛分娩外来

## ■ 関連施設

豊田厚生訪問看護ステーション、豊田厚生地域包括支援センター、豊田厚生居宅介護支援事業所、加茂看護専門学校

## ■ 施設認定

救急告示病院、保険医療機関、臨床研修病院（医科）、臨床研修施設（歯科）、救命救急センター、地域医療支援病院、豊田加茂地区2次救急医療実施機関、労災保険指定医療機関、エイズ治療協力病院、指定難病指定医療機関、指定小児慢性特定疾病医療機関、地域がん診療連携拠点病院、地域中核災害拠点病院、愛知県肝疾患専門医療機関、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関、脳死下臓器提供施設、DMAT指定医療機関、DPC特定病院群（旧：DPCⅡ群病院）、がんゲノム医療連携病院、第二種感染症指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核指定医療機関、指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）（精神通院医療）、養育医療指定、原爆医療指定（一般・認定疾病）、二次健康診断指定医療機関、全国循環器撮影研究会認定被ばく線量低減推進施設、マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設、病院機能評価認定病院、人間ドック健診施設機能評価認定病院、卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定病院、医療被ばく低減認定施設、母体保護法指定医療機関（医師研修機関）、出生前検査認証制度等運営委員会認定NIPTを実施する医療機関（連携施設）、日本栄養療法推進協議会NST稼動施設、日本臨床栄養代謝学会NST稼動施設、日本適合性認定協会ISO15189認定施

設、日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A制度）認定施設、日本脳卒中学会一次脳卒中センター、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、関連10学会構成胸部ステントグラフト実施施設、関連10学会構成腹部ステントグラフト実施施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施施設、日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設、腹腔鏡下肝切除術日本消化器外科学会連携施設、IMPELLA補助循環器用ポンプカテーテル実施施設、経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設、日本不整脈心電学会経皮的カテーテル心筋冷凍焼灼術施設基準認定施設、日本不整脈心電学会経皮的カテーテル心筋焼灼術施設基準認定施設、日本循環器学会左心耳閉鎖システム実施施設

## ■ 管 理 者

病院長	服部 直樹		
副院長	梶田 光春	薬剤部長	間瀬 悟
副院長	篠田 政典	看護部長	林 眞知子
副院長	久留宮康浩	事務部長	服部 学
副院長	水野 敬輔		
副院長	橋本 良博		

## ■ 学会認定

日本神経学会専門医制度教育施設、日本認知症学会専門医制度教育施設、日本肝臓学会認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本急性血液浄化学会認定指定施設、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会専門医制度認定施設、日本血液学会認定専門研修、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設、日本小児科学会小児科専門医研修施設、日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設、日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本胆道学会指導施設、日本乳癌学会専門医制度認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携）、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設、日本食道外科専門医準認定施設、日本胃癌学会認定施設B、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本リウマチ学会教育施設、呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器専門研修基幹施設、日本脳卒中学会専門医認定施設、三学会構成心臓血管外科専門医認定機修練施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本女性医学会専門医制度認定研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本核医学会専門医教育病院、日本口腔外科学会認定研修施設、日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医制度指定研修施設、日本口腔科学会認定医制度研修施設、日本麻酔科学会麻酔科標榜のための研修施設、日本ペインクリニック学会指定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設、日本感染症学会研修施設、日本病理学会研修認定施設B、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床細胞学会認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本病院会病院総合医育成プログラム認定施設、人間ドック健診専門医暫定研修施設







# 医師名簿

令和7年3月1日現在

職名	氏名	診療科
病院長	服部 直樹	脳神経内科
副院長兼第1診療部長兼保健事業部長兼内科代表部長兼循環器内科代表部長	篠田 政典	循環器内科
加茂看護専門学校校長兼豊田厚生病院副院長兼第2診療部長兼医療情報部長兼小児科代表部長	梶田 光春	小児科
副院長兼救命救急センター長兼血管外科部長	水野 敬輔	外科
副院長兼第3診療部長兼通院治療センター長兼外科代表部長兼乳腺外科部長	久留宮 康浩	外科
副院長兼第4診療部長兼診療協同部長兼臨床研修部長兼泌尿器科代表部長	橋本 良博	泌尿器科
地域医療福祉連携部長兼循環器センター長	金子 鎮二	循環器内科
感染制御部長兼中央手術センター長兼集中治療センター長兼消化器外科部長	菅原 元	外科
医療安全管理部長兼整形外科代表部長兼リハビリテーション科代表部長兼リウマチ科部長	金山 康秀	整形外科
医員	足立 涼輔	内科
医員	野本 大二郎	内科
医員	牧野 良祐	内科
医員	山岸 昂太郎	内科
医員	加納 夏実	内科
医員	由良 暢崇	内科
医員	本郷 香織	内科
呼吸器内科病棟医長	中原 義夫	呼吸器内科
呼吸器内科外来医長	柴田 寛史	呼吸器内科
医員	南谷 有香	呼吸器内科
医員	伊東 幸祐	呼吸器内科
医員	鈴木 日向	呼吸器内科
医師臨床研修科代表部長兼循環器内科外来部長	窪田 龍二	循環器内科
医療安全管理部医療安全管理室長(代表部長待遇)兼循環器内科CCU部長	大橋 大器	循環器内科
心血管治療部長	豊 陽祐	循環器内科
循環器内科外来医長	羽賀 智明	循環器内科
循環器内科病棟医長	中込 敏文	循環器内科
医員	堀 仁美	循環器内科
医員	佐橋 智博	循環器内科
医員	櫻井 礼子	循環器内科
医員	井関 彰太	循環器内科
医員	岩田 恵輔	循環器内科
医員	米山 千里	循環器内科
医員	佐藤 佑城	循環器内科
内視鏡センター長兼消化器内科病棟部長兼化学療法内科部長	森田 清	消化器内科
消化器内科代表部長	都築 智之	消化器内科
消化器内視鏡部長	竹内 淳史	消化器内科
消化器内科病棟医長	高土 ひとみ	消化器内科
消化器内科外来医長	内田 元太	消化器内科
内視鏡センター医長	古根 聡	消化器内科
医員	石川 大貴	消化器内科
医員	木村 侑樹	消化器内科
医員	細野 幸太	消化器内科

職名	氏名	診療科
脳神経内科代表部長	富田 稔	脳神経内科
脳神経内科病棟部長	池田 昇平	脳神経内科
脳神経内科外来部長	高橋 美江	脳神経内科
医員	佐藤 萌美	脳神経内科
医員	糸見 百合子	脳神経内科
医員	稲垣 祐美	脳神経内科
医員	松波 亜佐子	脳神経内科
医員	橋本 明香里	脳神経内科
内分泌・代謝内科代表部長	澤井 喜邦	内分泌・代謝内科
医員	玉腰 徳子	内分泌・代謝内科
医員	関本 ちひろ	内分泌・代謝内科
医員	鈴木 亮大	内分泌・代謝内科
医員	村瀬 萌絵	内分泌・代謝内科
血液浄化センター長兼腎臓内科代表部長	倉田 久嗣	腎臓内科
腎臓内科病棟部長	吉岡 知輝	腎臓内科
医員	斉藤 絢恵	腎臓内科
医員	小林 優大	腎臓内科
医員	須川 耀祥	腎臓内科
医員	渡邊 絢史	腎臓内科
医員	武田 有記	腎臓内科
血液内科代表部長兼化学療法内科代表部長	平賀 潤二	血液内科
血液内科病棟医長	原田 靖彦	血液内科
医員	藤井 智基	血液内科
医員	鈴木 奈瑠子	血液内科
総合内科代表部長兼救命救急副センター長	西本 泰浩	総合内科
総合内科医長	渡口 賢隆	総合内科
総合内科病棟医長	加藤 誓子	総合内科
医員	伊藤 怜花	総合内科
緩和ケア内科代表部長	村松 雅人	緩和ケア内科
精神科代表部長	前川 和範	精神科
精神科医長	渡邊 周一	精神科
小児科病棟部長	生駒 雅信	小児科
小児科外来部長	武田 将典	小児科
医員	高瀬 裕樹	放射線治療科
医員	竹下 祥敬	放射線治療科
放射線診断科代表部長	櫻井 悠介	放射線診断科
放射線診断科核医学診断医長	古橋 尚博	放射線診断科
医員	林 勇気	放射線診断科
医員	谷口 眞梨乃	放射線診断科
病理診断科代表部長	山下 依子	病理診断科
感染症内科代表部長兼感染制御室長	川端 厚	感染症内科
地域医療福祉連携部患者相談室長(代表部長待遇)兼外科外来部長	世古口 英	外科
上部消化器外科部長	井上 昌也	外科
下部消化管外科部長	加藤 健宏	外科
医員	等々力 広業	外科
医員	田中 雅人	外科
医員	石田 航大	外科
医員	市野 貴大	外科
医員	藤澤 建太	外科
医員	山口 真和	外科
医員	牛田 雄太	外科
医員	前畑 昂洋	外科

職名	氏名	診療科
呼吸器センター長兼呼吸器外科代表部長	岡 敏樹	呼吸器外科
医員	秋 嘉将	呼吸器外科
医員	岩 侑也	呼吸器外科
医員	伊 俊成	呼吸器外科
脳神経外科代表部長	立 栄二	脳神経外科
脳神経外科外来部長	河 彰乃	脳神経外科
脳神経外科病棟部長	住 正樹	脳神経外科
医員	安 祐人	脳神経外科
医員	渡 亨	脳神経外科
医員	吉 尚吾	脳神経外科
心臓外科代表部長	荒 善盛	心臓外科
心臓外科医	野 美香	心臓外科
医員	小 明裕	心臓外科
医員	佐 一樹	心臓外科
医員	川 鎮	心臓外科
救急科代表部長兼救命救急副センター長	中 成隆	救急科
救急科外来医	竹 元太	救急科
泌尿器科内視鏡部長	宇 美雅之	泌尿器科
泌尿器科腫瘍部長	飯 啓太郎	泌尿器科
医員	内 明太	泌尿器科
医員	岩 豊	泌尿器科
眼科代表部長	山 麻里	眼科
眼科医	加 房枝	眼科
医員	高 千夏	眼科
医員	北 貴広	眼科
医員	武 淳	眼科
耳鼻咽喉科代表部長	澤 倫	耳鼻咽喉科
医員	森 浩紀	耳鼻咽喉科
医員	三 直弥	耳鼻咽喉科
医員	杉 周平	耳鼻咽喉科
医員	遠 佐喜恵	耳鼻咽喉科
麻酔科代表部長	上 博和	麻酔科
ペインクリニック外科部長	小 康裕	麻酔科
医員	酒 博生	麻酔科
医員	川 里奈	麻酔科
医員	川 大地	麻酔科
医員	田 万優子	麻酔科
医員	岩 侑	麻酔科
医員	溝 瑛心	麻酔科
医員	伊 雅人	麻酔科
医員	吉 英樹	麻酔科
医員	嶋 佑太	麻酔科
医員	高 音宇	麻酔科
歯科口腔外科代表部長兼 科医師臨床研修科代表部長	兼 隆次	歯科口腔外科
口腔外科外来医	河 孝真	歯科口腔外科
医員	澤 廉	歯科口腔外科
医員	末 晃宗	歯科口腔外科
脊椎脊髄センター長	辻 太一	整形外科
整形外科病棟部長	大 恭太郎	整形外科
医員	稲 智也	整形外科
医員	高 宏輔	整形外科
医員	田 美咲	整形外科
医員	館 寛人	整形外科
医員	前 真崇	整形外科
医員	藤 論	整形外科

職名	氏名	診療科
形成外科代表部長	川 明子	形成外科
医員	吉 怜奈	形成外科
医員	石 直太	形成外科
皮膚科代表部長	鈴 伸吾	皮膚科
医員	榑 あゆみ	皮膚科
医員	竹 花子	皮膚科
医員	中 啓允	皮膚科
医員	松 健一郎	皮膚科
産婦人科代表部長	針 由美	産婦人科
産婦人科病棟部長	新 加奈子	産婦人科
産婦人科外来部長	新 暁子	産婦人科
医員	神 知都世	産婦人科
医員	前 有美	産婦人科
医員	大 奈央	産婦人科
医員	白 知香	産婦人科
研修医 2年次	五十 達哉	医師臨床研修科
研修医 2年次	小 隼輝	医師臨床研修科
研修医 2年次	酒 颯大	医師臨床研修科
研修医 2年次	柴 光輝	医師臨床研修科
研修医 2年次	白 洋介	医師臨床研修科
研修医 2年次	墨 隆紘	医師臨床研修科
研修医 2年次	高 泰樹	医師臨床研修科
研修医 2年次	中 竣介	医師臨床研修科
研修医 2年次	中 陸	医師臨床研修科
研修医 2年次	日 大輔	医師臨床研修科
研修医 2年次	古 香	医師臨床研修科
研修医 2年次	宮 実里	医師臨床研修科
研修医 2年次	森 絵利加	医師臨床研修科
研修医 2年次	上 万里	医師臨床研修科
研修医 1年次	飯 悠真	医師臨床研修科
研修医 1年次	飯 健太	医師臨床研修科
研修医 1年次	石 慶	医師臨床研修科
研修医 1年次	今 茉由	医師臨床研修科
研修医 1年次	小 達也	医師臨床研修科
研修医 1年次	杉 翔悟	医師臨床研修科
研修医 1年次	竹 弘一	医師臨床研修科
研修医 1年次	都 美奈	医師臨床研修科
研修医 1年次	袴 樹里	医師臨床研修科
研修医 1年次	久 和泉	医師臨床研修科
研修医 1年次	平 慎多郎	医師臨床研修科
研修医 1年次	藤 皓基	医師臨床研修科
研修医 1年次	真 旺大	医師臨床研修科
研修医 1年次	森 公平	医師臨床研修科
研修 歯科医	鳴 晶子	歯科医師臨床研修科

# 役付職員名簿

令和7年3月1日現在

## ◆診療放射線室

室長	深田 真司
課長	遠矢 祐希子
課長	原田 和幸
課長	椿原 隆寿
係長	鷹羽 正悟
係長	阪口 明
係長	近藤 千晃
係長	柴田 貫行
係長	柴田 英輝
係長	小林 晋也
係長	伊藤 友彰

## ◆臨床検査室

室長	田中 浩一
課長	木村 有里
課長	杉山 宗平
課長	深田 英樹
係長	蒲澤 康晃
係長	熊谷 美希
係長	酒巻 尚子
係長	永田 悠起
係長	黒木 雅子
係長	藤田 啓介
係長	高橋 礼子
係長	宮地 文子

## ◆リハビリテーション室

室長	仲川 賢
課長	舟橋 宏樹
課長	吹留 理香
係長	岩附 史明
係長	足立 大典
係長	鬼頭 有子
係長	畑 康夫

## ◆臨床工学室

室長	兵藤 好行
課長	沖島 正幸
課長	酒出 篤弥
係長	辻川 圭亮
係長	小川 正博
係長	谷 亮太
係長	西山 和芳

## ◆栄養管理室

室長	鈴木 祥子
課長	森 茂雄
課長	岩本 拓郎
係長	脇阪 涼子
係長	江口 真奈美
係長	中根 博史

## ◆薬剤部

部長	間瀬 悟
室長	久保田 敏行
室長	中村 和行
室長	中尾 圭介
課長	各務 さとみ
課長	西澤 圭祐
課長	近藤 有
課長	戸田 州俊
係長	松田 詩乃
係長	榎原 崇芳
係長	横山 尚美

係長	志賀 有雅
係長	加藤 恭平
係長	古田 美里
係長	酒井 幹康
係長	下野 大貴
係長	加藤 潤

## ◆看護部

看護部長	林 真千子
看護部副看護部長	富川 由佳里
看護部副看護部長	安藤 愛子
看護部副看護部長	杉山 和美
看護部副看護部長	三田 洋希
課長 ABCDブロック	山越 美穂
課長 ICU	村田 瞳
課長 HCU	上杉 留里子
課長 2A病棟	牧 知香子
課長 3A病棟	三宅 敦子
課長 3B病棟	中野 智子
課長 3C病棟	蕨野 久美子
課長 4A病棟	的場 洋子
課長 4B病棟	関 幸子
課長 4C病棟	川合 舞
課長 4D病棟	吉野 佐知子
課長 5A病棟	古橋 美直子
課長 5B病棟	鈴木 美佐
課長 5C病棟	鬼頭 奈央
課長 5D病棟	伊藤 美幸
課長 中央手術センター	柴田 詠次
課長 救命救急センター	福田 郁栄
課長 内視鏡センター	伊藤 知晴
課長 血液浄化センター	吉野 佐知子
課長 通院治療センター	中王子 美保
課長 看護管理課	櫛田 千景
係長 Aブロック	浅井 陽子
係長 Bブロック	本川 知可
係長 Cブロック	鈴木 幸子
係長 Dブロック	佐藤 修秀
係長 ICU	吉田 栄里
係長 ICU	宇佐見 彩
係長 HCU	伊藤 さとみ
係長 HCU	黒木 有花
係長 2A病棟	戸田 礼美
係長 2A病棟	山崎 聖絵
係長 3A病棟	鈴木 尚子
係長 3A病棟	岡野 純子
係長 3B病棟	森 めぐみ
係長 3B病棟	大牟田 智佳子
係長 3C病棟	加藤 敏子
係長 3C病棟	原田 慶子
係長 3C病棟	地引 雅子
係長 4A病棟	森 下美紗子
係長 4A病棟	富岡 祐衣
係長 4B病棟	岩屋 奈央子
係長 4B病棟	伊藤 亜利沙
係長 4C病棟	稲熊 幸子
係長 4C病棟	豊田 恵
係長 4D病棟	米澤 康子
係長 4D病棟	小澤 秀子
係長 4D病棟	武山 忍
係長 5A病棟	村井 奈津子
係長 5A病棟	渡部 志保
係長 5B病棟	渡邊 かおる
係長 5B病棟	鈴木 香澄
係長 5C病棟	藤原 民智代
係長 5D病棟	小野田 結花

係長	5D病棟	池田 深由季
係長	中央手術センター	竹内 さより
係長	中央手術センター	伊藤 真由美
係長	中央手術センター	青木 浩子
係長	放射線看護課	河村 恵子
係長	救命救急センター	岩下 香代
係長	内視鏡センター	杉浦 公重
係長	看護管理課	石川 雅恵
係長	看護管理課	武藤 聡恵

## ◆事務部

部長	服部 学
企画室長	山田 浩昭
企画係長	目谷 怜士
経理係長	内川 雄太
医事課長	福和 篤
医事統括係長	金田 麻美
医事外来係長	酒井 良英
医事入院係長	山本 員也
診療支援係長	柴田 孝太郎
事務管理室長	鈴木 由加里
総務課長	藤城 宏昭
総務係長	野々山 章斗
施設課長	大藪 宏樹
施設第2係長	近藤 隼
教育研修係長	國定 賢一朗

## ◆医療情報部

室長	田中 浩一
課長	原田 和幸
係長	桑原 涼介
係長	岡田 高明

## ◆地域医療福祉連携部

地域医療連携課長	勝野 知子
地域医療連携係長	白川 尚毅
入退院支援課長	加藤 昭子
在宅支援コーディネーター係長	山本 かおり
医療福祉相談課長	杉村 龍也
医療福祉相談係長	八木 隆太
がん相談支援係長	片寄 智香子
患者相談課長	館向 幸子
患者相談係長	古賀 智美
訪問看護ステーション長	齋藤 靖子
訪問看護係長	阿部 美香
居宅介護支援係長	清水 浩子
地域包括支援センター係長	小林 宏美

## ◆医療安全管理部

課長	加納 千津子
----	--------

## ◆感染制御部

課長	勝野 知子
係長	駒井 博子

## ◆保健事業部

室長	西森 陽子
課長	下竹 美由紀
係長	浦野 美和子
係長	石原 清美
係長	原 明子

# 職員数

令和7年3月1日現在

職種		年度	令和7年	令和6年	備 考	
常勤職員	医師		193	195	研修医29名含む	
	医療技術職	薬剤師	52	52		
		診療放射線技師・医学物理士	37	36		
		臨床検査技師	60	59		
		理学療法士	27	26		
		作業療法士	9	8		
		言語聴覚士	6	5		
		管理栄養士	10	10	栄養士	
		臨床工学技士	21	20		
		ソーシャルワーカー	14	13		
		歯科衛生士	4	4		
		その他	6	6	臨床心理士・視能訓練士	
	小 計		246	239		
	看護部門	保健師		6	6	
		助産師		17	17	
		看護師		652	632	
		准看護師		3	5	
		看護助手		53	54	
		小 計		731	709	
	その他	事務員		126	125	
協助部門補助		6	6	検査科・放射線科補助等		
管理技術者		32	34	ボイラ技士、保育士、調理師等		
管理補助者		11	10	調理員等		
小 計		174	175			
合 計		1,345	1,318			
非常勤職員	医師		63	53		
	看護部門		49	54	看護助手含む	
	その他		36	37		
	合 計		148	144		
総 合 計		1,493	1,462			



# 令和6年度 豊田厚生病院事業計画

## 1. 環境認識

西三河北部医療圏は、2025年までの人口増加が見込まれると同時に高齢化率も上昇し、人口が微減となる2040年には65歳以上人口の増加が急速に進む地域とされています。医療需要の高い年齢層の増加により、今後も医療・介護の需要の高まりが予測されます。

当院は、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院という三つの重要な指定を受けています。救急医療の最後の砦として命を守ること、保健予防事業の充実と最先端のがん治療により健康を維持すること、地域の医療機関との連携により地域全体の医療・介護機能を充実させていくことを地域から求められています。

2024年度より開始される医師の働き方改革に向けては、医師の健康確保と勤務環境の改善を実現させていかなければなりません。医師を中心とした職員の労働環境、経営の安定、地域住民への良質な医療の提供という、それぞれのバランスを保った運営が求められます。

## 2. 事業方針

1. 救急・集中治療・がん医療体制及び看護体制の充実
2. 医療の質向上と医療安全の強化
3. 地域医療連携・地域住民との連携強化
4. 地域包括ケアシステムの構築と医療・介護連携の強化
5. 保健予防事業の充実
6. 安定的な経営基盤の構築
7. タスクシフト・ワークシェアの推進と、医療従事者の業務支援体制の構築

## 3. 重点事項と実施目標

### 1. 医療事業

#### (1) 診療機能の充実

救急医療・集中治療体制の充実	ICU・HCUの効率的運用 ICUにおける早期栄養介入体制の強化と病棟栄養管理の連携強化 手術室の効率的運用 手術室空調の整備に向けた準備 手術支援ロボットの新規術式導入 院内迅速対応チームの充実 治験業務の院内体制の充実 持参薬管理体制の確立
医療提供体制の充実	ERにおける多職種支援の体制整備 豊田・尾三消防との連携強化 放射線関連機器（X-TV、CT）の更新 SPECT装置の更新に向けた準備 栄養指導体制の強化
がん医療の充実	患者待ち時間の短縮に向けた取り組み 地域がん診療連携拠点病院の機能向上 がんゲノム医療連携病院としての機能の充実 通院治療センター機能の効率的運用 放射線治療の機能の充実（IMRT）

看護体制の充実	がんリハビリテーションの充実 急性期一般入院料1の安定的運用 ナースアシスタント関連施設基準の安定的運用
<b>(2) 医療の質・安全強化</b>	
資格取得の推進	認定・専門資格取得の推進と活用 論文・学会発表の推進
医療の質向上	クリニカルパスの見直しと適用率向上 病棟薬剤業務の充実 周術期薬剤業務の推進に向けた準備
医療安全の充実	インシデント・アクシデントレポート提出の推進 各種報告書の未読管理体制の強化 HACCP基準の衛生管理の実施 医療機器安全使用のための講習会の実施
感染制御の充実	新興感染症への対応強化 感染対策の意識向上に向けた教育活動の充実 職業感染に関する取り組みの強化 抗菌薬適正使用支援の充実
危機管理体制の強化	災害時のシームレスな事業継続に向けた取り組みの強化
<b>(3) 地域の連携強化</b>	
地域医療連携の強化	CT・MRI検査地域連携専用枠の充実 行政・地域医療機関・地元職種会などとの連携強化 地域連携バスの推進 地域医療従事者への研修会等の開催 入院前から退院後を見据えた医療連携の実施 紹介・逆紹介の推進と外来患者数の適正化
地域団体・住民との連携強化	地元JAとの連携継続 市民公開講座の開催 病院祭の開催に向けた準備
<b>2. 保健事業</b>	
保健事業の充実	健診メニューの充実 地域がん診療連携拠点病院の機能發揮に繋げるがん検診の強化 健康管理センター資源の最大限活用 健康維持・増進に向けたフォローアップ体制の充実
<b>3. 高齢者福祉事業</b>	
在宅医療・介護の推進	ターミナルケアの充実 在宅療養支援の推進（多職種連携）
地域包括ケアシステム運用への協働	豊田市の関連会議への参画 地域の介護支援専門員等との関わり強化

#### 4. 経営・運営管理

経営の安定	DPCデータの分析、係数の向上 入外診療単価の向上 病床利用率の向上 新たな施設基準取得に向けた検討 査定減、返戻対策の強化 保守点検費用・委託費の見直し
適正な要員管理	業務量、人件費、加算等を含めた適切な人材確保と育成 職員の離職防止 研修医の確保 看護職員の適正な人員配置の検討
働き方改革の推進	給食業務体制の見直し（ニュークックチル方式の導入） ワークライフバランスの確保 時間外労働の削減 タスクシフト・ワークシェアの推進に向けた検討 医師の働き方改革への対応
障がい者雇用の推進	法定雇用率の達成に向けた取り組み
サイバーセキュリティの充実	WindowsOSサポート終了に伴うインターネット用パソコンの更新 国の指針に沿ったセキュリティ対策の推進
医療DXの推進	医療DXに対する検討・研究・対応
広報活動の充実	各種広報媒体（広報誌・ホームページ・SNS等）の活用 診療圏域拡大に向けた戦略的広報



# I 医療実績

---



# 1. 診療科別延患者数及び診療収入

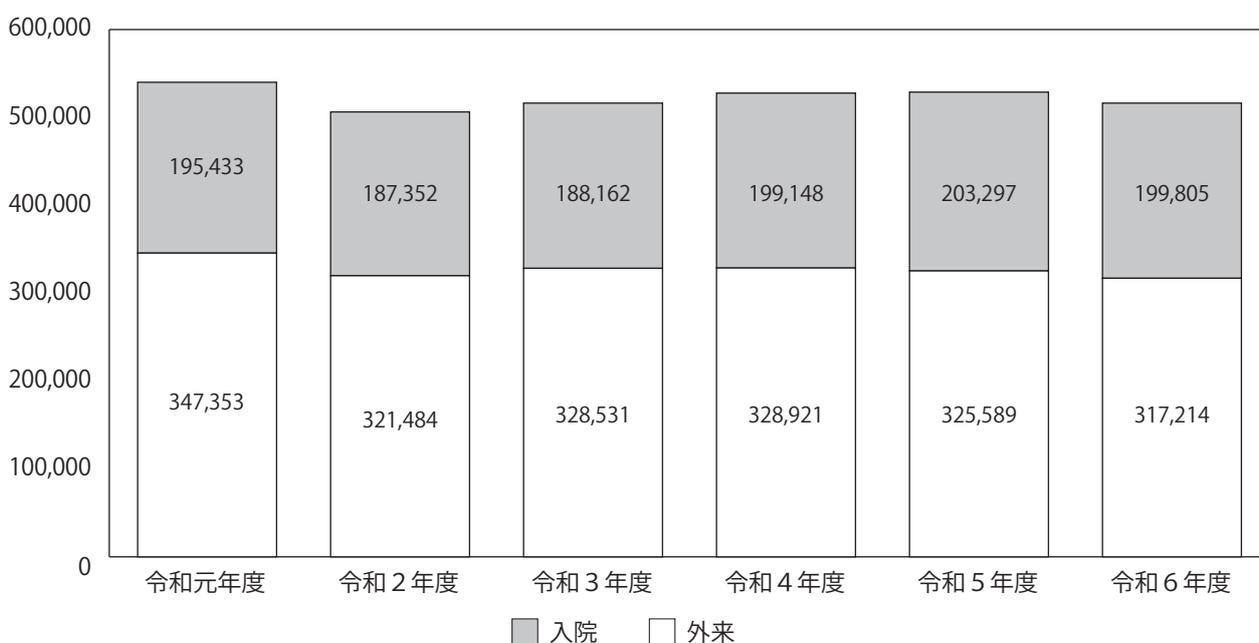
診療日数 外来：243日 入院：365日

## 1. 科別延患者数

(単位：人)

	外 来			入 院		
	令和6年度	令和5年度	前年対比	令和6年度	令和5年度	前年対比
内 科	127,798	128,633	99.4%	109,086	107,418	101.6%
精 神 科	6,719	7,456	90.1%	—	—	—
小 児 科	7,888	9,747	80.9%	3,405	3,626	93.9%
外 科	21,873	22,112	98.9%	25,151	25,657	98.0%
整 形 外 科	29,446	32,390	90.9%	21,323	22,481	94.8%
形 成 外 科	8,676	8,897	97.5%	1,612	1,928	83.6%
脳 神 経 外 科	7,546	7,940	95.0%	8,293	9,161	90.5%
呼 吸 器 外 科	2,007	1,924	104.3%	2,488	2,452	101.5%
心 臓 外 科	2,338	2,486	94.0%	2,231	3,092	72.2%
皮 膚 科	16,458	17,245	95.4%	1,644	1,861	88.3%
泌 尿 器 科	19,650	20,451	96.1%	7,722	9,528	81.0%
産 婦 人 科	14,590	14,936	97.7%	6,601	7,137	92.5%
眼 科	13,518	14,074	96.0%	2,452	2,165	113.3%
耳 鼻 咽 喉 科	16,922	16,184	104.6%	4,873	3,994	122.0%
放 射 線 科	5,273	2,964	177.9%	—	—	—
麻 酔 科	4,128	4,182	98.7%	66	84	78.6%
歯科口腔外科	12,384	13,968	88.7%	2,858	2,713	105.3%
合 計	317,214	325,589	97.4%	199,805	203,297	98.3%
一 日 平 均	1,311	1,340	97.8%	547	555	98.6%

年度別延患者数 (人)



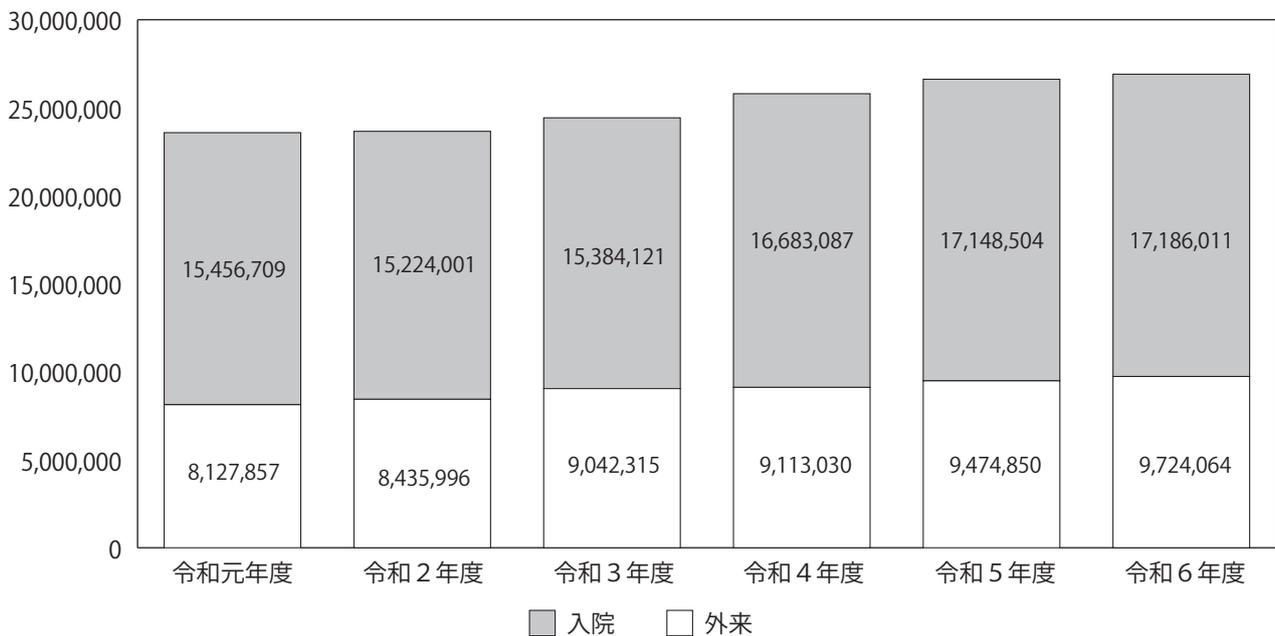
診療日数 外来：243日 入院：365日

## 2. 科別診療収入

(単位：千円)

	外 来			入 院		
	令和6年度	令和5年度	前年対比	令和6年度	令和5年度	前年対比
内 科	5,407,460	5,212,699	103.7%	8,604,772	8,340,505	103.2%
精 神 科	64,063	67,167	95.4%	—	—	—
小 児 科	106,749	135,552	78.8%	205,838	209,054	98.5%
外 科	1,035,287	1,035,901	99.9%	2,363,034	2,361,260	100.1%
整 形 外 科	648,309	669,902	96.8%	2,217,072	2,146,529	103.3%
形 成 外 科	78,317	75,913	103.2%	133,578	135,742	98.4%
脳 神 経 外 科	113,694	123,370	92.2%	722,004	789,755	91.4%
呼 吸 器 外 科	47,603	41,384	115.0%	351,475	326,390	107.7%
心 臓 外 科	28,216	29,633	95.2%	455,455	680,035	67.0%
皮 膚 科	254,451	229,638	110.8%	88,988	92,798	95.9%
泌 尿 器 科	858,459	877,738	97.8%	590,994	669,628	88.3%
産 婦 人 科	241,282	265,883	90.7%	635,631	655,462	97.0%
眼 科	229,745	226,499	101.4%	237,898	210,391	113.1%
耳 鼻 咽 喉 科	257,694	223,229	115.4%	362,763	310,811	116.7%
放 射 線 科	165,056	66,769	247.2%	—	—	—
麻 酔 科	48,550	49,387	98.3%	14,541	42,786	34.0%
歯科口腔外科	139,128	144,186	96.5%	201,967	177,358	113.9%
合 計	9,724,064	9,474,850	102.6%	17,186,011	17,148,504	100.2%

年度別診療収入（人）



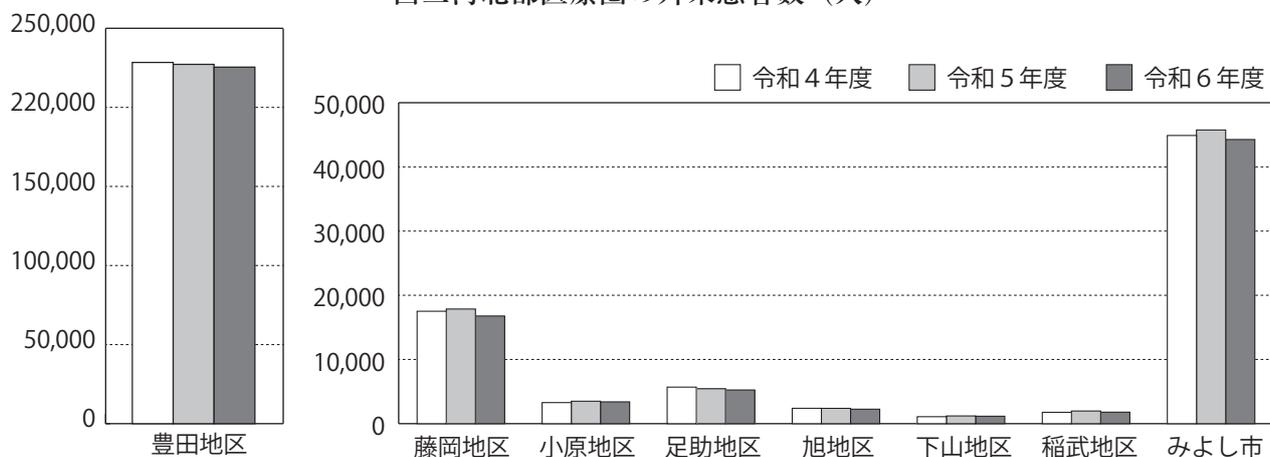
## 2. 市町村別利用状況

### 1. 市町村別外来利用状況（延患者数）

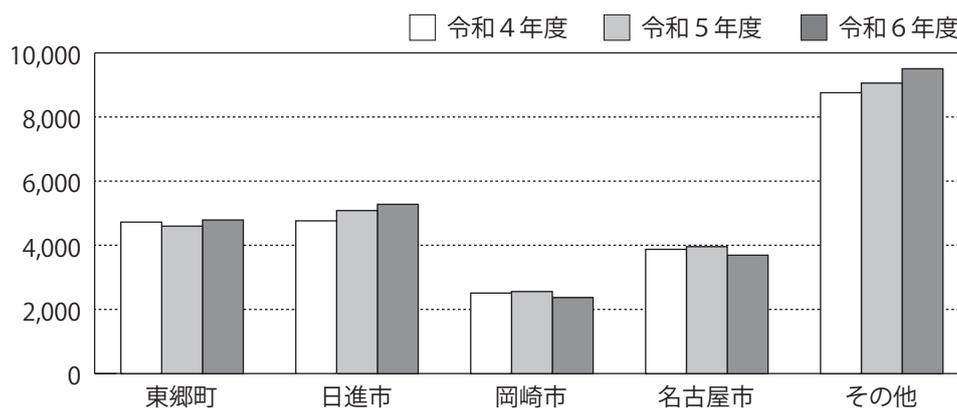
（単位：人）

	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
豊田市全域	248,376	78.2%	257,817	78.3%	259,168	78.8%
* 豊田地区	217,750	68.6%	225,467	68.5%	227,440	69.1%
* 藤岡地区	16,775	5.3%	17,857	5.4%	17,511	5.3%
* 小原地区	3,396	1.1%	3,496	1.1%	3,280	1.0%
* 足助地区	5,248	1.7%	5,441	1.7%	5,691	1.7%
* 旭地区	2,256	0.7%	2,385	0.7%	2,394	0.7%
* 下山地区	1,160	0.4%	1,202	0.4%	1,083	0.3%
* 稲武地区	1,791	0.6%	1,969	0.6%	1,769	0.5%
みよし市	44,265	13.9%	45,755	13.9%	44,893	13.6%
小計	292,641	92.2%	303,572	92.2%	304,061	92.4%
東郷町	4,789	1.5%	4,597	1.4%	4,722	1.4%
日進市	5,277	1.7%	5,083	1.5%	4,761	1.4%
岡崎市	2,369	0.7%	2,557	0.8%	2,510	0.8%
名古屋市	3,691	1.2%	3,956	1.2%	3,873	1.2%
その他	8,670	2.7%	9,505	2.9%	9,057	2.8%
小計	24,796	7.8%	25,698	7.8%	24,923	7.6%
合計	317,437	100.0%	329,270	100.0%	328,984	100.0%

西三河北部医療圏の外来患者数（人）



西三河北部医療圏以外の外来患者数（人）

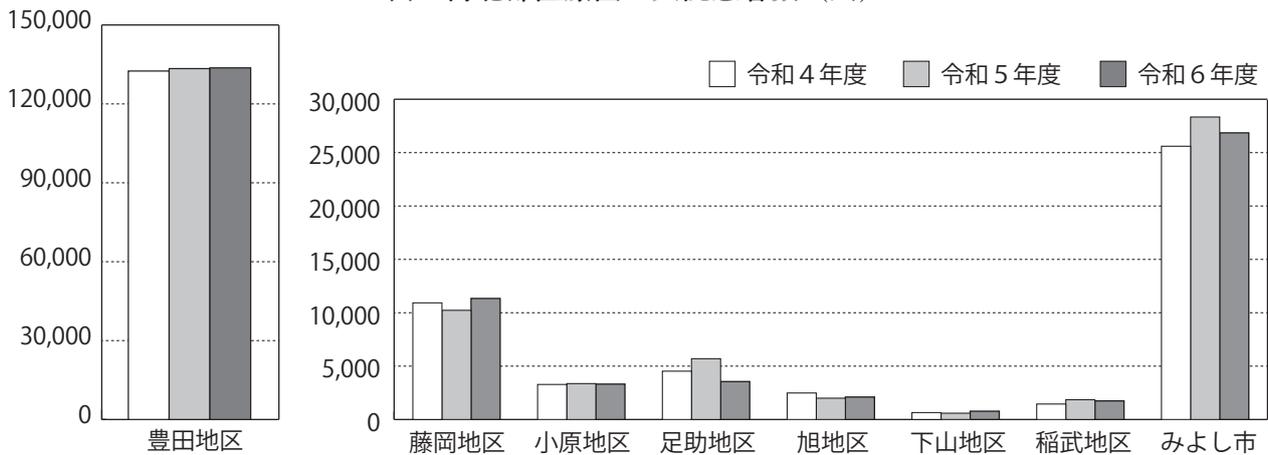


## 2. 市町村別入院利用状況 (延患者数)

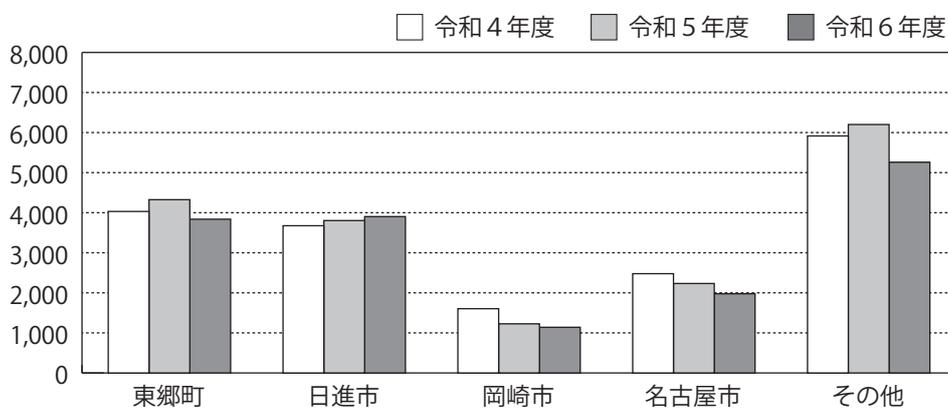
(単位：人)

	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
豊田市全域	156,600	78.5%	157,213	77.3%	155,875	78.3%
* 豊田地区	133,759	67.0%	133,479	65.6%	132,555	66.6%
* 藤岡地区	11,341	5.7%	10,230	5.0%	10,928	5.5%
* 小原地区	3,318	1.7%	3,365	1.7%	3,282	1.6%
* 足助地区	3,554	1.8%	5,696	2.8%	4,528	2.3%
* 旭地区	2,107	1.1%	1,997	1.0%	2,483	1.2%
* 下山地区	777	0.4%	592	0.3%	648	0.3%
* 稲武地区	1,744	0.9%	1,854	0.9%	1,451	0.7%
みよし市	26,852	13.5%	28,336	13.9%	25,600	12.9%
小計	183,452	91.9%	185,549	91.3%	181,475	91.1%
東郷町	3,838	1.9%	4,325	2.1%	4,031	2.0%
日進市	3,903	2.0%	3,804	1.9%	3,675	1.8%
岡崎市	1,140	0.6%	1,226	0.6%	1,604	0.8%
名古屋市	1,977	1.0%	2,233	1.1%	2,478	1.2%
その他	5,259	2.6%	6,201	3.0%	5,916	3.0%
小計	16,117	8.1%	17,789	8.7%	17,704	8.9%
合計	199,569	100.0%	203,338	100.0%	199,179	100.0%

西三河北部医療圏の入院患者数 (人)



西三河北部医療圏以外の入院患者数 (人)

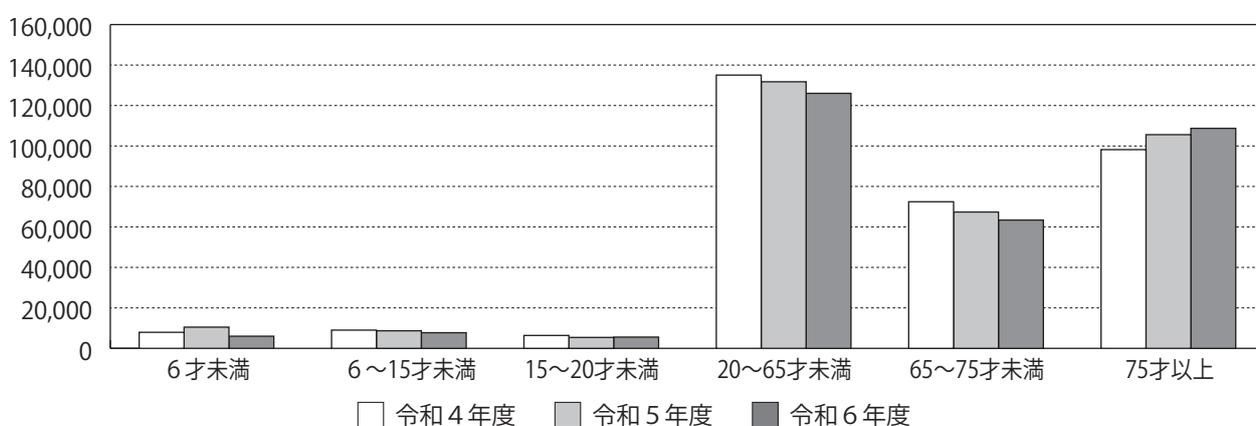


### 3. 年齢別利用状況

#### 1. 年齢別外来利用状況（延患者数）

（単位：人、％）

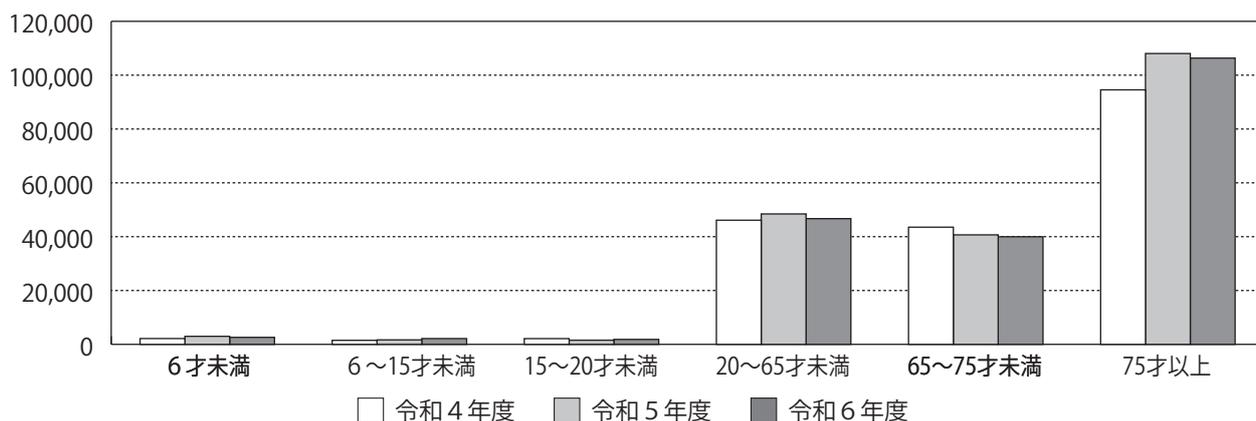
	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	6,003	1.9%	10,483	3.2%	7,927	2.4%
6～15才未満	7,734	2.4%	8,687	2.6%	9,015	2.7%
15～20才未満	5,565	1.8%	5,397	1.6%	6,373	1.9%
20～65才未満	126,018	39.7%	131,740	40.0%	135,037	41.0%
65～75才未満	63,396	20.0%	67,363	20.5%	72,433	22.0%
75才以上	108,721	34.2%	105,600	32.1%	98,199	29.8%
合計	317,437	100.0%	329,270	100.0%	328,984	100.0%



#### 2. 年齢別入院利用状況（延患者数）

（単位：人、％）

	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	2,594	1.3%	2,980	1.5%	2,150	1.1%
6～15才未満	2,144	1.1%	1,661	0.8%	1,500	0.8%
15～20才未満	1,840	0.9%	1,546	0.8%	2,122	1.1%
20～65才未満	46,693	23.4%	48,444	23.8%	46,113	24.3%
65～75才未満	39,966	20.0%	40,671	20.0%	43,526	22.9%
75才以上	106,332	53.3%	108,036	53.1%	94,541	49.8%
合計	199,569	100.0%	203,338	100.0%	189,952	100.0%



## 4. 救命救急センター外来利用状況

### 1. 診療科別患者数

(単位：人)

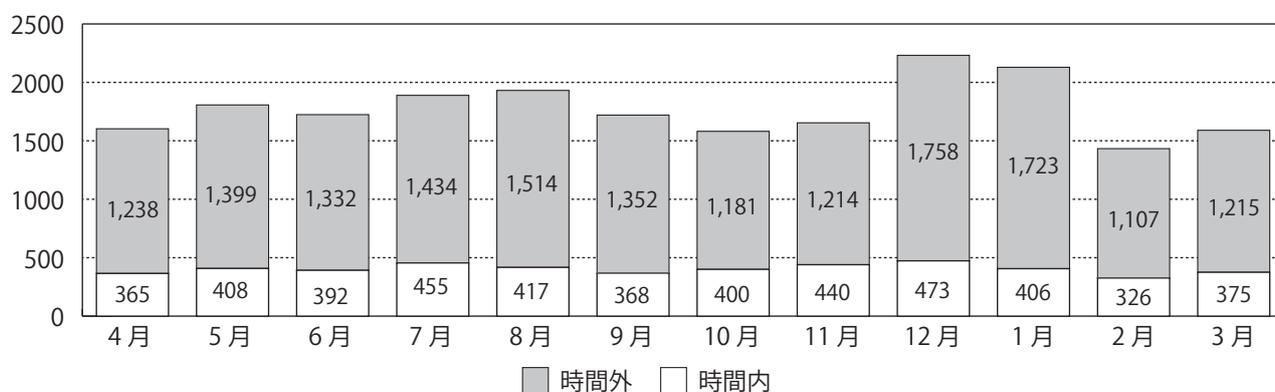
診療科	時間内		時間外				時間外 合計	合計
	延患者数	入院 (再掲)	日直		当直			
			延患者数	入院	患者数	入院(再掲)		
内科	1,286	27	1796	8	3,745	15	5541	6,827
脳神経内科	303	214	154	120	303	239	457	760
呼吸器内科	242	186	181	103	305	213	486	728
消化器内科	323	229	264	188	470	344	734	1,057
循環器内科	398	253	202	128	470	318	672	1,070
内分泌代謝科	80	62	34	27	74	63	108	188
腎臓内科	61	54	39	37	85	74	124	185
膠原病内科	2	1	0	0	1	0	1	3
血液内科	55	48	111	25	54	45	165	220
総合内科	94	85	73	58	142	134	215	309
肝臓内科	2	2	1	1	0	0	1	3
精神科	22	0	6	0	24	0	30	52
小児科	249	34	526	104	1157	129	1,683	1,932
外科	65	3	113	2	184	2	297	362
消化器外科	125	121	101	99	252	247	353	478
血管外科	12	10	4	3	12	10	16	28
乳腺外科	7	6	9	9	9	9	18	25
整形外科	535	124	594	98	1,048	186	1642	2,177
脊椎外科	5	4	5	4	5	5	10	15
形成外科	119	2	143	2	334	2	477	596
脳神経外科	334	133	320	75	618	141	938	1,272
呼吸器外科	12	5	10	5	27	19	37	49
心臓外科	8	6	2	1	14	10	16	24
皮膚科	78	10	193	25	297	21	490	568
泌尿器科	169	43	244	43	533	71	777	946
産婦人科	39	10	84	13	144	32	228	267
眼科	19	2	35	2	90	0	125	144
耳鼻咽喉科	156	15	258	27	447	35	705	861
麻酔科	1	0	3	0	3	0	6	7
歯科口腔外科	24	0	45	0	70	1	115	139
合計	4,825	1,689	5,550	1,207	10,917	2,365	16,467	21,292
前年度	5,917	1,818	5,998	1,144	12,631	2,469	18,629	24,546
前年度対比	81.5%	92.9%	92.5%	105.5%	86.4%	95.8%	88.4%	86.7%



## 2. 月別患者数

(単位：人)

年月日	時間内		時間外				時間外 合計	合計	
			日直		当直				
	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)			
R 6	4月	365	129	387	82	851	183	1,238	1,603
	5月	408	114	457	81	942	201	1,399	1,807
	6月	392	138	389	104	943	192	1,332	1,724
	7月	455	143	389	90	1,045	204	1,434	1,889
	8月	417	146	499	99	1,015	195	1,514	1,931
	9月	368	119	393	95	959	209	1,352	1,720
	10月	400	136	350	94	831	189	1,181	1,581
	11月	440	156	408	97	806	197	1,214	1,654
	12月	473	173	679	105	1,079	214	1,758	2,231
R 7	1月	406	157	784	149	939	199	1,723	2,129
	2月	326	129	400	113	707	184	1,107	1,433
	3月	375	149	415	98	800	198	1,215	1,590
合計	4,825	1,689	5,550	1,207	10,917	2,365	16,467	21,292	

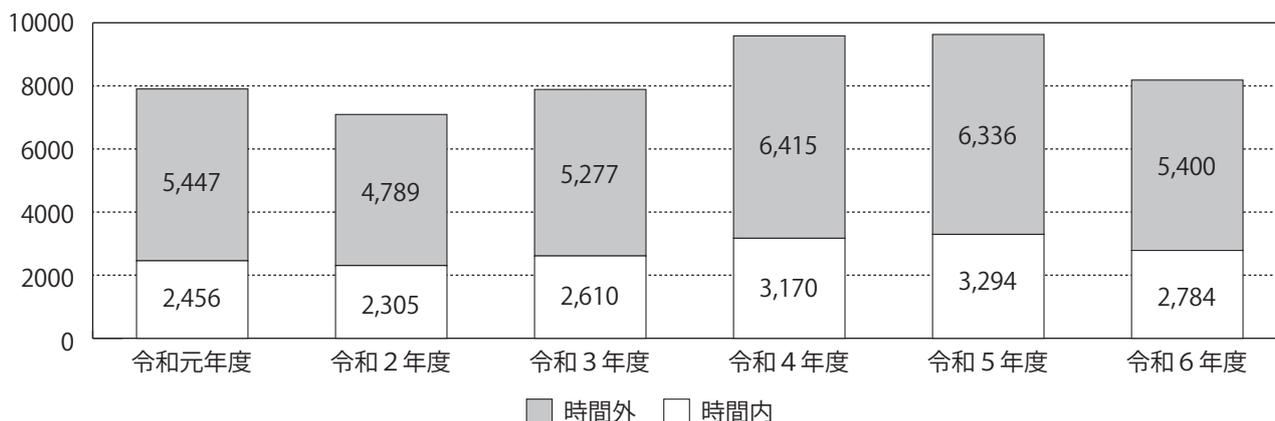


## 3. 救急車受入状況

### ①救急車受入数推移

(単位：人)

	時間内	時間外	総数	前年比
平成28年度	2,338	4,954	7,292	101.2%
平成29年度	2,484	5,393	7,877	108.0%
平成30年度	2,650	5,561	8,211	104.2%
令和元年度	2,456	5,447	7,903	96.2%
令和2年度	2,305	4,789	7,094	89.8%
令和3年度	2,610	5,277	7,887	111.2%
令和4年度	3,170	6,415	9,585	121.5%
令和5年度	3,294	6,336	9,630	100.5%
令和6年度	2,784	5,400	8,184	85.0%



## ②診療科別救急車受入数

(単位：人)

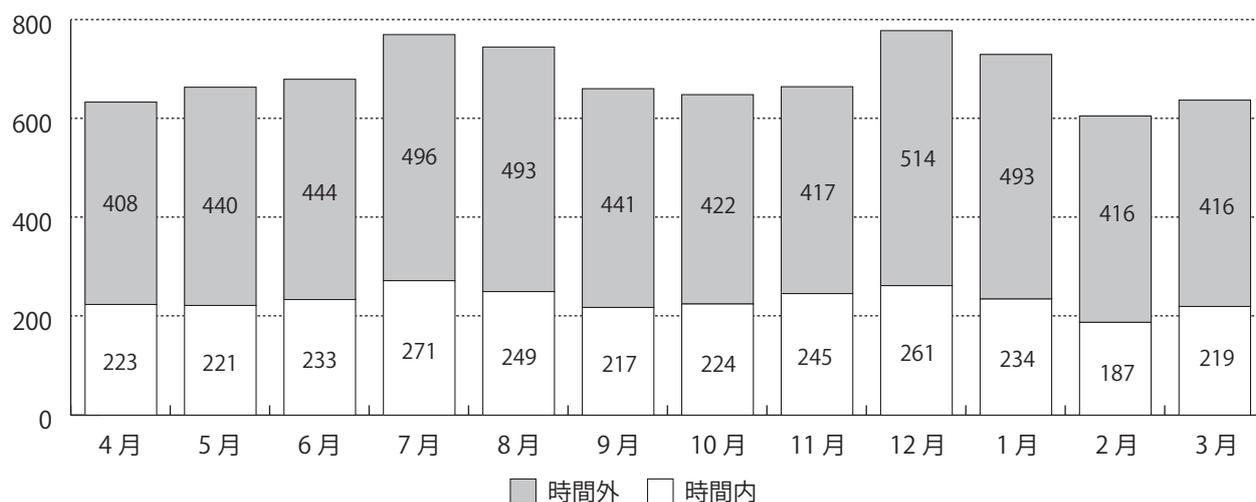
診療科	時間内		時間外				時間外 合計	合計
	患者数	入院(再掲)	日直		当直			
			患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)		
内科	547	22	334	2	1,094	3	1,428	1,975
脳神経内科	245	181	87	75	207	173	294	539
呼吸器内科	169	141	63	53	163	139	226	395
消化器内科	202	157	99	86	249	200	348	550
循環器内科	275	193	105	77	303	236	408	683
内分泌代謝科	60	51	22	21	54	49	76	136
腎臓内科	49	44	23	23	64	59	87	136
膠原病内科	1	1	0	0	0	0	0	1
血液内科	39	36	13	12	39	36	52	91
総合内科	75	70	32	32	97	94	129	204
肝臓内科	2	2	1	1	0	0	1	3
精神科	12	0	2	0	15	0	17	29
小児科	70	14	61	12	197	42	258	328
外科	25	1	17	0	44	2	61	86
消化器外科	106	104	41	41	118	115	159	265
血管外科	8	7	2	1	9	8	11	19
乳腺外科	5	5	2	2	6	6	8	13
整形外科	371	112	219	74	482	149	701	1,072
脊椎外科	4	3	4	4	5	5	9	13
形成外科	42	1	30	2	71	0	101	143
脳神経外科	238	119	160	54	331	127	491	729
呼吸器外科	9	5	5	3	18	14	23	32
心臓外科	7	6	2	1	7	6	9	16
皮膚科	19	4	7	2	32	10	39	58
泌尿器科	78	27	49	18	143	34	192	270
産婦人科	14	3	10	4	30	10	40	54
眼科	10	2	3	1	4	0	7	17
耳鼻咽喉科	91	13	47	4	168	16	215	306
麻酔科	0	0	0	0	1	0	1	1
歯科口腔外科	11	0	3	0	6	1	9	20
合計	2,784	1,324	1,443	605	3,957	1,534	5,400	8,184
前年度	3,294	1,515	1,600	618	4,736	1,632	6,336	9,630
前年対比	84.5%	87.4%	90.2%	97.9%	83.6%	94.0%	85.2%	85.0%



## ③月別救急車受入数

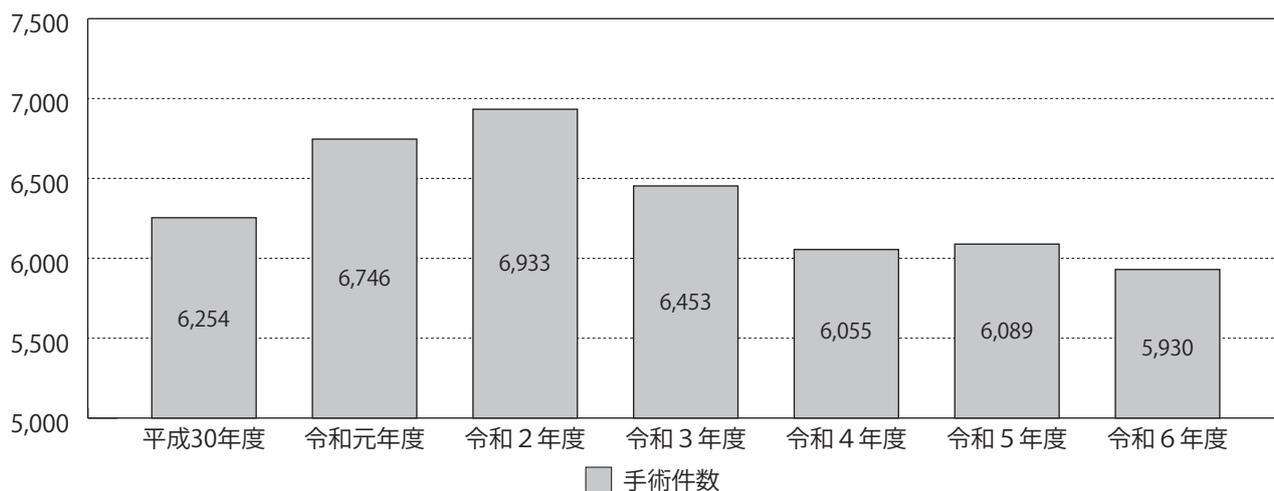
(単位：人)

年月日	時間内		時間外					合計	
			日直		当直		時間外 合計		
	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)			
R 6	4月	223	101	101	40	307	124	408	631
	5月	221	85	120	40	320	126	440	661
	6月	233	109	122	54	322	123	444	677
	7月	271	115	115	51	381	131	496	767
	8月	249	115	119	42	374	128	493	742
	9月	217	96	108	46	333	132	441	658
	10月	224	110	118	45	304	115	422	646
	11月	245	117	116	49	301	133	417	662
	12月	261	131	144	54	370	147	514	775
R 7	1月	234	127	153	72	340	137	493	727
	2月	187	102	123	67	293	119	416	603
	3月	219	116	104	45	312	119	416	635
合計	2,784	1,324	1,443	605	3,957	1,534	5,400	8,184	



## 5. 手術件数

	令和6年度		令和5年度	
	件数	緊急件数(再掲)	件数	緊急件数(再掲)
内科	111	2	135	9
外科	1,645	376	1,651	441
整形外科	1,213	209	1,297	259
形成外科	374	6	327	3
脳神経外科	208	117	266	154
呼吸器外科	185	1	181	0
心臓外科	83	14	112	19
皮膚科	12	0	15	0
泌尿器科	361	13	435	14
産婦人科	506	53	490	43
眼科	712	18	682	17
耳鼻咽喉科	317	11	269	8
歯科口腔外科	197	0	214	0
麻酔科	6	1	15	1
合計	5,930	821	6,089	968



## 6. 分娩数・死亡数・剖検数

(単位：人)

		令和6年度	令和5年度
分 娩 数		208	230
死 亡 数	悪 性 新 生 物	293	315
	心 疾 患	70	68
	肺炎及び気管支炎	49	48
	脳 血 管 疾 患	33	47
	老 衰	5	12
	不 慮 の 事 故	14	22
	腎 疾 患	23	16
	肝 疾 患	10	17
	自 殺	2	2
	高 血 圧 性 疾 患	0	0
	そ の 他	239	247
合 計	738	794	
剖 検 数		12	12

(注) 1) 当院の死亡数は、入院中に死亡した数

### 悪性新生物（発生臓器別内訳）

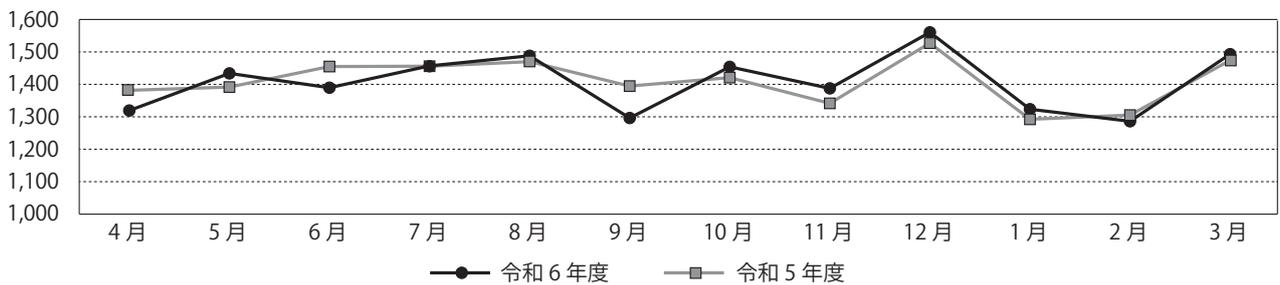
順位	臓器別	令和6年度	令和5年度
		件数	件数
1	肺	53	78
2	脾	44	38
3	結腸	29	27
4	肝	24	14
5	胃	20	33

## 7. 退院患者統計

集計の対象は入院年月日にかかわらず、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの退院患者とした。  
データは退院サマリおよび電子カルテ本文より抽出した。

### 1. 診療科別・月別退院患者数

	総数	比率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	16,868	100.0%	1,318	1,432	1,388	1,455	1,486	1,295	1,452	1,386	1,558	1,322	1,285	1,491	738
内科	7,607	45.1%	561	640	583	649	687	571	625	615	728	663	616	669	558
小児科	687	4.1%	60	74	66	83	47	59	56	48	59	45	35	55	0
外科	1,951	11.6%	173	160	168	141	185	153	167	155	190	131	152	176	88
整形外科	1,380	8.2%	89	123	127	103	117	113	114	133	125	97	99	140	11
形成外科	361	2.1%	28	33	35	38	28	27	33	22	31	32	25	29	1
脳神経外科	489	2.9%	47	42	32	39	36	40	48	42	39	35	46	43	31
呼吸器外科	236	1.4%	16	18	21	25	20	19	24	19	15	18	19	22	1
心臓外科	92	0.5%	12	12	8	5	6	6	7	5	9	6	7	9	5
皮膚科	165	1.0%	17	17	14	16	12	9	13	16	15	11	17	8	1
泌尿器科	950	5.6%	68	88	91	92	83	74	89	75	83	69	61	77	21
産婦人科	875	5.2%	89	70	75	82	75	69	76	68	84	65	50	72	12
眼科	709	4.2%	67	63	51	66	52	44	72	68	50	59	56	61	0
耳鼻咽喉科	531	3.1%	43	46	47	43	50	48	42	42	50	42	34	44	4
麻酔科	20	0.1%	2	0	2	1	0	1	4	5	3	2	0	0	0
歯科口腔外	796	4.7%	46	45	65	72	85	60	78	72	75	47	66	85	2
救急科	19	0.1%	0	1	3	0	3	2	4	1	2	0	2	1	3
令和5年度	16,889		1,380	1,390	1,453	1,454	1,468	1,393	1,419	1,340	1,525	1,291	1,304	1,472	



### 2. 診療科別・死亡退院患者数

診療科	総数	比率	剖検数	剖検率	平均在院日数	48時間以内死亡	粗死亡率	精死亡率
総数	738	100.0%	12	1.6%	22.6	117	4.4%	3.7%
内科	558	75.6%	10	1.8%	23.1	81	7.3%	6.3%
小児科	0	0.0%	0	-	-	-	-	-
外科	88	11.9%	0	0.0%	20.9	12	4.5%	3.9%
整形外科	11	1.5%	0	0.0%	25.4	2	0.8%	0.7%
形成外科	1	0.1%	0	0.0%	140.0	0	0.3%	0.3%
脳神経外科	31	4.2%	0	0.0%	6.5	16	6.3%	3.1%
呼吸器外科	1	0.1%	1	100.0%	38.0	0	0.4%	0.4%
心臓外科	5	0.7%	0	0.0%	22.2	1	5.4%	4.3%
皮膚科	1	0.1%	0	0.0%	39.0	0	0.6%	0.6%
泌尿器科	21	2.8%	1	4.8%	24.5	2	2.2%	2.0%
産婦人科	12	1.6%	0	0.0%	32.6	0	1.4%	1.4%
眼科	0	0.0%	0	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	4	0.5%	0	0.0%	47.5	0	0.8%	0.8%
麻酔科	0	0.0%	0	-	-	-	-	-
歯科口腔外	2	0.3%	0	0.0%	40.5	0	0.3%	0.3%
救急科	3	0.4%	0	0.0%	1.3	3	15.8%	0.0%

※精死亡率：(総死亡数 - 入院後48時間以内死亡数) / 退院患者数 × 100を表す



## 3. 地域別・年齢階層別退院患者数

地域	性別	総数	比率(%)	平均年齢	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~
総数	計	16,868	100.0	63.50	731	573	712	698	997	1,792	2,366	4,510	3,594	895
	男	9,420	100.0	64.30	420	279	307	270	495	1,037	1,476	2,778	2,044	314
	女	7,448	100.0	62.50	311	294	405	428	502	755	890	1,732	1,550	581
井郷	計	834	4.9	64.40	45	21	30	32	42	91	93	256	179	45
	男	480	5.1	63.60	31	12	15	16	19	53	60	156	111	7
	女	354	4.8	65.40	14	9	15	16	23	38	33	100	68	38
猿投	計	434	2.6	62.80	13	37	16	11	19	48	59	119	82	30
	男	276	2.9	64.10	11	16	7	7	10	31	38	88	55	13
	女	158	2.1	60.50	2	21	9	4	9	17	21	31	27	17
猿投台	計	718	4.3	66.60	26	22	25	20	30	67	108	199	160	61
	男	438	4.6	67.30	16	12	12	8	18	38	69	132	107	26
	女	280	3.8	65.40	10	10	13	12	12	29	39	67	53	35
逢妻	計	1,246	7.4	65.50	38	33	46	31	76	153	174	352	271	72
	男	700	7.4	64.60	24	15	22	20	39	99	111	211	137	22
	女	546	7.3	66.80	14	18	24	11	37	54	63	141	134	50
朝日丘	計	752	4.5	64.10	37	23	32	34	28	89	98	189	170	52
	男	419	4.4	65.20	21	11	12	17	16	46	55	113	105	23
	女	333	4.5	62.60	16	12	20	17	12	43	43	76	65	29
崇化館	計	1,194	7.1	66.40	35	28	37	52	59	124	168	329	276	86
	男	662	7.0	65.80	24	13	18	16	32	75	116	187	155	26
	女	532	7.1	67.20	11	15	19	36	27	49	52	142	121	60
豊南	計	240	1.4	60.40	12	5	14	11	22	31	34	69	30	12
	男	120	1.3	62.50	7	4	2	4	8	12	24	38	17	4
	女	120	1.6	58.30	5	1	12	7	14	19	10	31	13	8
保見	計	864	5.1	62.70	49	24	49	36	49	78	98	243	205	33
	男	487	5.2	62.70	30	10	29	15	22	53	47	164	102	15
	女	377	5.1	62.80	19	14	20	21	27	25	51	79	103	18
梅坪台	計	602	3.6	62.90	20	14	30	29	47	66	97	166	121	12
	男	327	3.5	63.30	12	5	17	10	25	41	47	104	65	1
	女	275	3.7	62.40	8	9	13	19	22	25	50	62	56	11
浄水	計	885	5.2	57.70	59	58	57	42	72	97	94	188	205	13
	男	439	4.7	59.60	27	35	26	10	30	46	42	87	130	6
	女	446	6.0	55.90	32	23	31	32	42	51	52	101	75	7
益富	計	303	1.8	67.70	7	8	7	5	14	23	48	119	61	11
	男	167	1.8	68.30	5	3	1	3	3	19	30	65	32	6
	女	136	1.8	67.00	2	5	6	2	11	4	18	54	29	5
美里	計	557	3.3	67.10	26	10	13	17	25	52	62	173	142	37
	男	314	3.3	66.90	19	4	6	5	12	30	38	104	85	11
	女	243	3.3	67.50	7	6	7	12	13	22	24	69	57	26
高橋	計	735	4.4	66.10	28	21	22	21	39	85	100	182	192	45
	男	403	4.3	65.40	15	14	8	6	20	58	61	107	106	8
	女	332	4.5	66.90	13	7	14	15	19	27	39	75	86	37
石野	計	162	1.0	66.10	9	0	2	6	12	13	24	45	42	9
	男	78	0.8	65.80	4	0	1	2	5	5	16	22	21	2
	女	84	1.1	66.40	5	0	1	4	7	8	8	23	21	7
松平	計	119	0.7	62.90	2	6	4	1	8	21	25	23	25	4
	男	59	0.6	62.80	2	2	1	0	4	12	12	17	7	2
	女	60	0.8	63.00	0	4	3	1	4	9	13	6	18	2
前林	計	334	2.0	68.90	6	8	11	6	16	21	40	126	81	19
	男	205	2.2	70.40	3	3	1	5	6	14	29	91	47	6
	女	129	1.7	66.50	3	5	10	1	10	7	11	35	34	13
竜神	計	472	2.8	64.90	15	19	14	21	31	43	54	139	116	20
	男	247	2.6	67.40	6	6	3	9	18	22	29	79	69	6
	女	225	3.0	62.30	9	13	11	12	13	21	25	60	47	14
若園	計	142	0.8	68.00	4	2	5	2	8	15	20	38	40	8
	男	77	0.8	65.30	4	2	4	0	2	6	15	24	20	0
	女	65	0.9	71.10	0	0	1	2	6	9	5	14	20	8
高岡	計	237	1.4	67.40	5	4	9	8	16	20	40	54	62	19
	男	141	1.5	64.50	4	4	7	5	12	15	22	26	35	11
	女	96	1.3	71.60	1	0	2	3	4	5	18	28	27	8

地域	性別	総数	比率(%)	平均年齢	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~
上郷	計	114	0.7	64.10	4	5	4	2	2	17	21	32	27	0
	男	53	0.6	61.50	3	4	0	1	0	12	7	14	12	0
	女	61	0.8	66.30	1	1	4	1	2	5	14	18	15	0
末野原	計	211	1.3	60.10	15	6	7	10	23	18	31	56	40	5
	男	119	1.3	63.20	6	4	3	2	14	7	16	41	25	1
	女	92	1.2	56.30	9	2	4	8	9	11	15	15	15	4
藤岡	計	457	2.7	64.20	14	15	25	12	19	48	112	91	92	29
	男	259	2.7	63.20	6	10	14	7	12	22	81	52	48	7
	女	198	2.7	65.60	8	5	11	5	7	26	31	39	44	22
藤岡南	計	506	3.0	60.50	35	10	22	26	38	41	96	153	68	17
	男	276	2.9	63.60	16	4	9	7	15	21	58	104	35	7
	女	230	3.1	56.80	19	6	13	19	23	20	38	49	33	10
小原	計	239	1.4	72.30	1	3	8	3	5	16	42	81	50	30
	男	138	1.5	72.10	1	3	3	1	3	6	25	55	28	13
	女	101	1.4	72.70	0	0	5	2	2	10	17	26	22	17
足助	計	302	1.8	69.80	5	6	4	6	17	17	44	127	44	32
	男	183	1.9	70.10	2	2	2	2	7	14	32	88	21	13
	女	119	1.6	69.20	3	4	2	4	10	3	12	39	23	19
下山	計	62	0.4	68.70	2	0	0	0	2	7	19	23	5	4
	男	45	0.5	68.30	1	0	0	0	2	7	12	17	3	3
	女	17	0.2	69.80	1	0	0	0	0	0	7	6	2	1
稲武	計	109	0.6	71.60	1	1	1	1	7	5	19	47	17	10
	男	73	0.8	71.40	0	1	1	1	2	5	14	35	9	5
	女	36	0.5	72.00	1	0	0	0	5	0	5	12	8	5
旭	計	134	0.8	73.80	2	1	2	0	4	5	26	43	37	14
	男	72	0.8	73.50	1	1	1	0	3	2	9	32	19	4
	女	62	0.8	74.20	1	0	1	0	1	3	17	11	18	10
みよし市	計	2,452	14.5	61.10	142	85	110	124	146	335	316	572	517	105
	男	1,395	14.8	62.70	80	45	40	49	77	181	204	364	317	38
	女	1,057	14.2	59.10	62	40	70	75	69	154	112	208	200	67
東郷町	計	285	1.7	63.50	15	3	7	11	22	35	47	75	60	10
	男	165	1.8	63.70	10	3	2	3	9	18	39	45	32	4
	女	120	1.6	63.20	5	0	5	8	13	17	8	30	28	6
日進市	計	353	2.1	61.60	15	13	20	28	20	31	48	79	85	14
	男	183	1.9	64.80	5	3	13	7	12	14	32	45	42	10
	女	170	2.3	58.20	10	10	7	21	8	17	16	34	43	4
岡崎市	計	126	0.7	46.30	10	20	9	9	14	12	21	23	7	1
	男	70	0.7	52.50	7	4	4	3	7	8	15	16	5	1
	女	56	0.8	38.40	3	16	5	6	7	4	6	7	2	0
刈谷市	計	24	0.1	44.00	1	5	2	6	0	4	1	0	3	2
	男	9	0.1	53.20	0	0	2	1	0	3	1	0	2	0
	女	15	0.2	38.50	1	5	0	5	0	1	0	0	1	2
名古屋市	計	193	1.1	57.00	6	10	19	21	19	15	24	46	17	16
	男	95	1.0	57.70	3	3	6	8	13	9	21	21	8	3
	女	98	1.3	56.30	3	7	13	13	6	6	3	25	9	13
安城市	計	31	0.2	43.30	2	9	2	1	2	4	2	5	3	1
	男	20	0.2	42.30	2	5	1	1	1	3	2	4	1	0
	女	11	0.1	45.20	0	4	1	0	1	1	0	1	2	1
知立市	計	22	0.1	41.60	2	4	4	2	2	4	0	0	1	3
	男	9	0.1	41.10	2	2	0	1	0	2	0	0	0	2
	女	13	0.2	41.90	0	2	4	1	2	2	0	0	1	1
瀬戸市	計	55	0.3	53.10	5	1	5	4	6	9	11	5	5	4
	男	27	0.3	51.70	1	1	4	2	2	5	7	3	2	0
	女	28	0.4	54.40	4	0	1	2	4	4	4	2	3	4
長久手市	計	32	0.2	44.60	4	2	5	6	2	1	6	0	4	2
	男	17	0.2	43.80	3	2	1	2	1	0	6	0	1	1
	女	15	0.2	45.50	1	0	4	4	1	1	0	0	3	1
その他市外	計	216	1.3	52.63	5	26	14	28	25	22	27	26	36	7
	男	109	1.2	58.36	1	10	4	12	8	14	19	16	19	6
	女	107	1.4	46.80	4	16	10	16	17	8	8	10	17	1
県外	計	115	0.7	49.70	9	5	19	13	9	9	17	17	16	1
	男	64	0.7	56.60	5	1	5	2	6	9	15	11	9	1
	女	51	0.7	41.10	4	4	14	11	3	0	2	6	7	0



## 4. 疾病別・診療科別退院患者数 (大分類)

国際分類大項目分類		総	内	小	外	整	形	脳	呼	心	皮	泌	産	眼	耳	麻	歯	救	死	剖
		数	科	児	科	形	成	神	吸	臓	膚	尿	婦	科	鼻	酔	科	急	亡	検
総 数	計	16,868	7,607	687	1,951	1,380	361	489	236	92	165	950	875	709	531	20	796	19	738	12
	男	9,420	4,633	387	1,065	678	165	283	164	60	104	789	0	383	340	14	346	9	439	10
	女	7,448	2,974	300	886	702	196	206	72	32	61	161	875	326	191	6	450	10	299	2
I 感染症及び寄生虫症	計	342	168	92	10	0	0	0	0	0	28	8	10	0	17	4	4	1	23	0
	男	196	102	48	7	0	0	0	0	0	17	5	0	0	11	4	2	0	12	0
	女	146	66	44	3	0	0	0	0	0	11	3	10	0	6	0	2	1	11	0
II 新生物	計	3,171	1,301	1	719	9	95	33	154	1	18	316	361	0	133	3	27	0	278	2
	男	1,692	825	0	311	3	55	15	96	1	15	273	0	0	90	0	8	0	160	0
	女	1,479	476	1	408	6	40	18	58	0	3	43	361	0	43	3	19	0	118	2
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	109	81	3	15	0	0	0	0	0	2	2	5	0	1	0	0	0	2	0
	男	46	36	2	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0
	女	63	45	1	10	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	1	0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	440	389	8	9	1	0	1	4	0	0	1	1	5	19	0	0	2	9	0
	男	234	213	4	5	1	0	1	2	0	0	0	0	2	5	0	0	1	7	0
	女	206	176	4	4	0	0	0	2	0	0	1	1	3	14	0	0	1	2	0
V 精神及び行動の障害	計	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI 神経系の疾患	計	375	267	6	2	19	0	37	0	0	0	0	0	0	39	5	0	0	15	2
	男	223	155	2	1	11	0	25	0	0	0	0	0	0	25	4	0	0	11	2
	女	152	112	4	1	8	0	12	0	0	0	0	0	0	14	1	0	0	4	0
VII 眼及び付属器の疾患	計	853	1	0	0	0	154	0	0	0	0	0	0	698	0	0	0	0	0	0
	男	433	1	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	377	0	0	0	0	0	0
	女	420	0	0	0	0	99	0	0	0	0	0	0	321	0	0	0	0	0	0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	53	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	0	0	1	0	0
	男	26	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0
	女	27	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	1	0	0
IX 循環器系の疾患	計	2,627	2,191	2	119	2	1	220	0	87	1	1	1	0	0	0	0	2	138	3
	男	1,622	1,358	2	79	2	1	122	0	56	1	0	0	0	0	0	0	1	66	3
	女	1,005	833	0	40	0	0	98	0	31	0	1	1	0	0	0	0	1	72	0
X 呼吸器系の疾患	計	1,597	942	353	12	0	0	0	54	0	0	1	1	0	233	0	1	0	142	1
	男	1,029	614	200	9	0	0	0	47	0	0	1	0	0	157	0	1	0	99	1
	女	568	328	153	3	0	0	0	7	0	0	0	1	0	76	0	0	0	43	0
XI 消化器系の疾患	計	2,612	877	9	954	1	0	1	0	0	0	1	10	0	9	0	750	0	46	2
	男	1,427	499	5	588	1	0	1	0	0	0	1	0	0	5	0	327	0	32	2
	女	1,185	378	4	366	0	0	0	0	0	0	0	10	0	4	0	423	0	14	0
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	198	21	13	4	12	36	0	0	0	100	3	2	0	7	0	0	0	2	0
	男	111	9	7	3	7	17	0	0	0	58	3	0	0	7	0	0	0	2	0
	女	87	12	6	1	5	19	0	0	0	42	0	2	0	0	0	0	0	0	0
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	520	106	23	5	371	8	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0	7	0
	男	260	50	12	4	185	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	5	0
	女	260	56	11	1	186	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0
XIV 尿路性器系の疾患	計	1,045	401	17	24	1	5	0	0	0	0	393	202	0	2	0	0	0	27	2
	男	523	222	9	6	1	1	0	0	0	0	284	0	0	0	0	0	0	16	2
	女	522	179	8	18	0	4	0	0	0	0	109	202	0	2	0	0	0	11	0
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250	0	0	0	0	0	0	0
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250	0	0	0	0	0	0	0
XVI 周産期に発生した病態	計	29	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	16	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	37	8	2	3	6	6	2	1	2	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0
	男	18	3	2	2	3	3	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	女	19	5	0	1	3	3	1	0	1	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0

国際分類大項目分類	総数	内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	歯科口腔外科	救急科	死亡数	剖検数	
VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	192	98	63	4	0	0	2	0	0	14	2	0	6	1	0	2	16	0	
	男	112	57	34	2	0	0	0	0	0	13	0	0	4	1	0	1	9	0	
	女	80	41	29	2	0	0	2	0	0	1	2	0	2	0	0	1	7	0	
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,093	80	8	46	674	28	169	23	2	16	6	9	4	10	1	6	11	22	0
	男	560	47	7	28	296	13	110	18	2	13	4	0	2	7	1	6	6	12	0
	女	533	33	1	18	378	15	59	5	0	3	2	9	2	3	0	0	5	10	0
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,179	537	50	24	284	28	24	0	0	204	17	2	1	0	8	0	0	0	0
	男	797	351	33	14	168	15	8	0	0	203	0	2	1	0	2	0	0	0	0
	女	382	186	17	10	116	13	16	0	0	1	17	0	0	0	6	0	0	0	0
XXI 特殊目的用コード（新型コロナウイルス感染症を含む）	計	123	116	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	11	0	
	男	86	79	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	0	
	女	37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	

※主病名に対する死亡数であるため、死因統計とは異なる

### 5. 診療科別・在院期間別退院患者数

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
総数	計	16,868	9,565	3,512	1,499	965	1,079	191	50	6	1	0	11.8
	男	9,420	5,265	2,041	821	528	620	108	32	4	1	0	12.0
	女	7,448	4,300	1,471	678	437	459	83	18	2	0	0	11.7
内科	計	7,607	3,501	1,837	838	592	699	115	23	1	1	0	14.4
	男	4,633	2,179	1,137	500	324	415	62	14	1	1	0	14.0
	女	2,974	1,322	700	338	268	284	53	9	0	0	0	15.0
小児科	計	687	644	35	5	1	2	0	0	0	0	0	4.9
	男	387	359	24	1	1	2	0	0	0	0	0	4.9
	女	300	285	11	4	0	0	0	0	0	0	0	5.0
外科	計	1,951	1,035	529	130	97	123	23	9	5	0	0	13.0
	男	1,065	540	295	85	57	65	15	5	3	0	0	13.3
	女	886	495	234	45	40	58	8	4	2	0	0	12.7
整形外科	計	1,380	526	298	295	127	108	20	6	0	0	0	14.9
	男	678	294	157	99	60	52	12	4	0	0	0	14.1
	女	702	232	141	196	67	56	8	2	0	0	0	15.6
形成外科	計	361	314	21	8	6	7	2	3	0	0	0	5.3
	男	165	140	6	7	3	4	2	3	0	0	0	7.1
	女	196	174	15	1	3	3	0	0	0	0	0	3.8
脳神経外科	計	489	166	128	73	59	45	13	5	0	0	0	17.4
	男	283	98	75	41	31	28	6	4	0	0	0	17.7
	女	206	68	53	32	28	17	7	1	0	0	0	17.0
呼吸器外科	計	236	64	147	11	7	7	0	0	0	0	0	10.6
	男	164	45	96	10	7	6	0	0	0	0	0	11.0
	女	72	19	51	1	0	1	0	0	0	0	0	9.8
心臓外科	計	92	2	14	36	20	20	0	0	0	0	0	24.0
	男	60	1	12	22	12	13	0	0	0	0	0	23.5
	女	32	1	2	14	8	7	0	0	0	0	0	24.9
皮膚科	計	165	90	53	14	2	5	1	0	0	0	0	10.2
	男	104	63	30	7	1	3	0	0	0	0	0	9.0
	女	61	27	23	7	1	2	1	0	0	0	0	12.5
泌尿器科	計	950	667	179	38	34	26	6	0	0	0	0	8.1
	男	789	569	138	30	24	22	6	0	0	0	0	7.9
	女	161	98	41	8	10	4	0	0	0	0	0	9.1
産婦人科	計	875	664	165	15	8	17	4	2	0	0	0	7.7
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	875	664	165	15	8	17	4	2	0	0	0	7.7

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
眼 科	計	709	660	32	8	4	5	0	0	0	0	0	3.5
	男	383	357	18	6	1	1	0	0	0	0	0	3.4
	女	326	303	14	2	3	4	0	0	0	0	0	3.6
耳鼻咽喉科	計	531	440	57	9	7	10	6	2	0	0	0	8.7
	男	340	271	45	6	6	6	4	2	0	0	0	9.2
	女	191	169	12	3	1	4	2	0	0	0	0	7.9
麻 酔 科	計	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
	男	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6
	女	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5
歯科口腔外	計	796	753	17	19	1	5	1	0	0	0	0	3.6
	男	346	326	8	7	1	3	1	0	0	0	0	3.9
	女	450	427	9	12	0	2	0	0	0	0	0	3.4
救 急 科	計	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8
	男	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8
	女	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.9

## 6. 疾病別・在院期間別退院患者数（大分類）

国際分類大項目分類		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
総 数	計	16,868	9,565	3,512	1,499	965	1,079	191	50	6	1	0	11.8
	男	9,420	5,265	2,041	821	528	620	108	32	4	1	0	12.0
	女	7,448	4,300	1,471	678	437	459	83	18	2	0	0	11.7
I 感染症及び寄生虫症	計	342	212	62	23	15	27	3	0	0	0	0	11.5
	男	196	116	39	17	9	15	0	0	0	0	0	11.3
	女	146	96	23	6	6	12	3	0	0	0	0	11.7
II 新生物	計	3,171	1,321	977	298	235	280	49	9	2	0	0	14.6
	男	1,692	641	545	175	132	161	33	4	1	0	0	15.4
	女	1,479	680	432	123	103	119	16	5	1	0	0	13.7
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	109	44	37	10	12	5	1	0	0	0	0	12.9
	男	46	16	14	7	5	3	1	0	0	0	0	14.7
	女	63	28	23	3	7	2	0	0	0	0	0	11.7
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	440	222	122	31	35	22	7	1	0	0	0	13.1
	男	234	114	67	16	21	11	5	0	0	0	0	13.6
	女	206	108	55	15	14	11	2	1	0	0	0	12.7
V 精神及び行動の障害	計	23	8	7	1	4	2	0	1	0	0	0	21.0
	男	12	3	3	1	4	1	0	0	0	0	0	18.9
	女	11	5	4	0	0	1	0	1	0	0	0	23.2
VI 神経系の疾患	計	375	208	65	23	22	41	15	1	0	0	0	15.2
	男	223	135	32	14	12	23	6	1	0	0	0	13.7
	女	152	73	33	9	10	18	9	0	0	0	0	17.3
VII 眼及び付属器の疾患	計	853	805	32	8	3	5	0	0	0	0	0	3.1
	男	433	408	17	6	1	1	0	0	0	0	0	3.2
	女	420	397	15	2	2	4	0	0	0	0	0	3.1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	53	50	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0
	男	26	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5.4
	女	27	26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4.6
IX 循環器系の疾患	計	2,627	1,258	631	312	197	194	25	10	0	0	0	13.0
	男	1,622	811	416	180	94	103	10	8	0	0	0	12.1
	女	1,005	447	215	132	103	91	15	2	0	0	0	14.5
X 呼吸器系の疾患	計	1,597	789	303	156	140	178	26	4	1	0	0	15.3
	男	1,029	486	207	102	89	124	17	3	1	0	0	15.8
	女	568	303	96	54	51	54	9	1	0	0	0	14.4

国際分類大項目分類		総数	1~8日	9~15日	16~22日	23~31日	1~2月	2~3月	3~6月	6月~1年	1~2年	2年~	平均在院日数
XI 消化器系の疾患	計	2,612	1,866	451	141	67	68	12	7	0	0	0	8.4
	男	1,427	978	279	81	38	40	6	5	0	0	0	8.8
	女	1,185	888	172	60	29	28	6	2	0	0	0	8.0
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	198	86	62	24	4	15	5	1	1	0	0	15.4
	男	111	53	35	10	3	6	2	1	1	0	0	15.4
	女	87	33	27	14	1	9	3	0	0	0	0	15.4
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	520	76	185	151	37	52	13	5	1	0	0	19.3
	男	260	44	107	54	20	28	5	2	0	0	0	17.5
	女	260	32	78	97	17	24	8	3	1	0	0	21.1
XIV 尿路性器系の疾患	計	1,045	672	190	84	37	50	7	4	0	1	0	10.8
	男	523	306	109	47	22	30	5	3	0	1	0	12.6
	女	522	366	81	37	15	20	2	1	0	0	0	9.1
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	250	171	74	3	1	1	0	0	0	0	0	7.5
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	250	171	74	3	1	1	0	0	0	0	0	7.5
XVI 周産期に発生した病態	計	29	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6.0
	男	13	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5.8
	女	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.1
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	37	25	10	2	0	0	0	0	0	0	0	6.5
	男	18	10	6	2	0	0	0	0	0	0	0	7.6
	女	19	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5.4
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	192	123	27	12	8	18	3	0	1	0	0	12.7
	男	112	67	18	10	4	10	2	0	1	0	0	14.0
	女	80	56	9	2	4	8	1	0	0	0	0	11.0
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,093	429	204	197	127	105	24	7	0	0	0	16.6
	男	560	245	97	83	59	55	16	5	0	0	0	16.6
	女	533	184	107	114	68	50	8	2	0	0	0	16.6
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,179	1,135	36	6	1	1	0	0	0	0	0	2.8
	男	797	771	19	5	1	1	0	0	0	0	0	2.7
	女	382	364	17	1	0	0	0	0	0	0	0	3.1
XXI 特殊目的用コード (新型コロナウイルス感染症を含む)	計	123	37	33	17	20	15	1	0	0	0	0	17.2
	男	86	25	28	11	14	8	0	0	0	0	0	15.7
	女	37	12	5	6	6	7	1	0	0	0	0	20.8

## 7. 疾病別・年齢階層別退院患者数 (大分類)

国際分類大項目分類		総数	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~	平均年齢
総数	計	16,868	731	573	712	698	997	1,792	2,366	4,510	3,594	895	63.50
	男	9,420	420	279	307	270	495	1,037	1,476	2,778	2,044	314	64.30
	女	7,448	311	294	405	428	502	755	890	1,732	1,550	581	62.50
I 感染症及び寄生虫症	計	342	86	13	19	10	17	24	36	59	65	13	48.80
	男	196	43	7	13	4	7	17	22	36	42	5	50.90
	女	146	43	6	6	6	10	7	14	23	23	8	46.00
II 新生物	計	3,171	9	14	44	72	226	420	571	1,110	636	69	68.30
	男	1,692	3	2	17	16	43	167	335	710	377	22	71.20
	女	1,479	6	12	27	56	183	253	236	400	259	47	65.00
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	109	3	3	3	5	3	15	14	37	20	6	65.70
	男	46	2	0	0	1	1	5	5	20	10	2	69.90
	女	63	1	3	3	4	2	10	9	17	10	4	62.70
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	440	8	5	4	22	37	70	73	102	98	21	65.80
	男	234	4	2	3	14	23	38	41	52	50	7	64.50
	女	206	4	3	1	8	14	32	32	50	48	14	67.40

国際分類大項目分類		総数	0～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～	平均年齢
V 精神及び行動の障害	計	23	0	3	1	0	2	5	3	4	4	1	58.80
	男	12	0	1	0	0	2	2	2	3	2	0	61.30
	女	11	0	2	1	0	0	3	1	1	2	1	56.10
VI 神経系の疾患	計	375	16	15	17	16	25	45	64	90	76	11	61.30
	男	223	12	6	9	12	20	27	44	45	43	5	59.90
	女	152	4	9	8	4	5	18	20	45	33	6	63.40
VII 眼及び付属器の疾患	計	853	0	4	8	6	22	89	133	348	224	19	72.10
	男	433	0	1	5	2	17	43	70	173	114	8	71.80
	女	420	0	3	3	4	5	46	63	175	110	11	72.30
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	53	6	1	0	1	4	9	8	16	8	0	59.90
	男	26	3	1	0	0	2	6	4	7	3	0	57.20
	女	27	3	0	0	1	2	3	4	9	5	0	62.60
IX 循環器系の疾患	計	2,627	1	11	9	22	73	258	396	846	777	234	74.10
	男	1,622	0	7	6	17	53	206	284	520	449	80	72.00
	女	1,005	1	4	3	5	20	52	112	326	328	154	77.30
X 呼吸器系の疾患	計	1,597	325	81	68	54	67	80	134	270	357	161	54.60
	男	1,029	184	53	46	38	49	53	80	204	249	73	55.50
	女	568	141	28	22	16	18	27	54	66	108	88	52.90
XI 消化器系の疾患	計	2,612	56	212	321	179	198	238	317	496	466	129	56.80
	男	1,427	40	94	119	88	115	140	215	317	253	46	58.60
	女	1,185	16	118	202	91	83	98	102	179	213	83	54.70
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	198	13	5	9	11	15	30	30	43	29	13	59.80
	男	111	6	3	6	9	12	19	20	20	12	4	56.40
	女	87	7	2	3	2	3	11	10	23	17	9	64.10
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	520	25	46	11	17	16	39	81	171	96	18	62.00
	男	260	14	16	9	11	14	24	46	81	36	9	60.50
	女	260	11	30	2	6	2	15	35	90	60	9	63.50
XIV 尿路性器系の疾患	計	1,045	21	10	28	55	120	166	152	258	182	53	63.80
	男	523	11	6	11	8	39	87	86	162	99	14	66.00
	女	522	10	4	17	47	81	79	66	96	83	39	61.60
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	250	0	3	79	142	26	0	0	0	0	0	31.90
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	250	0	3	79	142	26	0	0	0	0	0	31.90
XVI 周産期に発生した病態	計	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	男	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	37	9	7	0	6	3	6	3	2	1	0	32.60
	男	18	4	5	0	2	1	3	1	1	1	0	32.70
	女	19	5	2	0	4	2	3	2	1	0	0	32.60
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	192	58	5	2	2	8	14	12	35	38	18	50.90
	男	112	32	2	2	1	3	7	9	25	25	6	52.60
	女	80	26	3	0	1	5	7	3	10	13	12	48.50
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,093	26	59	61	33	65	127	111	232	279	100	65.00
	男	560	16	46	47	25	46	81	53	121	107	18	57.90
	女	533	10	13	14	8	19	46	58	111	172	82	72.50
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,179	35	75	28	44	67	152	218	360	190	10	61.50
	男	797	28	26	14	21	45	108	151	259	140	5	63.70
	女	382	7	49	14	23	22	44	67	101	50	5	56.80
XXI 特殊目的用コード (新型コロナウイルス感染症を含む)	計	123	5	1	0	1	3	5	10	31	48	19	75.40
	男	86	5	1	0	1	3	4	8	22	32	10	72.10
	女	37	0	0	0	0	0	1	2	9	16	9	83.10

## 8. 診療科別疾患順位（細分類）

細分類病名のままではわかりにくいものに関しては、一部修正を加え掲載

### <内科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	I500	うっ血性心不全	372	20.1	16	115	1
2	J690	誤嚥性肺炎	310	25.5	22	93	1
3	I208	労作性狭心症	238	3.7	4	22	1
4	I480	発作性心房細動	186	4.3	4	42	1
5	I633	血栓性脳梗塞	165	17.5	14	71	2
6	K803	胆管結石性胆管炎	152	12.3	9	93	3
7	Z138	その他の検査（睡眠時無呼吸、腎生検、気管支鏡）入院	143	2.8	2	20	1
	Z136	CAG検査入院	143	2.6	3	3	2
9	C833	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	135	14.4	12	56	3
10	N185	慢性腎臓病	131	18.2	12	107	1

### <小児科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	J189	急性肺炎	60	5	5.5	12	3
2	J157	マイコプラズマ肺炎	43	5.3	6	11	2
3	J450	小児気管支喘息	39	5.5	6.5	11	2
4	R560	熱性けいれん<痙攣>	37	3.6	5	9	2
5	J209	急性気管支炎	34	4.5	5	9	1
6	Z130	食物負荷試験	24	1.2	1	2	1
	J210	RSウイルス細気管支炎	24	4.6	5	7	3
8	M303	川崎病	21	9.7	9	20	4
9	J121	RSウイルス肺炎	19	5.5	6.5	9	4
10	A099	急性胃腸炎	18	3.4	4	6	2

### <外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石	150	6.0	6	9	4
2	K409	片側鼠径ヘルニア	102	3.5	4	7	2
3	C504	乳房上外側4分の1の悪性新生物	94	8.8	8	47	3
4	K403	閉塞を伴う片側鼠径ヘルニア	82	4.4	4	36	2
5	K913	術後腸閉塞	74	10.8	8	52	3
6	K358	急性虫垂炎	68	4.9	5	8	3
7	C20	直腸の悪性新生物	47	18.4	14	61	4
8	K623	直腸脱	46	6.5	7	7	2
9	K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石	46	7.9	6	29	4
10	K353	限局性腹膜炎を伴う急性虫垂炎	45	7.4	7	24	4

### <整形外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	Z138	脊髄腔造影検査入院	174	2.0	2	2	2
2	S7200	閉鎖性大腿骨頸部骨折	133	23.6	27.5	78	2
3	S7210	閉鎖性転子貫通骨折	109	20.1	23	61	3



4	Z470	術後抜釘入院	107	2.8	5	16	2
5	M4806	脊柱管狭窄症	53	12.5	11	35	8
6	M4712	頸髄症性脊椎症	53	16.4	33	33	33
7	S5250	閉塞性橈骨遠位端骨折	51	3.3	4	31	2
8	M170	原発性膝関節症	43	17.6	17.5	22	2
9	M4125	特発性脊柱側弯症	29	12.4	12	22	2
10	S3200	閉鎖性腰椎骨折	27	22.7	24	30	17
	S141	頸髄損傷	27	24.4	15.5	49	4

### <形成外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H024	眼瞼下垂	129	1.8	3	10	1
2	H020	眼瞼内反症	23	1.4	2	3	1
3	C443	顔面の皮膚悪性新生物	18	1.9	2	3	1
4	Z420	頭部及び頸部手術後の植皮入院	16	3.8	3.5	19	1
5	D171	体幹の皮膚及び皮下組織	13	2.4	2	5	1

### <脳神経外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	S0650	外傷性硬膜下出血	105	15	19.5	85	1
2	I610	脳内出血、皮質下出血	103	22.4	26	118	3
3	I652	頸動脈の閉塞及び狭窄	29	18.3	17.5	63	3
4	S0660	外傷性くも膜下出血	21	20.2	17	173	2
5	S0620	びまん性脳損傷	15	23.3	20.5	70	4
6	Z138	脳血管造影検査入院	14	2.1	2.5	3	2
	G408	症候性てんかん	14	10.4	8	38	4
8	S0600	脳震盪	13	3.5	4	7	1
9	I614	小脳の脳内出血	10	14.2	14	26	1
10	I613	脳幹の脳内出血	9	7.3	4	24	1

### <呼吸器外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	C341	上葉、気管支又は肺の悪性新生物	56	10.3	11	54	5
2	C343	下葉、気管支又は肺の悪性新生物	55	11.1	13	54	5
3	J931	自然気胸	28	7.6	9	22	4
4	C780	肺の転移性悪性新生物	18	8.9	8.5	10	7
5	J938	続発性気胸	13	15.2	14.5	34	8

### <心臓外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	I710	大動脈の解離	23	25	23	51	2
2	I208	労作性狭心症	19	23.9	22	39	15
3	I340	僧帽弁閉鎖不全症	14	22.7	18.5	47	13
4	I350	大動脈弁狭窄症	7	22.7	21	33	15
	I200	不安定狭心症	7	26.3	26	45	13

<皮膚科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	L031	四肢の蜂窩織炎	75	11.1	12.5	61	4
2	T630	マムシ咬傷	10	6.5	6.5	10	2
3	A46	丹毒	9	7.3	7	10	4
4	B022	神経系合併症を伴う帯状疱疹	5	8.4	8.5	11	6
	B029	合併症を伴わない帯状疱疹	5	8.6	9	10	8
	L022	皮下膿瘍	5	11.4	8	18	5

<泌尿器科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	Z125	前立腺生検入院	203	2	3	5	1
2	N201	尿管結石	127	4.1	9	24	1
3	C678	膀胱の境界部病巣の悪性新生物	65	9.6	12	69	3
4	C61	前立腺の悪性新生物	52	19.1	25.5	71	2
5	N10	急性尿細管間質性腎炎	50	11.6	14	37	5
6	C672	膀胱側壁の悪性新生物	45	8.9	14.5	48	5
7	C64	腎盂を除く腎の悪性新生物	39	13.1	13.5	56	2
8	N200	腎結石	31	5	7.5	25	2
9	N40	前立腺肥大症	30	6.6	7	11	4
10	N410	急性前立腺炎	27	9.6	10.5	22	5

<産婦人科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	O800	自然頭位分娩	106	7.5	7.5	11	2
2	C541	子宮内膜の悪性新生物	69	10.9	15.5	122	1
3	D27	卵巣の良性新生物	68	6.5	7.5	16	4
4	C56	卵巣の悪性新生物	45	12.5	11.5	56	2
5	N840	子宮体部ポリープ	41	2.9	4.5	12	2
6	N871	中等度子宮頸(部)異形成	35	3.2	4.5	6	3
7	O342	既往帝王切開後妊娠	33	8.8	8	9	6
8	O814	吸引娩出術を伴う自然分娩	32	7.9	8.5	11	7
9	D259	粘膜下子宮平滑筋腫	31	6.6	6	13	2
10	C539	子宮頸部の悪性新生物	30	13.2	12.5	83	1

<眼科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H250	老人性初発白内障	324	2.1	5	16	1
2	H251	老人性核白内障	225	2.3	4	38	1
3	H353	黄斑及び後極の変性	31	6.5	8	15	1
4	H258	その他の老人性白内障	24	2.7	3.5	7	2
5	H431	硝子体出血	22	10.5	10	38	2



### <耳鼻咽喉科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	J36	扁桃周囲膿瘍	69	5.9	7	23	3
2	C73	甲状腺の悪性新生物<腫瘍>	36	12.3	12.5	62	4
3	H813	末梢性めまい症	29	3.7	4	6	2
4	J350	慢性扁桃炎	22	8.2	10	13	7
	J039	急性扁桃炎	22	5.2	6	10	3
6	G473	睡眠時無呼吸	20	8	8	8	8
	J342	鼻中隔湾曲症	20	6	6	6	6
8	J328	その他の慢性副鼻腔炎	19	6.3	7	9	6
9	G510	ベル<Bell>麻痺	14	7.9	8	9	6
10	D110	耳下腺の良性腫瘍	13	7.2	7	8	6
	J324	慢性汎副鼻腔炎	13	6	6	6	6

### <麻酔科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	B022	带状疱疹後神経痛	4	4.3	3.5	5	2
2	M4806	腰部脊柱管狭窄症	3	3	3	3	3

### <歯科口腔外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	K073	下顎水平埋伏智歯	551	2.4	2.5	14	1
2	K011	埋伏歯<impacted teeth>	86	2.6	3	4	2
3	K090	発育性歯原性のう嚢胞	27	4.3	5	10	2
4	K048	歯根のう嚢胞	21	3.5	4	5	3
5	K045	慢性根尖性歯周炎	18	4.4	5	8	2

### <救急科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	T090	背部打撲傷	1	3	3	3	3

## 8. 剖検数

No.	年齢	性別	診療科	主臨床診断名
1	32	女	総合内科	窒息
2	48	男	脳神経内科	右腎盂腎炎
3	54	男	救急科	来院時心肺停止
4	60	男	救急科	原因不明の死亡
5	76	男	脳神経内科	麻痺性イレウス 小脳脳膿瘍 カンジダ菌血症
6	85	男	腎臓内科	尿毒症 薬物性肝障害 急性腎性腎不全
7	66	男	循環器内科	右心不全 肺高血圧症
8	65	男	脳神経内科	ギラン・バレー症候群
9	53	男	内科	ヒルシユスプルング病
10	90	女	総合内科	血管内大細胞型B細胞性リンパ腫の疑い
11	49	男	救急科	来院時心肺停止
12	72	女	血液内科	形質細胞 Leukemia
13	87	男	循環器内科	うっ血性心不全
14	15	男	内科	細菌性肺炎
15	78	男	循環器内科	急性心筋梗塞 人工弁感染の疑い 急性腎障害
16	67	男	内科	多臓器不全

## Ⅱ 部署別業務実績

---



# 1. 診療放射線室

## 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

### 1. 令和6年度診療放射線技師労務状況

- ・有休取得は平均10.9日取得（前年対比0.1日減少）、時間外就労は年360時間を超える者なし  
→残務時間2,659時間（一昨年度3240時間）、581時間減（前年度比18%減）
- ・男性技師計2名育休取得（3ヶ月～6ヶ月）、女性技師1名育休取得（10ヶ月）
- ・男性技師パート職員1名採用（R7.2.17～）

### 2. 高額医療機器等の導入及び更新

- ・PET-CT装置： R5.7.10導入後、電源トラブルにて。R6.5.13装置入替完了
- ・第1TV透視装置： R7.3.31設置完了、R7.4.1より稼働開始

### 3. 放射線レポート未読・既読管理

- ・30日以上未読状況“ゼロ”継続
- ・放射線診断医が発する重要レポートに対する診断対応管理を継続実施

### 4. 医療放射線の管理

- ・「放射線管理WG」及び「線量管理WG」にて、患者および医療従事者の医療放射線ひばく管理実施  
→内視鏡看護師の被ばく線量が昨年度平均：2.3mSv。令和3年度平均：10.7mSvと比較して約1/4低減。放射線管理WG中心に被ばく低減の成果と考える。

### 5. CT共同研究の継続

- ・富士フィルムメディカル(株)と共同研究継続（R8年度末まで）

### 6. アミロイドPETの施設認証（I）R6.8月取得

- ・アルツハイマー型認知症治療薬「レカネマブ」投与前アミロイドPET検査、東海北陸厚生局の認可にて、R6.9.17（火）よりPET-CT撮影料算定可。（R6年度35件実施）

### 7. 論文執筆

- ・CT検査係長による論文1本執筆

## 2. 令和6年度実績

### 1. 診療放射線室取扱検査・治療件数

	令和5年度	令和6年度	前年度比（%）
一般撮影	124,397	122,580	98.5%
X線テレビ	11,834	11,363	96.0%
血管撮影	2,713	2,491	91.8%
C T	45,122	44,591	98.8%
M R I	16,306	17,383	106.6%
骨塩定量	1,970	2,048	104.0%
R I	2,308	2,561	111.0%
放射線治療	3,106	5,608	180.6%
合計	207,756	208,625	100.4%

## 2. MRI検査件数

	令和5年度	令和6年度	前年度比(%)
内科	4,330	4,961	114.6%
心療精神科	24	32	133.3%
小児科	160	104	65.0%
外科	541	592	109.4%
整形外科	2,237	2,411	107.8%
脳神経外科	3,154	3,271	103.7%
皮膚科	75	95	126.7%
泌尿器科	507	504	99.4%
産婦人科	618	620	100.3%
眼科	101	111	109.9%
耳鼻咽喉科	504	588	116.7%
放射線科	639	806	126.1%
麻酔科	66	55	83.3%
歯科口腔外科	48	56	116.7%
形成外科	126	116	92.1%
心臓外科	87	66	75.9%
呼吸器外科	96	139	144.8%
健診センター	1,402	1,578	112.6%
救急科	1,591	1,278	80.3%
合計	16,306	17,383	106.6%

## 3. X線CT検査件数

	令和5年度	令和6年度	前年度比(%)
内科	14,509	14,758	101.7%
心療精神科	6	5	83.3%
小児科	37	27	73.0%
外科	5,384	5,081	94.4%
整形外科	2,403	2,676	111.4%
脳神経外科	2,370	2,046	86.3%
皮膚科	231	260	112.6%
泌尿器科	2,317	2,316	100.0%
産婦人科	625	576	92.2%
眼科	44	47	106.8%
耳鼻咽喉科	1,710	2,036	119.1%
放射線科	855	874	102.2%
麻酔科	32	22	68.8%
歯科口腔外科	688	746	108.4%
形成外科	197	166	84.3%
心臓外科	471	473	100.4%
呼吸器外科	958	1,075	112.2%
健診センター	342	385	112.6%
救急科	11,943	11,022	92.3%
合計	45,122	44,591	98.8%

## 4. 血管撮影件数

	令和5年度	令和6年度	前年度比(%)
内 科	1,943	1,747	89.9%
外 科	173	160	92.5%
麻 酔 科	322	345	107.1%
脳 神 経 外 科	69	73	105.8%
救 急 科	199	162	81.4%
形 成 外 科	0	0	0.0%
心 臓 外 科	2	1	50.0%
放 射 線 科	1	0	0.0%
産 婦 人 科	4	3	75.0%
合 計	2,713	2,491	91.8%

## 5. アイソトープ検査件数

	令和5年度	令和6年度	前年度比(%)
脳 血 流	283	390	138%
甲 状 腺	7	16	229%
副 甲 状 腺	9	11	122%
肺 血 流	8	4	50%
心 筋 負 荷	768	766	100%
心 筋 無 負 荷	162	192	119%
心 プ ー ル	0	0	—
肝	0	6	—
腎	2	8	400%
副 腎	8	6	75%
メ ッ ケ ル	0	0	—
消 化 管	1	1	100%
骨	193	186	96%
ガ リ ウ ム	11	9	82%
P E T	677	713	105%
アミロイドPET	0	42	新規検査
その他	179	232	130%
合 計	2,308	2,582	112%

その他：センチネルリンパ115件、DATシンチ82件、ソマトスタチン10件など

豊田厚生病院 診療放射線室 設置装置一覧

令和7年6月18日調査

設置場所	装置種類	装置名 (メーカー)		取得年月日	使用期間(年)
第1撮影室	X線一般撮影装置(立位オートポジショニング仕様)	UD150B-40	高津製作所	2021/6	4.0
	CALNEO GL1 (長尺用)	DR-ID1305SE (14/11)	FUJIFILM	2019/9	6.0
	長尺撮影用 立臥位兼用撮影台	FM-PL1 (16/03)	FUJIFILM	2019/9	6.0
	立位型FPD画像読み取り装置	CALNEO Smart C77	FUJIFILM	2021/5	4.0
	臥位型FPD画像読み取り装置	CALNEO Smart C77	FUJIFILM	2021/5	4.0
	FPD (14×17半切サイズ)	DR CALNEO C1417Wireless(SE X)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	FPD (12×14四ツ切サイズ)	DR CALNEO C mini Wireless SQ	FUJIFILM	2014/11	11.0
	画像処理・解析装置	Console Advance	FUJIFILM	2019/9	6.0
	CRシステム	FCR Sppedia CS Plus	FUJIFILM	2014/12	11.0
第2撮影室	一般撮影装置	UD150L-40	高津製作所	2007/12	18.0
	立位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	臥位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	FPD (14×17半切サイズ)	DR CALNEO C 1417 Wireless(SE X)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	FPD (12×14四ツ切サイズ)	DR CALNEO C mini Wireless SQ	FUJIFILM	2014/11	11.0
	画像処理・解析装置	Console Advance	FUJIFILM	2014/9	11.0
第3撮影室	一般撮影装置	UD150L-40	高津製作所	2007/12	18.0
	立位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	臥位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	FPD (14×17半切サイズ)	DR CALNEO C 1417 Wireless(SE X)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	FPD (12×14四ツ切サイズ)	CALNEO Smart C12	FUJIFILM	2021/5	4.0
	画像処理・解析装置	Console Advance	FUJIFILM	2014/9	11.0
第4撮影室	一般撮影装置	UD150L-40	高津製作所	2007/12	18.0
	立位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	臥位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	FPD (14×17半切サイズ)	DR CALNEO C 1417 Wireless(SE X)	FUJIFILM	2014/11	11.0
	FPD (12×14四ツ切サイズ)	DR CALNEO C mini Wireless SQ	FUJIFILM	2014/11	11.0
	画像処理・解析装置	Console Advance	FUJIFILM	2014/9	11.0
第5撮影室	乳房X線撮影装置	AMULET Innovality	FUJIFILM	2016/7	9.0
	マンモグラフィ画像ビューア	MammoRead	東陽テクニカ	2007/12	18.0
	マンモグラフィ画像診断WS	マンモグラフィ画像診断WS(外科)	クライムメディカル	2019/1	7.0
第6撮影室	CR対応X線パノラマ撮影装置	AutoAZ3000CMR	朝日レントゲン	2007/12	18.0
	CR読取システム	FCR XL-2	FUJIFILM	2007/8	18.0
第7撮影室	一般撮影装置	UD150L-40	高津製作所	2007/12	18.0
	臥位CRシステム	FCR VELOCITY T	FUJIFILM	2003/3	23.0
	画像処理・解析装置	Console Advance	FUJIFILM	2014/9	11.0
第8撮影室	X線骨密度測定装置	Prodigy Fuga Advance	GEヘルスケア	2024/3	2.0
救命救急センター	一般撮影装置	UD150L-40	FUJIFILM	2007/12	18.0
	立位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2018/3	8.0
	臥位型FPD画像読み取り装置	DR CALNEO HC SQ(SE)	FUJIFILM	2018/3	8.0
	FPD (14×17半切サイズ)	CALNEO Smart S47	FUJIFILM	2018/3	8.0
	FPD (12×14四ツ切サイズ)	DR CALNEO C mini Wireless SQ	FUJIFILM	2014/11	11.0
	電動式立位・臥位撮影台	ROCKET Evolution II	大林	2018/3	8.0
	画像処理・解析装置	Console Advance	FUJIFILM	2014/9	11.0
第1透視室	Cアーム型多目的デジタルX線TV装置	Ultimax-i	CANON	2025/4	0.0
第2透視室	X線透視撮影装置	VersiFlex VISTA	FUJIFILM	2021/9	4.0
第3透視室	Cアーム型多目的デジタルX線TV装置	Ultimax-i	CANON	2011/3	15.0

設置場所	装置種類	装置名 (メーカー)		取得年月日	使用期間(年)
第1 CT室	64列全身用X線CT装置	SCENARIO VIEW 64	FUJIFILM	2021/ 1	5.0
	造影剤注入装置	Dualshot GX7	Nemoto	2021/ 2	5.0
	CT画像処理・解析WS (クライアント)	VINCENT(2台)	FUJIFILM	2021/10	4.0
第2 CT室	64列全身用X線CT装置	SCENARIO 64	FUJIFILM	2012/11	13.0
	造影剤注入装置	Dualshot GX7	Nemoto	2012/11	13.0
	CT画像処理・解析WS (クライアント)	VINCENT	FUJIFILM	2021/10	4.0
第3 CT室	64列全身用X線CT装置	SCENARIO VIEW 64	FUJIFILM	2023/ 5	2.0
	造影剤注入装置	Dualshot GX7	Nemoto	2012/11	13.0
	炭酸ガス送気装置	KSC-130(12/08)	Nemoto	2015/ 3	11.0
	CT画像処理・解析WS (クライアント)	VINCENT	FUJIFILM	2021/10	4.0
第1 MRI室	3T 磁気共鳴断層撮影装置	MAGNETOM Skyra(10/02)	シーメンス	2017/ 1	9.0
	造影剤注入装置	SONICshot 7	Nemoto	2017/ 1	9.0
第2 MRI室	磁気共鳴断層診断装置 (1.5T)	MAGNETOM Aera 1.5T(17/11)	シーメンス	2019/ 1	7.0
	造影剤注入装置	SONICshot 7	Nemoto	2019/ 1	7.0
第3 MRI室	3T 磁気共鳴断層撮影装置	Ingenia Evolution 3.0T	フィリップス	2023/10	2.0
	MRI用造影剤注入装置	SONICshot 7	Nemoto	2023/10	2.0
	生体監視モニター	Pimot	杏林システマック	2023/10	2.0
	画像解析用PC (VSRAD)	Endeavor	EPSON	2010/ 4	15.0
PET-CT室	ポジトロン断層撮影装置 (PETCT)	Discovery IQ2.0X	GEヘルスケア	2023/ 7	2.0
	画像処理・解析WS	AW VolumeShare7	GEヘルスケア	2023/ 7	2.0
	自動投与装置	UG-1000M	ユニバーサル技研	2023/ 7	2.0
	キュリーメータ	IGC-8B	アロカ	2023/ 7	2.0
	放射線モニタリングシステム	モニタリングシステム	富士電機	2023/ 7	2.0
ガンマカメラ室	ガンマカメラ装置	Infinia 3	GEヘルスケア	2007/12	18.0
	画像処理・解析WS	XELERIS4 DR ワークステーション	GEヘルスケア	2024/ 7	1.0
	画像解析用PC (EZIS)	Endeavor	EPSON	2012/ 3	14.0
第1 心臓カテーテル室	バイプレーン血管撮影システム	TriniasB8uityedition	島津製作所	2019/ 9	6.0
	アンギオ用造影剤注入装置	Zone Master Neo	Nemoto	2019/ 9	6.0
第2 心臓カテーテル室	バイプレーン血管撮影システム	TriniasB12uityedition	島津製作所	2019/ 9	6.0
	アンギオ用造影剤注入装置	Zone Master Neo	Nemoto	2019/ 9	6.0
ハイブリッド手術室	血管造影X線診断装置	Azurion7B20/15 R2.1	Philips	2021/ 3	5.0
	アンギオ用造影剤注入装置	PRESS DUO elite	Nemoto	2021/ 3	5.0
	アンギオ画像処理・解析装置	Interventional Tools	Philips	2021/ 3	5.0
	TAVI画像解析WS	3mensio用PC	Photron	2021/ 3	5.0
	CT画像処理・解析WS (クライアント)	VINCENT	FUJIFILM	2021/10	4.0
	線量管理用	MovieEditor	FMV	2019/ 8	6.0
放射線治療室	放射線治療装置	TrueBeam 120MLC	バリアン	2023/ 9	2.0
	放射線治療計画装置	RayStation	レイサーチ・ジャパン	2023/ 9	2.0
	放射線治療計画支援システム	MIM Maestro	MIM Software	2023/ 9	2.0
	手動レーザーサイドポインター (3点)	LSP-GNT	竹中オプトニク	2023/ 9	2.0
治療計画CT室	治療計画用全身X線CT診断装置16	SOMATOM go Sim	シーメンス	2023/ 9	2.0
	多相電動式造影剤注入装置	Smart Shot	Nemoto	2023/ 9	2.0
手術室	外科用X線Cアーム装置	OPESCOPE ACTIVO WHA-200	島津製作所	2011/ 5	14.0
	外科用X線Cアーム装置	CiosSelect	シーメンス	2019/ 9	6.0
	外科用X線Cアーム装置	OEC Brivo Essential	GEヘルスケア	2014/ 3	12.0
	移動型X線透視診断装置 (Oアーム)	O-arm	メドトロニクス	2022/ 1	4.0
	FPD搭載移動型X線撮影装置	Tiara(緑)	FUJIFILM	2021/ 3	5.0
	FPD (14×17半切サイズ)	CALNEO Smart S47	FUJIFILM	2021/ 3	5.0

設置場所	装置種類	装置名 (メーカー)		取得年月日	使用期間(年)
ICU病棟 ポータブル庫	回診用X線撮影装置	MobileArtEvolutionMX7	島津製作所	2017/10	8.0
	ポータブル撮影対応モバイルコンソール	DR-ID 300CL	FUJIFILM	2017/3	9.0
	FPD (14×17半切サイズ)	CALNEO Smart S47	FUJIFILM	2017/6	8.0
3F病棟 ポータブル庫	FPD搭載移動型X線撮影装置	MobileArt Evolution(MX8)	島津製作所	2024/1	2.0
	ポータブル撮影対応モバイルコンソール	DR-ID 300CL	FUJIFILM	2017/3	9.0
	ポータブル対応FPD読取システム	CALNEO Smart S47	FUJIFILM	2024/1	2.0
4F病棟 ポータブル庫	FPD搭載移動型X線撮影装置	Tiara(紫)	FUJIFILM	2021/3	5.0
	FPD (14×17サイズ)	CALNEO Smart S47	FUJIFILM	2021/3	5.0
感染病棟	FPD搭載移動型X線撮影装置	Tiara(黄)(救外に貸出)	FUJIFILM	2021/3	5.0
	FPD (17×17サイズ)	CALNEO Smart S77	FUJIFILM	2021/3	5.0
救命救急 センター	ポータブル撮影装置	MUX-100HJE	島津製作所	2007/12	18.0
	CR読取システム	FCR SppediaCS	FUJIFILM	2007/12	18.0
健診胸部 撮影室	X線一般撮影装置	UD150L-40	島津製作所	2021/6	4.0
	立位型FPD画像読み取り装置	CALNEO Smart C77	FUJIFILM	2021/5	4.0
	画像処理・解析装置	Console Advance	FUJIFILM	2021/5	4.0
健診乳房 撮影室	乳房X線撮影装置	AMULET Innovality	FUJIFILM	2022/3	4.0
	マンモグラフィ画像診断WS	マンモグラフィ画像診断WS	クライムメディカル	2019/1	7.0
健診透視室14	X線透視撮影装置	FLEXAVISION F3	島津製作所	2017/3	9.0
健診透視室15	X線透視撮影装置	FLEXAVISION F4	島津製作所	2023/3	3.0
健診透視室16	X線透視撮影装置	FLEXAVISION F4	島津製作所	2023/3	3.0
健診透視室	バリウムシェイカー	バリウムシェイカー	島津製作所	2023/3	3.0
歯科口腔 外科	多機能パノラマX線撮影装置	AZ3000	アサヒ	1999/1	27.0
	デンタルX線撮影装置	GX-70	アサヒ	1999/1	27.0
泌尿器科	泌尿器専用X線透視撮影装置	UroskopOmniaMax	シーメンス	2023/12	2.0
結石破碎室	体外式結石破碎装置	Delta II	ドルニエ	2024/12	1.0
第8撮影室	遠隔読影システム	Endeavor	EPSON	2013/4	12.0
	遠隔読影システム外部接続用	ECE31GP	DELL		
	遠隔読影拡張費用	遠隔読影拡張費用	医知悟	2015/11	10.0
ファイリング	骨年齢評価プログラム	CASMAS バージョン2.0プログラム		2010/2	16.0
	CASMAS画像解析用	Endeavor	EPSON	2010/2	16.0
	スキャナ&透過原稿ユニット	ES-10000G	EPSON	2009/1	17.0
	紹介画像インポートシステム	Array Aoc Preludio Quattro	Array	2018/3	8.0
	放射線医用画像情報システム(サーバ)	SYNAPSE/Result Manager	FUJIFILM	2021/9	4.0
	統合診療支援システム(サーバ)	CITA Clinical Finder	FUJIFILM	2021/9	4.0
	CD/DVD画像インポーター	INTEGRITY	CODONICS	2016/8	9.0
	紹介画像インポートシステム	Preludio	DELL	2018/3	8.0
	PDI Importer、Jpeg.bmp変換用PC	SYNAPDI 01	DELL		
	画像DVD作成機	Virtua	CODONICS	2014/12	11.0
	CD確認用PC	P20X	NEC		
	ウイルス検索用PC	Endeavor	EPSON		
デジタイザー用PC	Mate	NEC			



## 2. 臨床検査室

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 診療機能への貢献

- ・臨床検査技師によるERへの診療支援を継続。
- ・大量出血時に対応可能な輸血製剤のMTP専用オーダーを作成、シミュレーション（ERと輸血検査、検査室内）を実施し運用確立。
- ・来患者の検体検査、病棟依頼から外来依頼への変更（6月より、343件／年）。

#### 2. 業務改善と効率化

- ・働き方改革による超過勤務削減を実施し、昨年度比2%（47時間）経年で削減。  
（令和4年度：2,795時間、令和5年度：2,235時間、令和6年度2,188時間）。
- ・ERにおける超音波検査コスト漏れ改善への取り組みの継続。
- ・血液型検査の余剰検査の見直しによるコスト削減（ダブリ検体約14件／月）。

#### 3. チーム医療および医療安全

- ・ハイブリットOPE室でのLAAC実施の継続（12件／年）。
- ・ERへの次年度に向けた支援技師の計画的育成（新たに1名）。
- ・健康管理センターにおける超音波業務支援（2～3日／月）、心電図業務（健診稼働日）。
- ・造影超音波検査時の薬剤投与（医師より委託された検査）（41件／年）。
- ・骨髄検査業務の介助と骨髄像カウント・レポート作成（370件／年）。
- ・持続血糖測定器リブレの装着業務（129件／年）。
- ・遺伝子検査外部委託依頼書の代行記入の開始。
- ・未読管理システムを利用した病理細胞・生理レポートの未読管理を実施。  
（令和6年度：病理細胞未読率0%、超音波検査未読率0%）。
- ・肝炎ウイルス検査初回陽性者に対する受診勧奨と新管理体制を構築。  
（令和6年度新規発生患者の未対応率0%）

#### 4. 人材育成（令和6年度実績）

- ・認定資格取得：15種17名  
（認定輸血検査技師：1名、認定臨床微生物検査技師：2名、感染制御認定臨床微生物検査技師：1名、超音波検査士（血管領域）：1名、細胞検査士：1名、緊急臨床検査士：1名、JHRS認定心電図専門士：1名、二級臨床検査士（血液学）：1名、（病理学）：1名、心電図検定1級：2名、心電図検定2級：1名、精度管理責任者：1名、日本DMAT隊員：1名、他：2名）

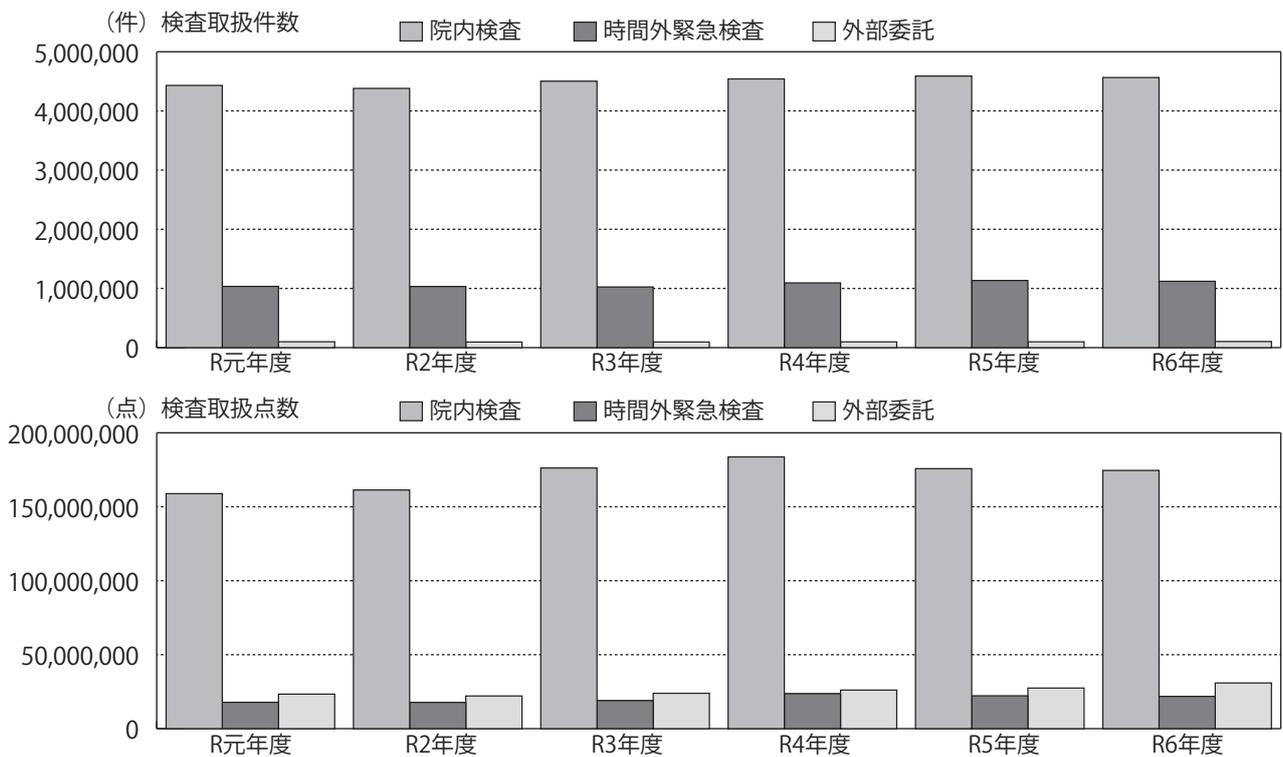
## 2. 令和6年度実績

### 1. 整備機器（高額医療機器および固定資産機器）

部署	機器名	機種名	メーカー	数量
生理検査	脳波分析装置	EEG-1260-NE	日本光電	1
生理検査	筋電図・誘発電位検査装置	Neuropack X3 MEB-2306	日本光電	1
生理検査	超音波画像診断装置	Vivid S70N	GE	1
生化学免疫検査	全自動糖分析装置、 自動ヘモグロビンA1c分析装置	GA09 II a、HLC-723 G11	A&T株式会社 東ソー株式会社	1
採血室	採血業務支援システム	AssistMore・HARN-710S	テクノメディカ	1
検査室(ICU)	血液ガス分析装置	ラピッドポイント500 e	シーメンスHCD	1
病理細胞検査	システム生物顕微鏡	BX53LED-45	エビデント	1
自己血採血室	ドナーメイト	KL-103	SBカワスミ	1

### 2. 検査取扱件数・点数

検査大項目	検査小項目	令和6年度件数	令和6年度点数
一般検査	尿	137,283	3,582,142
	便	25,826	1,058,522
	体液	3,168	65,080
血液検査	血液	544,188	14,864,333
輸血検査	輸血	73,117	4,040,779
臨床化学	化学Ⅰ	2,959,215	37,940,240
	化学Ⅱ	110,473	13,488,603
	血液ガス	41,561	5,776,979
	負荷試験	102	21,200
免疫検査	免疫	311,380	19,456,634
微生物検査	一般細菌	77,158	10,722,936
	核酸検査	712	229,810
	その他	2,408	0
病理検査	病理組織	11,922	11,974,500
	細胞診	12,051	2,301,961
生理検査	肺機能	17,590	1,728,410
	心電図	52,964	13,137,720
	超音波	39,574	23,598,830
	脳波	2,051	2,752,330
	その他	31,834	3,267,196
その他	採血・検体採取	109,355	4,166,725
	病理解剖	16	400,000
	検査外業務	630	0
院内合計		4,564,578	174,574,930
外部委託		102,615	30,891,364
総合計		5,170,885	260,584,249
時間外緊急検査		1,120,739	21,813,019



### 3. 外注検査依頼状況

S R L		令和6年度
保険収載分	件数	63,131
	点数	20,087,670
薬物濃度	件数	1,555
	点数	730,850
保険未収載	件数	1,647
	支払金額	6,949,183
B M L		令和6年度
保険収載分	件数	36,504
	点数	10,092,824
L S Iメディエンス		令和6年度
保険未載分	件数	1
	支払金額	110,000
ファルコバイオシステムズ		令和6年度
保険未載分	件数	2
	支払金額	242,000

\*外注の保険収載・薬物分は稼動点数、未収載は支払い金額を計上

### 4. 加算件数・点数

項目	令和6年度	
	件数	点数
時間外加算	6,830	1,366,000
入院初回加算	608	12,160
検体管理加算 I	94,346	3,773,840
検体管理加算 IV	1,019	509,500
外来迅速加算	66,537	2,945,420
病理診断料(加算 I 含)	23,297	6,188,360
輸血管理料・適正加算 I	4,277	707,050
骨髓診断加算	222	53,280
国際標準検査管理加算	13,882	555,280
合計	211,018	16,110,890

## 5. 検査判断件数・点数

項目	令和6年度	
	件数	点数
尿	26,679	907,086
血液検査	82,292	10,286,500
臨床化学Ⅰ	83,257	11,989,008
臨床化学Ⅱ	29,590	4,260,960
免疫血清	64,718	9,319,392
微生物検査	10,756	1,613,400
遺伝子・染色体	941	94,100
病理細胞検査	1,610	209,300
生理検査	6,713	1,076,180
合計	306,556	39,775,926

## 6. 外部精度管理調査結果

調査年度	外部精度管理種類	評点
令和6年度	日本医師会	94.8点 D: 0
令和6年度	日本臨床衛生検査技師会	A + B : 275/275 (100.0%) C : 0 D : 0
令和6年度	愛知県臨床検査技師会	A + B : 215/216 (99.5%) C : 0 D : 1

## 7. 臨床検査室認証・認定

認証・認定団体	令和6年度
日臨技精度保証施設認証	認証
日本臨床細胞学会施設認定	認定
日本臨床細胞学会教育研修施設認定	認定
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度認証施設 (I&A)	認定
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設	認定
ISO15189施設認定 (RML02250)	認定

## 8. 学会認定資格者

学会認定資格	令和6年度
超音波検査士	14名
細胞検査士	6名
輸血認定技師	3名
細胞治療認定管理者	1名
第1種衛生管理士	5名
衛生工学衛生管理者	2名
認定臨床微生物検査技師	3名
認定血液検査技師	4名
認定心電図検査技師	1名
認定病理検査技師	2名
緊急検査認定技師	2名
緊急臨床検査士	22名
二級臨床検査士 (病理学)	3名
二級臨床検査士 (微生物学)	6名
二級臨床検査士 (血液学)	5名
二級臨床検査士 (免疫血清学)	1名



学会認定資格	令和6年度
認定腎臓病検査技師	1名
心電図検定（一級・二級）	12名
血管診療技師	1名
術中脳脊髄モニタリング認定技術師	3名
専門技術師（筋電図・神経伝導分野）	2名
専門技術師（脳波分野）	2名
JHRS認定心電図専門士	10名
植込み型心臓デバイス認定士	1名
精度管理責任者	7名
認定サイトメトリー技術者	1名
医用質量分析認定士	1名
リウマチ学会登録ソノグラファー	5名
特化物及び四アルキル鉛等作業主任者	6名
睡眠健康指導士（初級）	1名

### 9. 令和6年度臨地実習生受入れ実績

大学	臨地実習	見学研修
中部大学	2名	0名
四日市看護医療大学	4名	1名
岐阜医療科学大学	3名	0名
修文大学	3名	0名
藤田医科大学	3名	2名
鈴鹿医療科学大学	1名	0名
信州大学	0名	1名
金沢大学	0名	1名
名古屋大学	0名	2名
神戸大学	0名	1名
九州医療科学大学	0名	1名
合計	16名	9名

### 3. リハビリテーション室

#### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

##### 1. 教育活動として、臨床実習生の受け入れの取り組み

- ・リハビリ学生：4校6名 ・他職種の臨床実習協力：33名

##### 2. 地域の支援活動

- ・介護認定審査会協力 【人数】1名派遣【期間】通年【頻度】2回／1か月
- ・JAあいち豊田広報誌「グリーンボイス」健康の話へ投稿
- ・豊田市療法士幹事会への参加

##### 3. 職員の資質向上

- ・部署内勉強会（50回／年）
- ・他職種勉強会・研修会への講師派遣（院内）10回（院外）7回
- ・学会発表 5題（ST：2題、PT：3題、OT：0題）
- ・臨床実習指導者講習会修了者 PT：3名

##### 4. 診療機能の充実

- ・特定集中治療室早期離床・リハビリテーション加算への参加協力の維持。
- ・褥瘡回診への参加。
- ・PCTラウンドへの参加。

#### 2. 令和6年度実績

##### 1. 部門別件数・単位数

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法			
	外来	入院	外来	入院	外来	入院		
個	脳血管疾患等 リハ料	患者数	344	10,534	249	8,767	20	4,932
		単位数	568	13,730	415	12,886	37	6,964
別	廃用症候群 リハ料	患者数	0	9,416	0	2,471	0	1,322
		単位数	3,190	15,173	0	3,105	0	2,083
療	運動器リハ料	患者数	1,732	10,177	1,579	1,305		
		単位数	3,190	15,112	2,254	1,697		
法	呼吸器リハ料	患者数	12	11,798	5	2,915	0	4,521
		単位数	25	15,093	10	3,712	0	7,430
	心大血管疾患 リハ料	患者数	943	7,197	0	1,042		
		単位数	1,840	9,471	0	1,357		
	がん患者リハ 料	患者数	0	5,185	0	872	0	235
		単位数	0	6,443	0	1,129	0	338
急性期リハ加算			0	8,981	0	3,197	0	4698
早期加算			0	53,048	0	18,374	0	14,235
退院前訪問リハ指導			0	0	0	0	0	0
退院時リハビリ指導			0	1,996	0	559	0	9
リハビリ総合計画評価			862	4,487	344	1,106	5	25
摂食機能療法							0	626
件数合計			3,031	54,307	1,833	17,372	20	11,010
単位数合計			5,623	71,014	2,679	23,886	37	16,815
診療点数			1,366,170	19,551,759	622,824	6,878,840	10,565	4,634,542

- ・心肺運動負荷試験 年間37件

2. 科別件数

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
	外来	入院	外来	入院	外来	入院
内科	94	2,810		1,161		859
精神科		0		0		0
脳神経内科	59	6,002	78	4,625	13	3,776
呼吸器内科	12	4,955	5	1,347		673
消化器内科		3,018		1,048		663
循環器内科	292	6,576		1,128		799
小児科		38		0		0
外科	40	3,948	12	667		329
整形外科	1,545	7,922	1547	1,148		152
形成外科		140		88		4
脳神経外科	2	2,855	10	2,912	1	1,399
呼吸器外科		978		180		13
心臓外科	563	1,336		106		66
小児外科		0		0		0
皮膚科		377	9	143		4
泌尿器科	2	519		132		53
血管外科		467		0		3
乳腺科		28		0		17
産婦人科	2	599		46		26
眼科		0		0		0
耳鼻咽喉科	45	426		46	1	135
放射線科		0		0		0
麻酔科	5	11		0		0
アレルギー科		0		0		0
リウマチ科		0		0		0
リハビリ科		0		0		0
感染症科		0		0		0
歯科口腔外科		56		7	5	30
消化器外科		1,566		305		75
内分泌代謝科		688	2	142		249
腎臓内科		1,935		384		529
膠原病内科		0		0		0
血液内科		1,458		100		278
総合内科		2,081		372		408
健診科		0		0		0
緩和ケア科		0		0		0
肝臓内科		234		79		0
脊椎外科	370	2,086	172	732		65
医事		0		0		0
新生児科		0		0		0
救急科		1,198		474		405
合計	3,031	54,307	1,833	17,372	20	11,010

## 4. 臨床工学室

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 医療機器における安全教育及び医療機器研修会の実施

Safety plusを活用した安全教育を中心に、医師、看護師、コメディカルを対象に63回にわたる研修会と勉強会を実施。医療現場での安全性向上に大きく貢献。

#### 2. 地域医療連携の強化

西三河北西部地区を中心とした近隣の透析関連9施設に呼びかけ、2回の災害対策会議を開催。災害対策の取り組みを推進し、地域医療連携の体制を強化。

#### 3. 高気圧酸素治療の推進

突発性難に対する高気圧酸素治療について中日新聞から取材。社会的な注目を浴び、大きな成果を得た。スタッフの専門性が評価され、名古屋グランパスと治療契約を締結するなど、病院のブランド価値向上にも繋がった。

#### 4. 学会発表・論文投稿の推進

学会発表42演題、講演11回と積極的に学術活動に参加。病院のブランド力向上にも寄与した。

#### 5. MACT（モニターアラームコントロールチーム）の充実

臨床工学室が中心となり、医療安全管理部やRRTと情報を共有。患者監視モニターの諸問題を検討し、モデル病棟（2A）でアラーム削減率92%を達成。ワーキンググループ会議を7回開催し、MACTに関連した学会発表も2演題行った。

#### 6. 新しい治療の導入

- ・「パルスフィールドアブレーション」導入に携わり、治療時間短縮と合併症発生率の低減に貢献。
- ・「WATCHMAN左心耳閉鎖システム」を用いた左心耳閉鎖術導入に携わり、心原性脳梗塞予防に貢献。

#### 7. 医療材料における経費削減の取り組みにおいて、取り組みプラン数11、経費削減実績11,327,205円を達成。

## 8. 2024年度の業務実績

業務内容		2024年	2023年	比較(%)		
保守 管理	医療機器点検	110,626	67,187	165		
	医療機器修理	1,076	1,041	103		
診療 支援	心 カテ	CAG・PCI	1,037	1,290	80	
		ペース メーカー	インプラント	289	263	110
			チェック	7,977	8,311	96
		アブレーション	466	445	105	
	特殊	補助循環装置	76	110	69	
	血液 浄化	慢性期(透析)	5,652	5,487	103	
		特殊血液浄化	248	359	69	
	手術 室	体外循環操作	82	91	90	
		自己血回収	263	282	93	
		その他		494	93	
	高気圧酸素治療	1,832	1,747	105		
	人工呼吸器管理	7,841	5,102	154		
	腹水ろ過	84	63	133		
	血液採取業務	8	9	89		
診療支援その他	8,513	8,176	104			
教育	医療機器安全研修		35	151		
合 計		146,580	100,492	146		

- ①業務全体の合計は、対前年比146%と増加が著しい。
- ②機器管理業務では、点検項目の見直しと内容の充実に着手し、対前年比164%、+43,474件と大幅に増加。
- ③診療支援業務においては、8支援で昨年度を下まわったものの、全体の合計では対前年比103%、+957件と前年度より増加。
- ④スタッフ稼働率では、前年の20.7件/人から27.7件/人と愛知厚生連臨床工学室内でも際立って高い。

### 令和4～6年度 業務別手技料

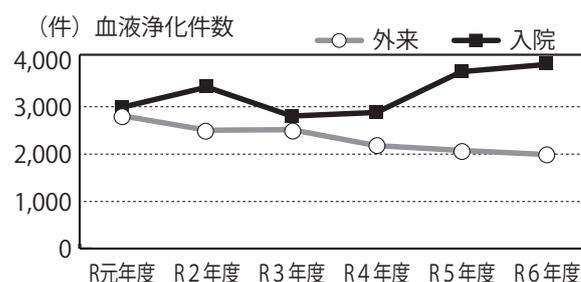
業務内容(手技料)	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	件数	手技料(千円)	件数	手技料(千円)	件数	手技料(千円)
高気圧酸素治療	1,832	54,960	1,747	52,410	1,545	46,350
人工心肺(手術)	67	20,201	92	27,738	72	21,708
自己血回収術	263	14,465	282	15,510	263	14,465
腹水濾過濃縮	84	4,192	63	3,144	32	1,597
遠隔モニタリング	6,939	17,615	6,713	16,281	5,958	14,491
一酸化窒素(NO)吸入法	8	6,146	18	13,820	8	7,478
特殊血液浄化	76	2,096	62	2,195	89	2,720
幹細胞採取	8	1,521	9	1,696	5	872
合 計	9,277	121,196	8,986	132,794	7,972	109,681

※数多の診療支援に関わるなかで、ほぼ臨床工学技士のみで完結する業務別手技料統計

## 2. 令和6年度実績

### 1. 血液浄化

分類	件数
外来	1,982
入院	3,910
計	5,892
末梢血幹細胞	8
腹水濾過濃縮	83
シャントエコー	1,442

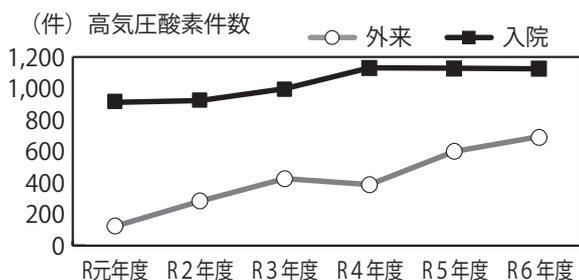


浄化法別分類	件数
血液透析 HD	1,341
血液濾過透析 HDF	1,555
血液濾過透析 I-HDF	2,585
ECUM	171
血漿交換 PE/SePE	22
血液吸着 DHP	66
持続血液浄化療法	136

患者動向分類	件数
新規導入	107
他院転入	319
転出	361
死亡 慢性	27
死亡 急性	9

## 2. 高気圧酸素

分類	件数
外来	702
入院	1,143
計	1,845



科別分類	件数
内科	303
外科	223
整形外科	66
耳鼻科	779
泌尿器科	225
皮膚科	52
形成外科	66
その他	101
計	1,845

疾患別分類	件数
突発性難聴	679
骨髄炎	360
腸閉塞	121
難治性潰瘍	218
放射性膀胱炎	274
脊髄神経疾患	49
その他	144
計	1,845

## 3. 心臓カテーテル

分類	件数
緊急症例	274
予定症例	780
計	1,055

心カテ分類	件数
PCI	394
CAG	643
アブレーション	464
3D mapping	464
CIEDs新規	98
CIEDs交換	46
CIEDsチェック	7,978
体外式ペースメーカ	503日 (139)
IABP	244日 (54)
PCPS	67日 (14)
IMPELLA	26日 (8)

## 4. 内視鏡

分類	件数
GIF	2953
CF	506
EUS	88
ERCP	67
ESD	98
止血術	11
小腸内視鏡	8
カプセル内視鏡	14
計	3,745

## 5. 自己血回収術件数

科別分類	件数
心臓外科	80
血管外科	10
整形外科	157
その他	16
計	263

## 6. 心臓血管外科

分類	件数
緊急症例	12
予定症例	70
計	82

症例分類	件数
虚血性心疾患	34
弁膜症	34
大動脈疾患	13
その他	4
計	85



## 7. Navigation

科別分類	件数
脳外科	21
耳鼻科	65
整形外科	143
計	229

## 8. ロボット手術支援

科別分類	件数
外科	94
泌尿器	30
婦人科	52
呼吸器外科	4
計	180

## 9. TAVI

分類	件数
経大動脈弁治療	38

## 10. 集中治療補助

分類	件数
診療支援業務	4,867

詳細	件数
人工呼吸器管理	4,514
血液浄化	383
補助循環管理	93
POCUS	143
計	5,133

## 11. 機器管理

修理分類	件数
院内修理	838
委託修理	268
計	1,106

修理機器分類	件数
心電図モニター	240
人工呼吸器	20
輸液ポンプ	267
血圧計	101
パルスオキシメーター	59
血液浄化関連装置	101
その他	318
計	1,106

機器点検件数	件数
点検件数	86,405

## 5. 栄養管理室

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 医療の質向上

- ・栄養食事指導の強化  
年間4,000件以上を目標とする。
- ・ICU、HCU、2A病棟（循環器内科・心臓外科）の栄養関連のサポートを強化する。

#### 2. 医療安全の充実

- ・HACCPに基づく衛生基準の実施  
厨房エリアごとの衛生標準作業手順書を見返す

#### 3. 人材育成

- ・厚生連栄養士会相互啓発研修会への参加
- ・厚生連栄養士会新人教育プログラムの実施
- ・部署内勉強会（管理栄養士：5回／年）
- ・学会・研究会発表7題（管理栄養士）

#### 4. 地域との連携強化

- ・JAとの連携継続、健康啓発活動（JA広報誌への投稿、JA料理教室への講師派遣）

#### 5. 適正な要員管理

- ・洗浄業務における人員配置の見直しが完了
- ・パントリー業務における人員配置の見直し
- ・嚥下調整食（ブレンダー食）の調理基準を見返し、病棟でのトロミ付け廃止
- ・障がい者雇用者の再活用

### 2. 令和6年度実績

#### 1. 令和6年度 食事提供数

##### ① 患者食

	食数(食)	比率
常食	141,003	30.9
軟食	92,554	20.3
流動食	1,300	0.3
特別食 A	136,908	30.1
特別食 B	83,730	18.4
合計	455,495	100.0

##### ② 賄食

	食数(食)
職員食	84,609
付添食	0
合計	84,609

## 2. 令和6年度 診療報酬算定

### ① 個人栄養食事指導

	外来 (人)	入院 (人)
糖 尿 病	686	582
糖 尿 病 透 析 予 防	65	-
脂 質 異 常 症	140	12
腎疾患・CKD・透析	278	132
心臓・高血圧症	255	674
肝 臓 病	19	23
胃 切 除	4	80
嚥 下 障 害	12	81
が ん	102	245
低 栄 養	6	84
そ の 他	93	262
合 計	1,660	2,175

### ② 集団栄養食事指導

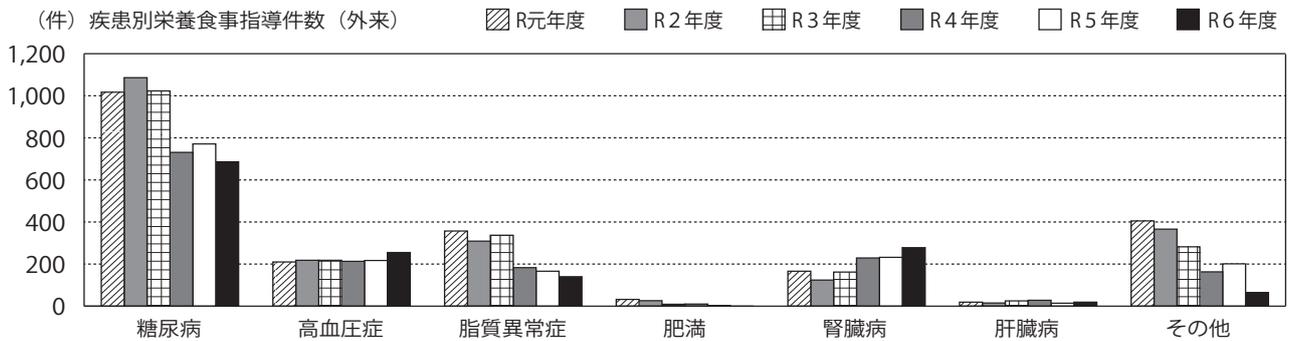
	(人)
糖 尿 病	54
腎 臓 病	0
合 計	54

### ③ チーム医療

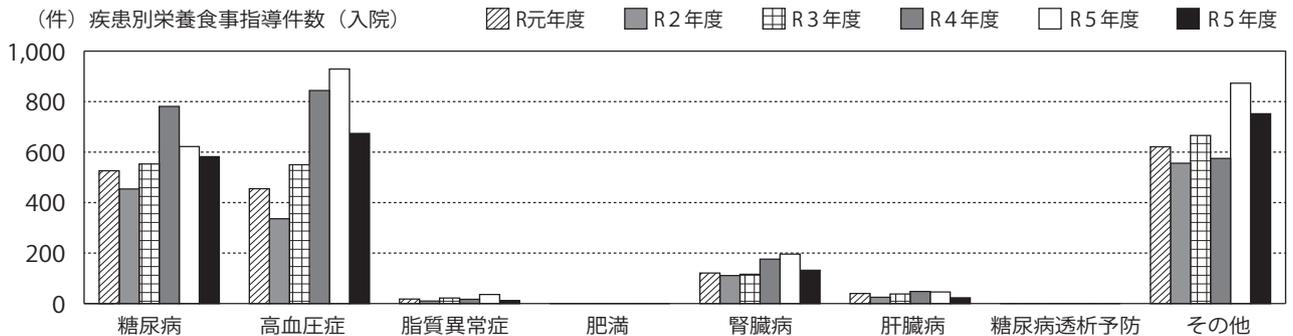
種類	各種算定名称	算定件数 (件)
ICU・HCU	早期栄養介入管理加算	250点：657
		400点：78
NST (栄養サポートチーム)	NST加算	200点：437
	歯科医師連携加算	50点：177
緩和ケアチーム	個別栄養食事管理加算	70点：57
摂食嚥下	摂食嚥下機能回復体制加算2	190点：544
化学療法	連携充実加算	150点：639

その他：褥瘡回診

(件) 疾患別栄養食事指導件数 (外来)



(件) 疾患別栄養食事指導件数 (入院)



### 3. 令和6年度 院内・院外活動

#### ① JAあいち豊田料理教室

	(回数)	(人)
松平教室	3	42
保見教室	6	69
高橋教室	9	128
三好教室	6	75
合計	24	314

#### ② 市民講座

	(回数)	(人)
腎臓病教室	2	38
糖尿病教室	2	26
合計	4	63

### 4. 認定資格者

認定資格	令和6年度
NST専門療法士	2名
栄養治療専門療法士	1名
病態栄養専門管理栄養士	4名
肝疾患病態栄養専門管理栄養士	1名
在宅訪問管理栄養士	1名
在宅栄養専門管理栄養士	1名
心不全療養指導士	1名
給食用特殊料理専門調理師	1名
病院調理師	2名



## 6. 薬剤部

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 診療機能の充実

- ・入退院支援センター業務の充実
  - PBPMにビグアナイド系薬を追加したことで面談効率が上がり、面談時間を短縮できた。また、DI-Newsへ持参薬外来の紹介記事を掲載するとともに医師へ再周知を行った。
- ・通院治療センターにおける服薬指導の充実
  - 年間1820件（月平均151件）の指導を実施した。プレアボイド報告（年間28件）や適宜処方提案を行った。
- ・がん薬物療法体制充実加算の算定に向けた準備
  - 看護師など多職種との相談の上、算定までの流れや算定対象を決定し、算定可能な体制となった。令和7年度より算定を開始していく。

#### 2. 治験業務の充実

- ・院内治験コーディネーターを利用した治験の充実（治験組み入れ患者数10件／年）
  - 令和6年度における治験組み入れ患者数は14件となり、目標を達成できた。加えて、治験組み入れ患者数および治験に関連する収入は過去5年間で最高値となった。

#### 3. 医薬情報業務の充実と病棟薬剤業務における薬物治療管理の推進

- ・機能評価係数Ⅰ 後発医薬品使用体制加算3の維持（後発医薬品使用割合80%以上）
  - 11品目の先発医薬品採用薬を後発医薬品（9品目）／バイオ後続品（2品目）に切り替えた。使用割合は80%を下回ることなく維持した。
- ・薬剤管理指導業務の推進（平均1,800件／月）
  - 年間を通して22,024件を算定した。平均は1,835件／月となり、数値目標としていた平均1,800件／月を達成することができた。
- ・薬剤総合評価調整加算の充実（算定目標200件／年）
  - 年間を通して220件を算定した。数値目標としていた200件／年を上回ることができ、事業所の実施計画である医療の質向上に寄与できたと考える。
- ・プレアボイド報告の推進（20件以上／月）
  - 年間を通して380件のプレアボイド報告を集積した。平均は31.7件／月となり、単月でも数値目標としていた20件以上／月を下回る月はなく、持続的に情報を集積できた。
- ・術後疼痛管理チーム加算の算定開始
  - 11月より術後疼痛管理チーム活動を開始、12月より算定を開始した。薬剤師介入件数は16件／月ほど算定した。
- ・医薬情報室からの積極的な情報発信
  - 薬剤部内の各セクション担当責任者と協力し、薬剤部から医師へ周知すべきと思われる資料を作成することができた。令和7年度は作成した資料を活用し、主に病棟薬剤師を中心として医師への周知を行い、さらなる情報発信を行っていく。

#### 4. 認定・専門資格取得の推進および教育体制の整備

- ・各種専門・認定薬剤師の資格取得への指導・教育
  - 各種専門・認定薬剤師資格取得のため、講習会および学会等に参加した。
  - 以下に2024年度新規資格取得者数を示す。

- ・基本情報技術者 1名
- ・日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師 1名
- ・日本臨床救急医学会救急認定薬剤師 1名
- ・薬学教育協議会認定実務実習指導薬剤師 1名
- ・栄養サポートチーム専門療法士 1名
- ・日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師 1名
- ・長期実務実習生の受入れ拡大に伴う教育体制の整備及び指導薬剤師の育成  
→実務実習担当者1名が令和6年8月付で認定実務実習指導薬剤師の資格を取得した。  
令和3年度に業務マニュアルを制定し、毎年改訂を実施している。主担当者の産休・育休入りがあったが、マニュアルを基に特に問題なく引き継ぎすることができた。
- ・薬剤師臨床研修ガイドラインに沿った教育体制見直しの準備  
→薬剤師臨床研修ガイドラインの内容を参照し、当院の教育体制との相違点を精査した。また、教育体制の見直しに向け、当院での教育カリキュラムに不足する内容を挙げ、検討を開始した。

## 5. 医療安全の充実

- ・ゼロレベル（ヒヤリハット事例）のインシデントレポート提出の推進  
→疑義照会・プレアボイド報告を中心に「事象レベル0」の報告を実施、160件／年提出した。
- ・安全な調剤業務の推進  
→処方箋上に甘草量及びK値を表記し調剤時にチェックする体制を整備し、減量基準に該当した際は疑義照会を実施した。事例において偽アルドステロン症の重篤化を回避することも出来た。

## 6. 病院薬剤師連携および薬 - 薬連携の強化

- ・医療情報室と連携した電子処方箋への対応  
→厚生連本部より、システム対応費用等を考慮して導入を見送る旨の回答があり、導入を見送った。近隣の医療機関、薬局の対応状況を見ながら引き続き対応準備を進めていく。
- ・地域薬剤師会・保険薬局との連携強化  
→トレーシングレポートの応需体制を整え、手順書も整備することができた。疑義照会簡素化プロトコルは人員体制の問題から導入には至らなかったが、たたき台の作成が完了した。疑義照会簡素化プロトコルについては、令和7年度に導入予定である。
- ・退院時薬剤情報連携加算の算定推進（100件以上／年）  
→年間を通して算定件数は105件であり、重点目標としていた100件以上／年を達成することができた。
- ・通院治療センターにおける連携充実加算の算定推進（50件以上／月）  
→薬手帳シールの記載内容を算定に必要な最低限の情報に変更した。月平均で59件算定した。

## 7. 供給室（SPD）の管理体制の充実

- ・医薬品の管理強化（規制医薬品、高額医薬品等）  
→症例数の少ない高額医薬品に関してはスズケンのキュービックスを利用し当日払出で対応。また、アルフレッサの冷蔵薬品管理システムNOVUMを利用し、アルフレッサ、メディセオ、中北薬品からの高額冷所医薬品についても対応を行った。NOVUMに関しては対応薬品の追加及び削除が随時行われるため卸しから情報を得ながら対応した。血液内科のレフィキシアの使用に関しては東邦一社流通であり、サレムという特殊な冷蔵庫で対応した。キュービックス及びNOVUMで対応できない薬品に関しては、当日配送依頼で実施確認後に払出を行い管理。規制医薬品に関してはその都度卸しと医薬品情報室、各部署と連携を取り在庫の確保に努めた。
- ・医療材料の管理強化（コスト削減、定数見直し、物品システムの活用等）  
→防水シートに関して他社製品への切り替えの検討を行い、結果的に現行品の値下げに成功し年間で約

400万円削減した。また、シューズカバーの変更を行い年間138万円削減した。さらに各部署と連携をとりR-SUD製剤の使用を開始し再製造単回使用医療機器使用加算の算定を進めた。その結果約124万円の収益増加が得られた。

- ・不動薬品および不動材料の整理及び削除

→各部署に関しては年2回、在庫の回転率についてリストを作成し定数の削除・変更の依頼を行った。部署毎で使用頻度の少ない薬品及び材料に関しては適宜使用頻度の高い部署との交換を行った。また、病棟に関しては病棟担当薬剤師と連携を取り、適宜定数変更も行った。倉庫在庫に関しては月1回回転率を確認し定数の変更及び削除を行い、在庫の削減に努めた。また、不動在庫に関しては医薬品情報室と連携を取り採用中止の検討を行った。

## 8. タスクシフト・ワークシェアの推進

- ・PBPM（プロトコルに基づく薬物治療管理）の推進と拡充

→新規PBPMの申請を2件行った。令和6年度PBPM実施件数は11,308件であった。

医師の負担軽減に寄与していると考える。

## 2. 令和6年度実績

薬剤部は医薬品および医療材料の安定供給、適正な在庫管理とともに安全かつ適正に使用するために下記の事項に取り組んだ。

### 1. 医薬品情報提供

昨年に引き続き医薬品の供給不安定に対して、診療部門、供給部門および保険薬局と協力して対応に当たった。保険薬局からのトレーシングレポートや吸入指導・心不全指導報告書を医薬品情報室で応需する体制を整備し、地域薬剤師会・保険薬局との連携を強化した。積極的に病棟薬剤師に必要な情報を提供し、病棟薬剤師との連携を強めることで、病棟薬剤業務の質向上に努めた。

### 2. 病棟業務および持参薬管理

純粋な薬剤部ローテート上の薬剤師の病棟配置数は5,654コマ（前年6,272コマ、前年比90.1%）であり、要員配置からみると厳しい1年間であった。薬剤管理指導件数は22,025件/年（前年22,535件/年、前年比97.7%）、退院時薬剤情報管理指導料は8,594件/年（前年8,492件/年、前年比101.2%）を算定し、コマ数と比較するとスタッフ一同協力し合った結果、減少幅は最低限に抑えることができたと考えている。また、プレアボイド報告集積数は380件（前年450件、前年比84.4%）に留まったが、前年度から持続して薬学的介入を行うことにより、薬物治療の質を向上させ、医療安全においても貢献できたと評価している。

持参薬管理は、第四四半期から実働スタッフ数の減少により、病棟持参薬報告業務2～4人体制から、持参薬報告業務2人体制に戻さざるを得なくなったが、昨年度～第三四半期までに培った経験にて、一昨年度と比較して、効率よく業務を実施することができたと考えている。

### 3. 調剤業務

お薬相談室と窓口に薬手帳シールのプリンターを設置し、薬を渡す際に薬手帳シールのみ印刷できるようになった。これにより、調剤室で印刷されたものと混在することがなくなりダブルチェックの運用も廃止とした。効率的な運用かつインシデント軽減に寄与した。

### 4. 入退院支援

業務効率化と医師・薬剤師の負担軽減のため、昨年度より新設した入退院支援センターで行えるPBPMにビグアナイド系薬を追加した。PBPMは127件/年実施し、面談時間は12.1分/件と前年度より短縮した。

また、DI-Newsへ持参薬外来の紹介記事を掲載するとともに、新任の医師へ個別に再周知を行った。入院前に持参薬報告書を作成した割合は平均65.8%（最大72.2%）と昨年度より上昇した。

## 5. 注射調剤

高額冷所医薬品管理のために導入したNOVUM、キュービックスを活用し、薬品が過在庫にならないよう購入、返品の対応を行った。またNOVUM、キュービックスで管理している高額薬品が定時注射などでオーダーされることも増えたため、破損にならないよう病棟薬剤師と連携を取り、払い出し手順の検討を行った。

規制医薬品が増加しているが、医薬品メーカーおよび卸業者からの情報提供に対して医薬品情報室と密に連携し、在庫の確保や代替薬の在庫確保に尽力した。

## 6. 薬品・医療材料の管理

アルフレッサのNOVUMに関しては対応薬品の追加及び削除が随時行われるため、卸しから情報を得ながら対応薬の検討を行った。血液内科のレフィキシアの使用に関しては東邦一社流通であり、サレムという特殊な冷蔵庫で対応を行った。

原材料費や製造費、輸送費が高騰しており、医療材料の値上がりが相次いだが、安価な同等品への切替や包括契約、割戻契約などを結びコスト削減に努めた。

## 7. 化学療法業務

連携充実加算を719件／年（59件／月）算定し、院外薬局への抗がん剤治療に関する情報提供の推進に努めた。がん薬物療法体制充実加算の算定に向け、薬剤師による診察前面談の流れなどを整備し、令和7年度より算定できる状態とした。化学療法室研修テキストを作成し、化学療法室における薬剤師業務内容の標準化を図った。

## 8. 治験管理室業務

GCP、各種倫理指針に則り、適正かつ効率的な治験、臨床研究等の実施に取り組んだ。

＜治験＞ 新規受託治験 1件

＜臨床研究等＞ 新規医学系研究実施審査・許可申請 48件

特定臨床研究 1件

症例報告審査 2件

適応外使用審査 1件

## 9. 実務実習

・長期実務実習2～4期（各11週間）、計9名の実習生を受け入れ指導した。（内訳は下記）

	2期(5/20～8/4)	3期(8/19～11/3)	4期(11/18～2/9)
静岡県立大学	1		
愛知学院大学		2	1
金城学院大学		2	
名城大学			1
岐阜医療科学大学	1		
立命館大学			1
計	2	4	3



## 10. 教育

### ・薬剤部勉強会

薬剤師勉強会はWebを利用し4回開催した。

4月, 6月, 9月, 2月は、ハイブリッド開催を行った。

開催月	参加者	講 師	対 象
4月	43名	制吐薬適正使用ガイドライン改訂のポイントと当院の取り組み	院内外薬剤師
6月	37名	漢方薬について	院内外薬剤師
9月	39名	骨粗鬆症について	院内外薬剤師
2月	21名	臨床検査室のあれこれ～各検査の役割～	院内外薬剤師

## 7. 看護部

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 看護職員の適正な要員管理に関する関係業務

看護職員確保のため、看護部ホームページや就職情報サイトの画面を更新し採用活動を実施した。また、施設内や施設外で病院説明会や仕事体験を企画し、就職情報サイトの合同就職説明会に参加した。施設内の病院説明会参加者数は夏季7日間で75人、冬季1日間で11人、春季8日間で52人であった。施設外は依頼のあった看護大学6校131人、専門学校2校82人に参加した。施設内の仕事体験は夏季120人、冬季10人、春季74人が参加した。合同就職説明会は7月に194人、2月に125人が来場した。令和7年度採用試験者数は17人増加した。

施設の中学・高校生看護体験の企画では、中学9校13人参加、高校15校43人参加であった。

令和6年4月、新卒採用者は75人で看護職員の正職員は663人、準職員36人、非常勤職員は45人であった。令和6年度退職者数は62人で離職率9.35%であった。

#### 2. 看護職員の労働環境に関する関係業務

病院委員会の看護部参加者数、看護部委員会の会議日数を見直した。他の活動も含め、病棟看護職員の総時間外労働の時間数が前年対比の70%であった。看護部看護職員の総時間外労働の時間数が前年対比の74%であった。

#### 3. 看護の質向上に関する関係業務

看護体制について検討を実施した。看護職員が患者のそばにいる時間を作り、転倒転落防止や身体拘束の最少化、素早いナースコール対応等を目指し、セル看護提供方式<sup>®</sup>について検討し、令和7年4月からセル看護提供方式<sup>®</sup>に変更となった。

看護記録（看護計画を含）の見直しを検討し、令和7年4月からチームコンパス導入となった。

#### 4. 看護職員の教育及び研修に関する関係業務

看護職員はJ A愛知厚生連看護部ラダーに沿って研修を順次開催した。年度末の合格者はラダーⅠ：53人、ラダーⅡ：40人、ラダーⅢ：23人、ラダーⅣ：0人であった。

#### 5. 看護補助者の教育及び業務に関する関係業務

看護補助者の段階的な教育と評価を行うための教育計画を立案し、研修を順次開催した。

### 2. 令和6年度の動向

#### 1. 看護部組織図の変更

入退院支援センターが看護部から、地域医療福祉連携部、地域医療連携室、入退院支援課となった。病棟の12部署の看護係長数が2人枠から3人枠となった。

#### 2. 認定看護師・特定行為研修修了者

感染管理認定看護師1人増、特定行為研修修了者2人増であった。

#### 3. 研修教材・看護手順の変更検討

令和7年4月から学研ナーシングサポート・学研ナーシングメソッドに変更となった。



## 8. 医療安全管理部

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. インシデントレポート集計・分析

今年度のインシデントレポート提出目標として、3ヶ月に1報告を目指した啓発活動を実施した。インシデントレポート総件数は5135件と昨年度より80件減少した。その中でも、診療部364件（164件減）、臨床検査室448件（198件増）、臨床工学室102件（30件増）、栄養管理室95件（56件減）、薬剤部276件（202件増）、看護部2976件（205件減）、事務部34件（17件減）、保険事業部69件（27件減）と、各部署の取り組みが報告件数に反映された結果であったと感じる。また、各部署においてゼロレベル報告を推奨したことで、922件の報告があり全体の18%と少しずつではあるが増加している。

事象レベル3 bレベル以上は72件で昨年度より12件減少しており、全体の1.4%であった。詳細は治療・処置34件（14件減）、ドレーン・チューブ6件（3件減）、薬剤8件（4件増）、療養上の世話13件（±0）、医療機器3件（±0）、検査8件（1件増）。全体的には、思い込み・ルールの不遵守・コミュニケーションエラーが要因となる医療事故が発生している。また、70歳以上・認知症といった患者的要因もあり、患者の状態を把握し危険予測のもと医療チームで予防対策を検討するといった取り組みを継続していくことは必要である。「ハインリッヒの法則」では、重大事故1件が発生した裏には、中等度の事故29件があり、さらにその背景には300件のニアミスなどの軽微な事故があると言われている。軽微な事象から改善を図り重大医療事故防止につなげることが必要と考えるため、多忙な業務であると思われるが、インシデントレポートのヒヤリ・ハット報告から、システムや環境の整備、業務改善取り組めるようサポートしていく。

#### 2. 医療安全対策地域連携加算ラウンド

- 目的：1. 他施設の医療安全管理体制の実施状況の確認、職場環境を評価する  
2. 他施設から評価を受け、問題点を把握し、医療安全管理体制向上の一助とする

- 日時：10月22日（火）豊田西病院で実施 14：00～16：00  
10月29日（火）豊田厚生病院で実施 14：00～16：00  
11月14日（木）トヨタ記念病院で実施 14：00～16：00

参加施設：トヨタ記念病院、豊田西病院、豊田厚生病院

- 総評の視点：1. 医療安全体制の整備について  
2. 医療安全管理のための具体的方策の推進について  
3. 医療事故の評価と医療安全対策への反映について  
4. 病棟ラウンド結果について  
5. 転倒転落防止対策について  
6. 患者誤認防止について  
7. 4Sについて

救命救急センターでの受付では、全患者にリストバンドを発行し、患者誤認防止対策を実施していること、あらゆる医療行為をおこなう際には患者参加型で患者誤認防止対策が現場で定着していることを評価していただいた。多職種による大量輸血を必要とする患者が来院した場面を想定したシミュレーショントレーニングが実施されており、実践的な患者安全推進活動を確認していただいた。医療安全相互ラウンドが双方の医療の質向上とともに、地域への貢献に寄与できるよう今後も継続し実施していく。

#### 3. M&Mカンファレンス開催

これまでは、7：45～開催していたが、働き方改革を考慮し16：00～に時間を変更し、院内で生じているインシデント報告よりエラーの分析、および再発防止の観点を重視しカンファレンスを実施した。各部門から参加していただき、9回／年開催することができた。その結果、MACTによるモデル病棟での取り組みの継続、

救急カート内のブレードの適正管理・配置の見直し、手術室から病理検体を提出する際の手順の見直し、処方オーダーの事後修正・削除の運用とシステム変更、麻薬管理の環境調整と手順の再周知、同時期に転倒に伴う医療事故が発生しアセスメントの実施状況と再評価・療養環境の改善について検討、シリンジポンプを使用した薬剤投与時の手順の再教育、患者状態変化時の情報共有の在り方など、業務改善に繋がった事例や手順の見直しをすることができ、再発防止策につながった。事例によっては、チーム医療としての事前評価・情報共有の必要性について振り返りを実施した。これらは、セーフティニュースを活用し周知活動を行った。

#### 4. 外部研修受講

研 修 名	受講人数・参加人数
医療安全実践研修会	医事課1名・臨床検査技師1名・看護師3名
医療安全管理者養成研修	薬剤師1名・診療放射線技師1名・看護師3名
医療安全対話推進者養成研修	臨床工学技士1名・臨床検査技師1名・看護師3名
第26回日本医療マネジメント学会 学術総会	医療安全管理部2名
医療事故調査制度コーディネーター養成研修会	医療安全管理部2名
第19回医療の質・安全学会 学術集会	医療安全管理部3名
WHO「世界患者安全の日」記念Webシンポジウム2024 —医療対話推進者が患者安全に資する体制を構築するために—	医療安全管理部2名
第13回 東海医療安全研究会	医療安全管理部 2名
顧問弁護士による医療安全管理者対象講習会	医療安全管理部4名
最高質安全責任者（CQSO）養成研修	医療安全管理部1名

#### 5. 医療事故対応（事例検討会）の実施

- ・事例検討 6回 実施
- ・医療事故防止対策委員会 1回 実施

#### 6. 医療事故調査制度にともなう死亡患者の確認

医療事故調査制度の対象事例はなし

#### 7. マニュアルの整備

- ・目次 修正
- ・第4章 医療安全対策看護部会 規約追加
- ・第6章 医療安全対策 共通編（身体拘束ガイドライン修正、転倒・転落ガイドライン修正、患者行方不明時の対応修正、患者宅・他施設への緊急届け物履行マニュアル追加、採血・注射に伴う神経症状対応マニュアル追加）

## 2. 令和6年度実績

### 1. インシデント報告件数（令和6年度）

所属部署別	※4/1 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療部	170	43	35	22	39	24	18	50	29	23	31	22	28	364
(0レベル)		6	4	7	8	8	4	7	8	5	10	8	5	80
臨床研修部	29	27	33	30	35	3	53	38	27	42	34	34	24	410
(0レベル)		8	16	11	10	20	29	19	11	24	19	13	13	193
診療放射線室	51	16	14	16	9	20	19	11	14	11	16	12	8	166
(0レベル)		1	1	1	4	5	5	2	4	0	0	4	2	29
臨床検査室	66	38	64	41	43	36	32	46	31	17	33	32	35	448
(0レベル)		5	15	5	12	4	3	11	2	4	4	4	6	75
リハビリテーション室	40	12	9	10	11	12	10	13	8	4	6	8	10	113
(0レベル)		7	1	4	6	2	5	3	2	1	4	2	4	41
臨床工学室	21	12	2	1	6	14	6	9	4	10	10	12	16	102
(0レベル)		1	0	1	2	7	0	1	2	2	4	4	5	29
栄養管理室	67	11	6	16	8	8	6	7	4	15	6	4	4	95
(0レベル)		1	1	2	4	0	1	1	3	1	1	1	2	18
薬剤部	66	11	11	31	16	21	25	32	27	23	20	22	37	276
(0レベル)		5	6	18	10	16	18	16	18	15	16	15	18	171
看護部	772	216	249	237	227	245	248	311	249	276	247	228	243	2,976
(0レベル)		14	25	18	21	29	29	17	25	22	24	11	16	251
事務部	156	4	0	6	1	3	2	5	2	5	0	5	1	34
(0レベル)		2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
地域医療福祉連携部	68	6	5	7	8	5	5	13	1	5	11	5	5	76
(0レベル)		1	0		0	1	1	1	0	1	0	2	0	10
保険事業部	36	6	6	7	5	8	10	7	1	3	5	10	1	69
(0レベル)		0	4	2	0	2	3	2	0	1	2	3	0	19
その他	34	0	0	2	1	0	1	0	0	1	1	0	0	6
(0レベル)		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
合計	1,576	402	434	426	409	429	435	542	397	435	420	394	412	5,135
(0レベル計)		51	73	72	77	95	98	81	75	77	85	67	71	922

(0レベル：内数)

内容分類別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
薬剤	90	124	120	110	126	139	175	146	143	130	120	145	1,568	
輸血	3	11	6	3	8	4	5	2	10	4	2	5	63	
治療・処置	48	41	48	49	51	51	75	38	54	37	46	30	568	
医療機器等	19	19	5	16	24	16	20	15	30	21	30	32	247	
ドレーン・チューブ	29	29	26	27	26	34	53	27	37	26	32	25	371	
検査	88	106	92	92	89	74	96	73	65	85	67	72	999	
療養上の世話 (転倒・転落)	69 (37)	59 (37)	70 (43)	74 (40)	61 (43)	59 (40)	67 (44)	53 (32)	58 (31)	78 (60)	54 (36)	49 (37)	751 (480)	
その他	文書・書類	27	18	18	17	13	17	26	16	11	15	21	14	213
	情報管理	17	19	27	13	17	30	19	19	20	13	17	29	240
	その他	0	1	0	1	0	1	2	2	0	1	0	0	8
意見・クレーム・暴言暴力等	12	7	14	7	14	10	4	6	7	10	5	11	107	
合計	402	434	426	49	429	435	542	397	435	420	394	412	5,135	

【転倒・転落件数】

損傷レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 (なし)	10	16	24	11	20	20	20	17	12	33	21	19	223
2 (軽度)	23	17	13	9	19	14	15	10	15	17	13	15	190
3 (中度)	3	3	4	6	3	5	3	3	4	6	2	1	43
4 (重度)	0	1	1	1	1	1	3	1	0	1	0	1	11
5 (死亡)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	37	42	37	43	40	41	31	31	57	36	36	467

2. M&Mカンファレンス開催件数・参加人数

月・日	参加人数	月・日	参加人数
5月30日	17名	11月28日	14名
6月27日	18名	12月26日	12名
7月25日	19名	1月24日	12名
8月29日	17名	3月27日	15名
9月30日	14名		

3. 教育活動内容

1. 研修企画：実践

月・日	研修名	月・日	研修名
4月3日	新入職者研修	5月27日 8月26日 11月25日	薬学部研修
4月5日	看護部新人研修	8月23日 9月10日	看護補助者研修
4月8日	研修医研修	10月1日	中途採用職員研修
7月1日 7月11日	ラダーⅠ研修	12月8日	ラダーⅢ研修
7月5日 7月16日	ラダーⅡ研修		

2. 全体研修 開催

研修名	期間	受講完了者
第37回 Safety Plus eラーニング 「患者確認と指差し呼称」	7月1日(月)～7月22日(日)	受講完了者1,710名 受講率100%
第38回 Safety Plus eラーニング 「ノンテクニカルスキル」	10月1日(火)～10月22日(火)	受講完了者1,700名 受講率100%

3. 第31回 医療事故ワークショップ 開催

開催日時：令和7年2月20日(木) 15:00～17:00

講師：愛知県厚生連顧問弁護士

内容：実際に起こった医療事故をもとに、原因の究明、再発防止の検討  
事故体験を共有することで、意識と行動の変化を促す

対象：職員各部署から推薦されたスタッフ・医療安全対策委員

4. 第16回 医療安全フォーラム 開催

目標：各部署が自部署事例の分析を行い、対策を見出し、改善に取り組むことが出来る（全部署）

発表：令和5年度担当部署がパネル展示を実施（外来Dブロック・救命救急センター・内視鏡センター  
3A病棟・3B病棟・3C病棟・5B病棟・5C病棟・5D病棟・研修医・栄養管理室・施設課  
健康管理室）

期 間：令和7年1月30日（木）～令和7年2月4日（火） 参加人数：1011名

### 5. 院内パトロール実施

6月21日	時刻確認パトロール
7月19日	患者確認パトロール
9月20日	リストバンド装着確認パトロール

### 6. 医療安全推進週間 11月24日(日)～11月30日(土) 実施

患者向けに、1階外来通路にパネル展示を実施

展示部署	展示内容
緩和ケア委員会 (厚生労働省)	「あなたは大切なことを信頼できる人に伝えられていますか？人生会議、始めてみませんか？」 「もしものときに、どうしたいか」は、かわっていくことがある。」
臨床工学室	「高気圧酸素療法5か条」 「ペースメーカー挿入患者さまへ」
外来	「病院に受診する時は、お薬手帳・処方内容がわかるものを持参しましょう」
医療安全管理室 (厚生労働省)	「医療の安全こと、一緒に考えてみませんか」
薬剤部 (厚生労働省)	「患者の皆様からの薬の副作用情報を受け付けています」
臨床検査室	「肝炎ウイルス検査陽性の方は早期治療で重症化リスクを軽減することが可能です」
医事課	「オンラインで限度額適応認定証が確認できます」 「保険証廃止について」
診療放射線室	「血管撮影検査後に皮膚の異常に気づいたら」

### 7. 定期巡回パトロール

救急カートの管理状況、施錠管理薬剤の管理状況、モニター管理・入床手順について病棟と外来を実施

### 8. 事業計画進捗確認部署訪問の実施

実施月	部 署	実施月	部 署	実施月	部 署
5月	薬剤部	9月	リハビリテーション室	1月	保険事業部
6月	地域医療福祉連携部	10月	臨床工学室	2月	臨床研修部
7月	診療放射線室	11月	事務部・診療部	3月	各部門評価
8月	臨床検査室	12月	栄養管理室		

掲示物発行：医療安全情報（医療事故情報収集等事業） セーフティニュース 1回/月

## 9. 感染制御部

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 新興感染症への対応強化

##### ① パンデミック時の事業継続計画（BCP）の策定

予期せぬ新興感染症の流行時においても、人命尊重を最優先とした対応を図りつつ、地域住民への影響を最小限に留めることを使命と捉え、医療サービスの提供を継続するために事業継続計画（BCP）を策定した。BCPは今後も定期的に見直し、改訂を行い、平時からパンデミックに備えた準備を行っていく。

##### ② 新興感染症を想定した訓練の実施

新興感染症の発生を想定した訓練を11月に実施した。コロナ禍を経て5年ぶりに対面での訓練が実施でき、オンライン参加者も含めたハイブリッド開催となった。西三河北部医療圏感染対策カンファレンスに参加している12医療機関に加え、豊田市保健所、愛知県衣浦東部保健所、尾三消防本部が参加し、防護具の着脱訓練を実施した。予期せぬ新興感染症の流行に備え、地域全体で対応できるよう、今後も工夫して訓練に取り組んでいく。

#### 2. 教育活動の充実

##### ① 全職員に対する研修会の開催

Safety Plus（オンライン研修）にて、2回／年、職員対象の感染対策研修会を実施した。標準予防策については委託・派遣職員を含む全職員対象に実施し、主催した研修2回ともに参加率100%を達成することができた。また、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師対象に、抗菌薬適正使用についての研修を実施した。

##### ② 手指衛生キャンペーン

WHOが毎年5月に手指衛生強化月間を設定しており、JA愛知厚生連8病院でも合同で手指衛生の意識向上を図るため、5月～6月に手指衛生キャンペーンを展開した。8病院共通のポスターを作成し、診察室や各病棟などに掲示した。また当院独自に、ICTラウンドで手指衛生チェックや指先培養の実施、手指衛生キャンペーンに関してInstagramで発信するなど、手指衛生強化に取り組んだ。

##### ③ リンクナース活動

感染対策看護部会（リンクナース会）では、院内パトロールチーム・標準予防策チーム・血液体液曝露チームに分かれ、グループ活動を展開した。院内パトロールで各部署の感染対策の実施状況を確認したり、血液体液曝露の件数減少への取り組みを実施した。また、リンクナースが中心となり各部署で手指衛生の直接観察法を実施し、手指衛生の遵守率向上に取り組んだ。ICTラウンドにリンクナースが参加することで、院内の感染対策の実施状況を知り、自部署の活動に活かすことができた。

看護部新人研修では、リンクナースが中心となって教育活動を展開した。手指衛生の手技、個人防護具の着脱方法、廃棄物の処理方法、滅菌物の取扱いなどを実践指導し、新人看護師が現場に配属された後すぐに感染対策を実践できるような研修内容となった。

#### 3. 地域連携の充実

##### ① 定期カンファレンスの開催

西三河北部医療圏における感染対策カンファレンスを、当院・トヨタ記念病院・足助病院の合同開催で4回／年実施した。地域の感染流行状況や、カンファレンス参加医療機関の感染対策の取り組みなどについて情報を共有した。また、継続して実施している抗菌薬や耐性菌、手指消毒剤の使用量などのサーベイランスの結果報告等を実施し、地域全体で感染対策に取り組んだ。今後も継続して実施していく。

##### ② 指導強化加算ラウンドの実施

感染症専門医・感染管理認定看護師が、感染対策向上加算において連携している医療機関へのラウンド

を実施し、感染対策に関する問題点や不安な点について助言を行った。

#### 4. 抗菌薬適正使用支援の充実

血液培養陽性患者に対し、ほぼすべての症例で即時介入を実施。毎日のマイクロバイオロジーラウンドに加え、週に1回抗菌薬ラウンドおよび血液培養ラウンドを実施し、研修医・内科専攻医を含めた多職種で検討を行った。

## 2. 令和6年度実績

### 1. 教育活動

開催月日	研修会名
令和6年 4月3日	新入職員研修（全職種対象） 「院内感染対策の実際」
令和6年 4月8日	研修医オリエンテーション 「感染対策の基本」「針刺し・粘膜曝露について」
令和6年 4月9日	看護部新人研修「感染対策の概要」 「針刺し、血液・体液曝露防止対策の実施と事故後の対応」他
令和6年 5月2日	新人薬剤師研修 「標準予防策・経路別予防策（薬剤師向け）と無菌調製」
令和6年 5月23日 5月24日	看護部ラダーⅠ研修 「標準予防策・感染経路別予防策」
令和6年 6月3日 6月4日	看護部ラダーⅡ研修 「デバイス関連感染・手術部位感染」 「感染対策上問題となる微生物とその対策」他
令和6年 9月3日 9月4日	感染対策リンクナース研修 「リンクナース活動に役立つ、行動経済学を意識した手指衛生改善活動」
令和6年 9月9日 ～ 9月27日	第26回感染対策委員会全体講演会（Safety Plusにてオンライン講習） 全職員対象「感染対策の基本－手指衛生－」 医師・薬剤師・看護師・臨床検査技師対象 「抗菌薬の適正使用とは AMRに立ち向かうために②」
令和6年 10月1日	中途採用者研修（全職種対象） 「院内感染対策の実際」
令和6年 11月25日 12月10日	ナースアシスタント研修 「感染対策の基本」
令和7年 2月10日 ～ 2月28日	第16回豊田感染症フォーラム（Safety Plusにてオンライン講習） 全職員対象「職員の針刺し・切創・粘膜曝露について」 医師・薬剤師・看護師・臨床検査技師対象 「抗菌薬の適正使用とは AMRに立ち向かうために③」

### 2. 各種サーベイランス

JANIS（厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業）参加状況

- ・検査部門サーベイランス
- ・手術部位感染（SSI）部門サーベイランス  
（外科領域2手技・整形外科領域6手技・心臓外科領域4手技）
- ・集中治療室（ICU）部門サーベイランス

J-SIPHE（感染対策連携共通プラットフォーム）参加状況

- ・抗菌薬使用状況（入院・外来）
- ・手指消毒使用量
- ・デバイス関連感染
- ・微生物／耐性菌関連

デバイスサーベイランス実施状況

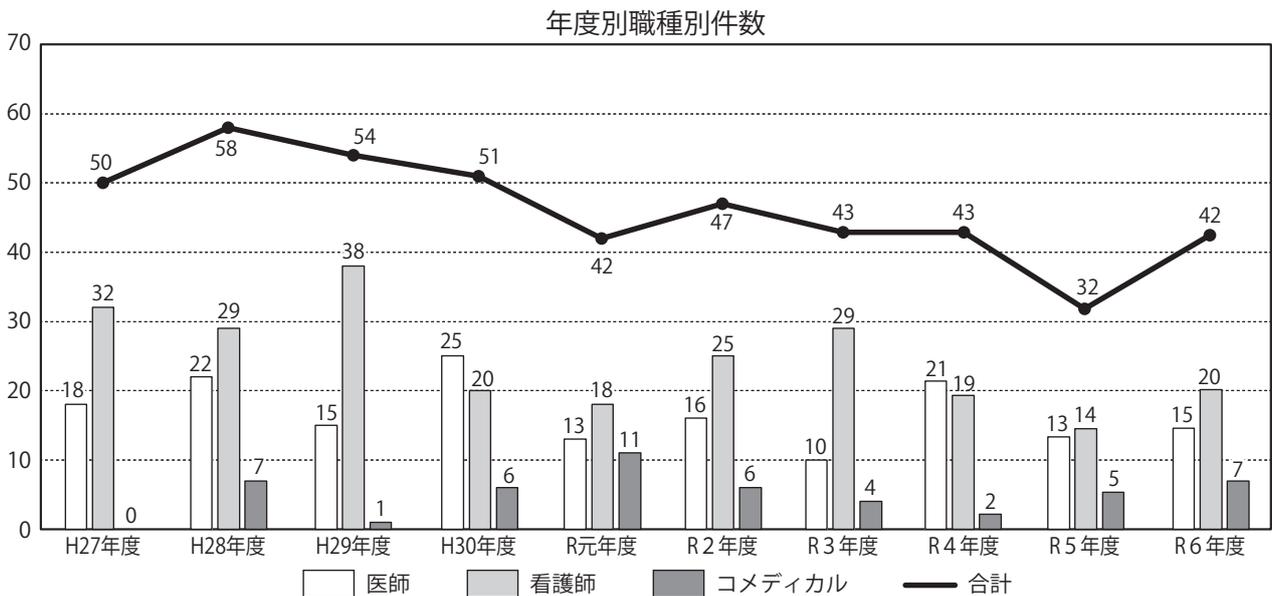
- ・中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）
- ・尿道留置カテーテル関連尿路感染（CAUTI）
- ・人工呼吸器関連肺炎（VAP）

その他サーベイランス実施状況

- ・手指衛生サーベイランス

3. 針刺し・切創・粘膜曝露対策

針刺し・切創・粘膜曝露についてのデータ収集を継続して実施している。令和6年度は、42件/年（100稼働病床あたりの針刺し件数5.5）の事例が発生、前年度（32件/年）と比較し増加した。全国平均（100稼働病床あたりの針刺し件数6.6）と比較すると、当院の針刺し件数は少ない傾向ではあるが、前年度より増加しており、さらなる強化が必要である。



4. 地域連携

《西三河北部医療圏感染対策カンファレンス》

参加施設：豊田厚生病院、トヨタ記念病院、足助病院、他9医療機関

豊田加茂医師会、豊田市保健所、愛知県衣浦東部保健所

開催月日	内 容	主 催
令和6年5月16日	・豊田市保健所管内における感染症の発生状況について情報共有 ・参加医療機関Aでの感染対策の実際と問題点（発表） ・COVID-19の感染対策について検討	豊田厚生・トヨタ記念・足助 共同開催（オンライン開催）
8月22日	・愛知県および衣浦東部保健所管内における感染症の発生状況等 について情報共有 ・参加医療機関Bでの感染対策の困りごとについて（発表）	豊田厚生・トヨタ記念・足助 共同開催（オンライン開催）
11月21日	・新興感染症の発生を想定した訓練	豊田厚生・トヨタ記念・足助 共同開催（現地・オンライン ／ハイブリッド開催）
令和7年2月20日	・耐性菌発生状況 ・アルコール使用量／抗菌薬使用量のサーベイランス報告	豊田厚生・トヨタ記念・足助 共同開催（オンライン開催）

《感染対策向上加算ラウン〈感染対策向上加算ラウンド〉》

- ・加算1 相互ラウンド：豊田厚生病院→トヨタ記念病院（7月12日）  
トヨタ記念病院→豊田厚生病院（10月18日）

豊田厚生病院→足助病院（12月13日）

・加算2 & 3 ラウンド：名豊病院（10月10日、3月27日）

豊田地域医療センター（11月5日）

豊田西病院（11月19日）

《地域連携部主催 医療従事者研修》

・感染対策研修会－感染対策の基本と輸入感染症－

開催日：8月7日、9月18日

《豊田加茂医師会主催 感染対策カンファレンス》

・第1回カンファレンス：データ報告「薬剤耐性菌・感染症」（9月18日）

・第2回カンファレンスと訓練：訓練「個人防護具（PPE）の着脱」（3月19日）

## 5. ICTラウンド（毎週金曜日）

毎回テーマを絞って、病棟・外来系のラウンドを実施。

4月…環境整備（ミキシング台の環境、滅菌物の管理、薬剤管理等）

5月…手指衛生（アルコール手指衛生・指先培養／看護職）

6月…手指衛生（アルコール手指衛生・指先培養／医師・薬剤師・その他職種）

7月…環境整備（医療廃棄物の分別）

8月…環境整備・デバイス関連感染（ゾーニング、点滴管理等）

9月…デバイス関連感染（尿道留置カテーテルの管理、吸引の実際等）

10月…環境整備（パソコンのキーボード培養）

11月…環境整備（ミキシング台の環境、滅菌物の管理、薬剤管理等）

12月…環境整備（ゴミの分別、ゾーニング、滅菌物の管理等）

1月…感染経路別予防策（嘔吐物の処理、病室のゾーニング）

2月…個人防護具（防護具着脱手順）

3月…手指衛生（流水と石けんでの手洗い）

## 6. 血液培養ラウンド（毎週水曜日）・抗菌薬ラウンド（毎週木曜日）

・血液培養ラウンド

血液培養陽性：1,066例に介入 うちカテーテル関連血流感染：23例

・抗菌薬ラウンド（AST）

対象症例数：1,376例 うちコメント症例数：71例

## 7. ICTニュースの発行

4月…「求む!! ICD&ICN」

5月…「5月&6月は手指衛生強化月間！」

6月…「外来抗菌薬の適正使用が必要です」

7月…「血液培養ボトルが出荷制限中です」

8月…「COVID-19陽性者が増加中です」

9月…「CD毒素検査について」

10月…「流行中！マイコプラズマ肺炎」

11月…「感染対策向上加算 相互ラウンド」

12月…「新興感染症を想定した訓練を実施しました」

1月…「針刺し・切創・粘膜曝露について」

2月…「針捨てBOXを安全に使用しましょう」

3月…「新しい遺伝子機器導入」

## 10. 地域医療連携課（地域医療連携係）

急性期病院として期待される要望事項の把握に努め、地域医療機関との交流を密にし、地域医療連携がスムーズに行えるように受け入れ体制を充実させる。

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 地域医療機関との連携強化

##### ① 地域医療機関への表敬訪問の実施（46件）

- ・紹介が多い医療機関への訪問やTAVI、呼吸器外科体制強化、外来放射線緩和照射のPR目的にて医師同行訪問を行った結果、前年度よりも初診紹介患者数が増加した。（20,782人→20,982人）

特に日進市・東郷町の開業医を意識して訪問し新規紹介を依頼した。

##### ② 6大がん地域連携パス受け入れ医療機関拡大

- ・開業医訪問の際、新規届出および追加届出依頼を行うとともに、届出未医療機関とのがん連携パスを希望する患者が発生した場合、新規届出依頼及びがん連携パスの概要説明を行った。（令和6年度400件）

##### ③ 地域連携パスの受け入れ医療機関拡大

- ・当院独自の「脳卒中2次予防パス」「認知症パス」や「心不全パス」の連携医療機関拡大に向け、担当部長と医療機関へ訪問を実施。受け入れ医療機関は脳卒中2次予防が45、認知症が57、心不全は68の医療機関との連携が可能となった。

### 2. 勉強会・交流会の開催等

#### ① 豊田厚生病院地域医療支援病院運営委員会開催

- ・令和6年4月17日（水）（令和6年度第1回）WEBおよび書面開催
- ・令和6年7月17日（水）（令和6年度第2回）WEBおよび書面開催
- ・令和6年10月23日（水）（令和6年度第3回）WEBおよび書面開催
- ・令和7年1月15日（水）（令和6年度第4回）WEBおよび書面開催

#### ② 看護技術研修会

- ・令和6年6月20日（水）WEB開催 院外参加者10名（褥瘡対策について）
- ・令和6年7月11日（水）WEB開催 院外参加者16名（褥瘡対策について）
- ・令和6年8月7日（水）WEB開催 院外参加者16名（感染対策について）
- ・令和6年9月18日（水）WEB開催 院外参加者14名（感染対策について）
- ・令和6年10月2日（水）WEB開催 院外参加者12名（認知症について）
- ・令和6年11月6日（水）WEB開催 院外参加者16名（認知症について）
- ・令和6年12月4日（水）WEB開催 院外参加者9名（緩和ケアについて）
- ・令和7年1月22日（水）WEB開催 院外参加者3名（訪問看護について）

#### ③ 令和6年度 豊田加茂地域医療連携交流会

- ・令和6年9月28日（土）実開催 参加者46名（当院参加者）

#### ④ 乳腺勉強会

- ・令和6年8月21日（水）実開催 参加者53名
- ・令和7年1月22日（水）実開催 参加者51名

#### ⑥ 豊田加茂医師会・豊田厚生病院合同CPC

- ・令和7年3月12日（水）実開催 参加者69名

## 2. 令和6年度実績（地域医療支援病院運営委員会資料より抜粋）

① 登録医数・登録医療機関数（令和6年度末）

	登録医数	登録医療機関数
医 科	280	217
歯 科	163	148
合 計	443	365

② 紹介関連実績 ※地域医療支援病院紹介率

	紹介件数	紹介率※
医 科	29,986	78.1%
歯 科	2,710	

③ 逆紹介関連実績 ※地域医療支援病院紹介率

	逆紹介件数	逆紹介率※
医 科	25,320	91.8%
歯 科	1,893	

④ 紹介の地域医療連携課経由の有無

連 携 課 経 由	25,454
連 携 課 経 由 外	7,242
延 紹 介 患 者 数	32,696
経 由 割 合	77.9%

⑤ 診察紹介患者の入院実績

診 察 紹 介	23,350
入 院（再 掲）	7,118
入 院 割 合	30.5%

⑥ 科別紹介関連実績

診 療 科	計	内 訳	
		外 来	入 院
内 科	1,497	1,340	157
脳神経内科	2,193	1,886	307
呼吸器内科	1,677	1,234	443
消化器内科	2,743	2,015	728
肝 臓 内 科	246	220	26
循環器内科	5,015	4,079	936
内分泌代謝内科	671	527	144
腎 臓 内 科	745	591	154
膠原病内科	116	115	1
血 液 内 科	494	395	99
総 合 内 科	490	366	124
精 神 科	192	190	2
小 児 科	1,145	774	371
外 科	889	472	417
血 管 外 科	233	193	40
乳 腺 外 科	347	254	93
小 児 外 科	0	0	0
消化器外科	146	40	106
整 形 外 科	1,893	1,475	418
脊 椎 外 科	601	476	125
形 成 外 科	885	726	159
脳神経外科	594	458	136
呼吸器外科	117	83	34
心 臓 外 科	233	221	12
皮 膚 科	1,115	999	116
泌 尿 器 科	1,356	1,004	352
産 婦 人 科	974	657	317
眼 科	853	580	273
耳鼻咽喉科	1,721	1,440	281
放 射 線 科	748	747	1
麻 酔 科	56	49	7
歯科口腔外科	2,711	1,972	739
合 計	32,696	25,578	7,118

⑦ 科別逆紹介関連実績

診療科	計	内 訳		
		紹介元へ	紹介元以外へ	当院患者を紹介
内 科	1,308	792	467	49
脳神経内科	2,209	1,487	684	38
呼吸器内科	924	423	500	1
消化器内科	2,303	1,904	331	68
肝臓内科	160	126	9	25
循環器内科	5,540	4,850	645	45
内分泌代謝内科	891	299	563	29
腎臓内科	875	555	196	124
膠原病内科	36	8	27	1
血液内科	339	166	173	0
総合内科	543	201	341	1
精神科	221	72	127	22
小児科	206	102	100	4
外 科	2,181	1,999	163	19
血管外科	190	148	26	16
乳腺外科	103	70	22	11
小児外科	0	0	0	0
消化器外科	30	9	20	1
整形外科	2,077	223	1,848	6
脊椎外科	261	150	101	10
形成外科	649	482	133	34
脳神経外科	348	85	257	6
呼吸器外科	53	47	6	0
心臓外科	306	264	23	19
皮膚科	643	314	304	25
泌尿器科	710	262	430	18
産婦人科	303	60	241	2
眼 科	741	435	269	37
耳鼻咽喉科	411	186	224	1
放射線科	747	737	10	0
麻酔科	12	5	6	1
歯科口腔外科	1,893	1,779	112	2
合 計	27,213	18,240	8,358	615

⑧ 地域別紹介件数

豊 田 市	23,642
みよし市	4,080
そ の 他	4,974
合 計	32,696

⑨ インターネット予約システム利用状況

地域医療連携課経由	25,545
インターネット予約（再掲）	11,196
インターネット予約割合	43.8%

⑩ 高度医療機器利用実績

内容	計	内 訳	件 数
放射線関係	1,790	CT	879
		MRI	734
		RI	4
		PET-CT	2
		骨密度	169
		上部消化管透視	1
		下部消化管透視	1
内視鏡・生理検査関係	1,466	上部内視鏡	86
		下部内視鏡	117
		腹部超音波	279
		心臓超音波	425
		甲状腺超音波	148
		頸動脈超音波	127
		その他超音波	22
		脳波	5
			257
合 計			3,256

※その他の超音波は下肢血管

※その他はホルター心電図・トレッドミル・神経伝導検査・肺機能検査など

⑪ 開放病床(25床)利用実績

紹介患者延利用日数	1,920
利 用 率	21.0%

# 11. 入退院支援課（入退院支援係、在宅支援コーディネーター係）

## 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

### 1. 地域医療連携の強化

#### ① 他施設とのデスカンファレンス定例化に向けた取り組み

11月に当院より在宅診療へ移行した患者の担当の病院とのデスカンファレンス実施。患者の意思を尊重した退院支援の振り返りができ、課題も見い出せたため、今後の退院支援への良い機会となった。また、関連病院との意見や情報交換を行うことで、連携強化や、円滑な在宅診療への移行にもつながると感じた。来年度より年2回の定例化が決定した。

#### ② 地域連携クリニカルパスの推進

脳卒中地域連携パス会議、大腿骨近位部骨折地域連携パス会議への参加

両パス地域連携会議とも年3回の参加を行った。大腿骨近位部骨折地域連携パス会議においては、急性期病院として今年度末会議の主催を行った。

#### ③ 勉強会・交流会の参加

9/28 豊田加茂地域医療連携交流会参加

9/11 院内全体講演会（主催）：在宅診療について（外部講師）

9月 ケアマネージャー向け意見交換会参加

10月 3月 緩和ケア研修会参加

そのほか、自己研鑽のためスタッフ各自が学術集会、セミナー等への参加を行った

### 2. 入院時からの退院調整の実施

#### ① 患者の意思を尊重した在宅移行への支援が行える仕組みを作る

在宅支援コーディネーター係では、ショートカンファレンスを毎日の定例とし、患者の退院支援についてカンファレンスを行った。必要時、関連職種との参加も行いながら行うことで様々な対応方法やアイデアを得ることができ、退院支援の参考になった。入院前より退院支援の検討が必要と思われる患者については、昨年と同様、入退院支援係と在宅支援コーディネーター係間で情報提供を行った。今年度は、2名の患者について、入退院支援係と在宅支援コーディネーター係が入院前に合同カンファレンスを行い、入院前の問診内容や退院支援の検討を行うことで、円滑に退院支援を行うことができた。

当院より在宅診療へ移行した患者2名に対し、退院後に在宅診療の同行訪問を8月、11月に実施。当院で実施した退院支援の評価、今後の課題の明確化、在宅療養についての学びにつながったため、教育的視点からも今後も継続していきたいと考える。

#### ② 入院事前調整加算算定に向けた体制作りを実施

診療報酬改定により、入院事前調整加算が設けられた。強度コミュニケーション障害やコミュニケーションに特別な方法を要する患者に対し、入院後の看護が十分に行える様、入退院支援センターで看護や治療に必要な情報を収集し、他部門のスタッフ、在宅支援コーディネーターと情報共有が行える様取り組んだ。今年度は2名の患者の対応を行い、安全に必要な治療を受け、二次的障害を受けることなく退院できたとのことだった。今年度は準備段階であったため、今後は定着を目標に取り組みたい。

#### ③ 入退院支援加算1の要項に基づき各書式の見直し、記録の効率化への取り組み

10月に入退院支援加算1の施設基準等に照らし、自施設の加算対象者の現状を見直した。退院支援対象者が増加したため、退院支援対象者に対し、十分な対応時間の確保のため、記録の効率化や書式の見直しを行った。今年度では十分な改善には至らなかったため、来年度も引き続き業務改善を継続したいと考える。2025年3月の入退院支援加算1の算定率84%と、見直しを行う前に比べ約20%の増加となった。

【入退院支援係 実績】

●受け入れ診療科の入院時支援加算1算定件数

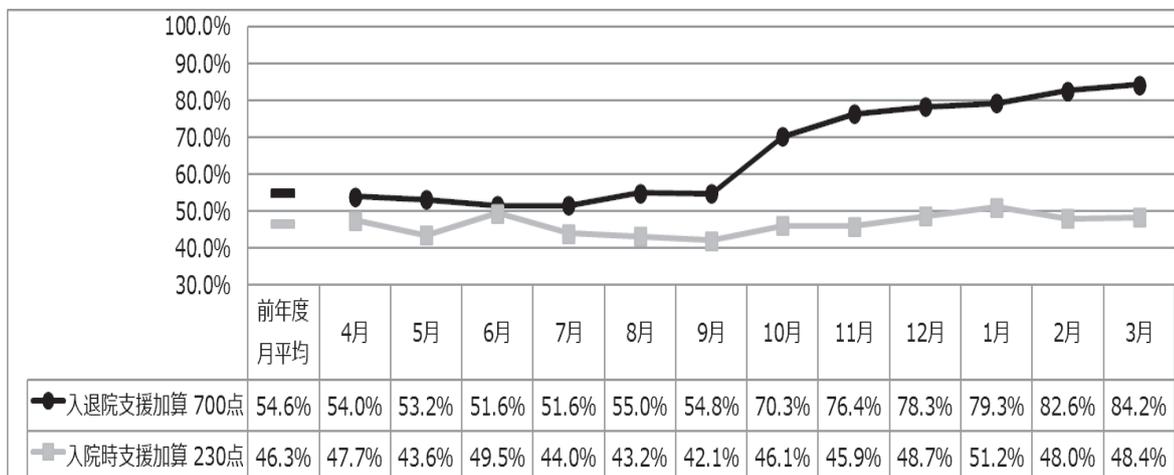
	令和5年度	令和6年度
循環器内科	279	394
消化器内科		
腎臓内科		
消化器外科	606	742
乳腺外科		
血管外科		
整形外科	297	332
脊椎外科		
形成外科	31	39
呼吸器外科	93	106
心臓外科	41	20
皮膚科	8	7
泌尿器科	164	252
産婦人科	60	111
眼科	232	272
耳鼻咽喉科	35	106
歯科口腔外科	30	11

【在宅支援コーディネーター係 実績】

●各件数・割合

	令和5年度	令和6年度
早期面談数 (件)	12,203	13,312
退院支援計画書作成件数 (件)	8,682	10,637
退院支援計画書作成割合 (%)	71.6	79.9
在宅支援新規件数 (件)	794	621
介護支援等連携件数 (件)	110	116
介護支援等連携割合 (%)	11.4	11.1
退院時共同指導料2件数 (件)	120	129
多機関共同指導加算件数 (件)	48	60

●令和6年度 算定割合



※10月より入院支援加算230点→240点

## 12. 医療福祉相談課（兼がん相談支援センター）

令和6年度は、総対応件数の前年対比で100.9%と、ほぼ前年と同じくらいであった。内訳で見ても退院相談が多い状況も変わらず、目立った特徴は無い。

具体的な内容としては、身寄りのいない単身者の身元保証の問題や金銭管理の問題など、根本的にソーシャルワーカーの介入を必要とする患者が相変わらずに増えていることが挙げられる。家族関係の希薄化が大きな要因と考えられる。また、利用者の医療機関に対する要望が過度な期待に繋がり、医療機関としてどこまで対応すべきかを迷うような事例も増えてきているのも前年同様である。

がんサロンはコロナ明けから再開しているが、参加者が毎月10人未満と伸び悩んでいる。地域のがん患者支援団体でも同様の傾向とのことで、WEB環境の普及などの影響も考えられる。

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 後方病院や在宅関係機関との連携強化

- ・後方医療機関や施設とは定期的に話し合いを行い、よりスムーズな転院や施設入所ができるように継続的に運用の見直しを行っている。
- ・行政関係の会議では、豊田市の地域包括ケアシステムの基盤整備として市民後見人の養成などへの継続的な協力を行っている。また、身寄りのない単身者の問題については、具体的に展開できるように現場目線での話し合いを続けている。その結果、令和7年4月から豊田市社会福祉協議会で身寄り無し単身者向けサービスが開始される予定となっている。併せて、現場での実践ツール（救急搬送編・死後事務編）を市役所と一緒に作成し、地域関係機関にも活用してもらえるような広報も行った。
- ・ケアマネ向け意見交換会を地域包括支援センターと共催で実施。身寄りの居ない人の支援をテーマにグループワークなどを行い、病院と地域とでそれぞれやれることについて話し合いを重ねている。

#### 2. キャリアアップへの取り組み

- ・両立支援コーディネーターの取得、がん相談支援センター相談員基礎研修会、精神保健福祉士協会研修会など、スタッフの状況に合わせて一步上の資格等の取得や研修への参加に取り組んだ。
- ・がん相談支援センター相談員基礎研修会は、基礎研修Ⅰ・Ⅱの受講に1名が取り組んでいる。基礎研修Ⅲにも1名が取り組み、スタッフ配置の幅が広がっている。
- ・愛知県医療ソーシャルワーク学会では、参加だけではなく学会発表にも取り組んでいる。
- ・入院時重症患者メディエーター研修も1名受講し、院内の体制見直しにも継続的に取り組んでいる。

#### 3. 新人教育を進めるための体制づくり

- ・令和5年度に教育担当者制に変更したことで、いろいろな課題（教育側・受講側のメンタルサポートなど）が出てきたため、チーム制での対応に戻している。従来のチーム制に戻すのでは意味がないため、新人指導マニュアルの見直しや、指導方法の工夫を行っている。その結果、新人からの評価は良好であった。

#### 4. がん相談の体制充実

- ・がんサロン煌の定期開催を行っている。参加人数を増やすためにInstagramや地域の患者団体への後方も行ったが、冒頭にも記載したように参加人数は伸び悩む結果となった。
- ・緩和ケア病棟については、受け入れ相談窓口の担当者を2名体制にして、対応の効率化を図っている。体制的にも受け入れの幅は広がっている。

## 5. 診療報酬算定アップへの取組み

- ・入退院支援課と協力をして入院事前調整加算の体制づくりに取り組んでいる。地域の障がい支援事業所への周知や、スタッフへの勉強会の開催を行い、具体的に算定できる体制にはこぎつけている。
- ・救急患者連携班送料（下り搬送）について、具体的な実施が出来るように院内のプロジェクトに参加する他、関係機関との協議を行い、協定書の原本作成などに取り組んでいる。車両が準備できなかったため、実施については令和7年度に繰り越すこととなった。

## 2. 令和6年度実績

### 1. 援助内容別対応件数

援助内容	令和6年度		令和5年度	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
1. 心理・社会的処遇	215	0.7%	357	1.2%
2. 治療と療養生活	533	1.8%	402	1.3%
3. 家族関係・在宅生活	196	0.6%	339	1.1%
4. 受診・入院	513	1.7%	522	1.7%
5. 退院・転院	25,798	84.9%	25,367	84.3%
6. 医療費・生活費・経済	1,056	3.5%	1,188	3.9%
7. 手続き・診断書・保険	1,903	6.3%	1,736	5.8%
8. 職業等社会生活	32	0.1%	28	0.1%
9. その他	129	0.4%	150	0.4%
合計	30,375	100.0%	30,089	100.0%

### 2. がん相談支援センター 援助内容別対応件数

援助内容	令和6年度		令和5年度	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
1. 治療・療養生活等	165	21.7%	2,255	79.5%
2. セカンドオピニオン	7	1.0%	4	0.1%
3. 治療実績・受診・入院・退院・医療機関紹介	387	50.9%	342	12.1%
4. 医療費・生活費・社会保障制度	152	20.0%	170	6.0%
5. 不安・精神的苦痛・告知・コミュニケーション	21	2.8%	17	0.6%
6. その他	29	3.8%	48	1.7%
合計	761	100.0%	2,836	100.0%

※R6年度からカウント方が変更となっています。

### 3. 関係機関との会議等への参加状況

豊田市要保護児童・DV対策協議会、愛知県児童虐待対応医療機関連絡会、豊田加茂児童虐待等関係機関連絡調整会議、地域連携パス会議（脳卒中・大腿骨骨折・在宅緩和ケア）、豊田市成年後見・法福連携推進会議、豊田市身寄り無し独居者検討部会、難病ネットワーク三河ブロック連絡員会議、愛知県難病医療協議会・連絡員合同会議、小児慢性・難病地域対策協議会（豊田市保健所）、小児慢性・難病地域対策協議会（衣浦東部保健所）、保健所・難病医療ネットワーク連携会議、認知症医療連携協議会、豊田市母子医療保健福祉ネットワーク会議、豊田市精神障がい者地域支援協議会、EM-PASS情報交換会、救急隊と医療・福祉合同研修、愛知県がん診療連携協議会相談支援部会、養護者による虐待再発防止にかかる検証委員会、名古屋刑務所と医療機関との連携会議等

### 4. 地域貢献

- ・愛知県医療通訳派遣システム養成講座 講師派遣

- ・名古屋刑務所視察委員会 委員派遣
- ・豊田市成年後見センター市民後見人養成講座 講師派遣
- ・豊田市訪問看護育成センター 講師派遣
- ・実習生対応（他職種含む）
- ・がんサロン煌の定期開催 等

## 5. 患者会開催状況（事務局を医療福祉相談課が対応しているもの）

- ① オストミー友の会（人工膀胱・人工肛門患者会）— 事務局 医療福祉相談課
  - ・第42回 オストミー友の会  
令和6年11月8日（金）  
「振り返る！オストメイトの災害対策」  
講師 福岡沙織氏（皮膚・排泄ケア認定看護師）  
「ストマ患者さんの栄養の話～栄養士から伝えたい事～」  
講師 脇坂涼子氏（管理栄養士）  
参加者：51名（付き添い含む）
- ② ひまわり会（在宅酸素療法患者会）— 事務局 医療福祉相談課
  - ・第46回 ひまわり会  
令和6年6月15日（土）
    - 1) 総会  
「呼吸筋体操で心も身体も整えよう！」  
講師 吉田成見氏（理学療法士）
    - 2) イベント  
早川流やぐら太鼓 鑑賞  
参加者：7名（付き添い含む）



## 13. 豊田厚生訪問看護ステーション

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### (1) 地域医療連携の強化

- ① 豊田市在宅医療・福祉連携推進計画における豊田加茂訪問看護ステーション部会へ管理者が参加し、多職種連携チームのリーダーとして活動した。地域の多職種による円滑な情報共体制の構築に向け、在宅医療・介護・福祉相互ネットワーク「豊田みよしケアネット」の活用促進のため、訪問看護ステーション部会での展開と、豊田市福祉部地域包括ケア企画課と協働し、ケアネット普及率の算出を実施、効果的な活用方法や課題についてアンケート調査を行い、部会で情報共有した。自部署ではケアネットで、計3名の利用者に対し訪問看護指示医師や多職種と情報共有を行った。
- ② 多職種情報交換会は、豊田市みよし市内の訪問看護管理者、ケアマネジャーや管理栄養士、歯科衛生士、療養士、豊田市福祉部地域包括ケア企画課など多職種がオンラインで参加、隔月で多職種連携における課題や関わった症例検討を行い、それぞれの立場での意見交換を行った。年に1回対面での多職種情報交換会の開催があり、より多くの参加者が集まり課題に対してグループディスカッションを実施、連携における課題の共有や対策を話し合う機会に参加した。

#### (2) 在宅医療・介護の推進

- ① 主に管理者が地域医療従事者への研修及び患者・家族会での在宅医療・介護についての周知啓蒙活動を実施した。豊田厚生病院地域医療福祉連携課主催の「看護技術研修会」に於いて、訪問看護師の役割や在宅での意思決定支援、ターミナルケアについて等の知識や事例を紹介、参加者のグループワークに参加しファシリテートを行った。院内で開催される「がんサロン煌」でも同様に、豊田市が手掛ける「人生会議」「自分ノート」について周知、「もしバナゲーム」での意思決定を患者・家族同士で体験した。
- ② 愛知県訪問看護ステーション協議会の依頼を受け、管理者が「訪問看護管理アドバイザー」として、地域の訪問看護ステーションの目標課題分析と取り組みに対し計4回/年間、支援した。

#### (3) 各種加算算定と安定した経営維持のための取り組み

- ① 電子カルテ介護システムの導入後、タブレットでの訪問看護記録や情報共有を継続しており、カルテ記録時間の短縮に繋がっている。記録業務による超過勤務時間は、前年度と比較し月1人当たり平均3.44時間から2.36時間へ減少した。
- ② 訪問予定を1日5件受けられるよう計画した。状態悪化による訪問回数の増加や、新規依頼当日の訪問開始、訪問診療医師からの点滴実施のための指示依頼等に対応した。
- ③ 訪問件数が減少した際は、院内関連部署や院外ケアマネジャー、クリニック医師へ新規依頼を働きかけた。
- ④ 訪問件数以外で取得できる加算として、在宅移行カンファレンス実施時の「退院時共同指導加算」や退院日当日に医師から指示をもらい訪問する「退院支援指導加算」取得のため、積極的に病棟と連携し実施した。

#### (4) 提供するサービスケアの質向上

- ① ACPサポートを含めた入院先との連携は、訪問開始時に確認している「利用者と家族の大切にしている事」「これから希望する療養先」を、院内カルテへ入力（ACP付箋でマーク）を実施している。入院時には看護サマリーへ記載し、療養場所が変わっても多職種でACPを共有し、サポートが継続できるよう働きかけた。院外の訪問診療医師とも、在宅看取りの事例でACPサポートの振り返りのため、デスクカンファレンスを開催した。
- ② 訪問看護師の在宅領域における病状や介護力マネジメント強化のため「アセスメントについて」「アセスメント記録内容の振り返り」学習会を実施、アセスメントポイントを書き出せるようシートを作成した。訪問先でシートを使用し記録し、新規利用者のケアカンファレンスはその情報を活用

した。カンファレンス実施率を年間50%以上に目標設定、見える化して取り組み、計66%の実施率であった。

- ③ スタッフの各種研修参加支援として、訪問看護師育成センターの訪問看護師育成研修に1名参加、訪問看護師養成研修修了証取得した。その他育成センター研修や豊田加茂医師会研修、在宅看護実地指導者研修等、各スタッフが受講した。また、在宅でのポータブルエコー使用における「エコーを用いた排せつケアコース」研修に1名参加し中級コース修了証取得、育成センターからの支援により次年度から訪問先でのエコー活用開始を計画している。
  - ④ 糖尿病看護認定看護師による在宅でのフットケアは、院内外訪問看護指示医師から指示を受け、グラインダー等を使用する専門的なフットケアを実施している。
- (5) 働きやすい職場環境整備
- ① 1日の訪問予定時間スケジュールをパートナーと協働し、移動時間や休憩時間がスタッフ全体にわかるようホワイトボードへ表示した。予定外の緊急訪問によるスケジュール調整や、帰院時間の確認、残務やサマリー等書類作業の采配など、メンバーからの報告を受けながら日々リーダーが業務分担しやすい環境となった。また、日々の超過勤務は減少した。
  - ② 電子カルテ導入後、異動スタッフが活用できるようタブレット入力の手順書を作成した。日々の業務で、異動スタッフをはじめスタッフ全体で入力が迅速かつ入力内容の統一が図れている。
  - ③ 夜間の緊急訪問発生後の業務負担軽減のため、スタッフの意見を確認し、深夜加算対象の時間帯（22時～6時）に出動した場合、翌日の出勤は希望により午前からの出勤または午後からの出勤を選択できるよう対応した。それ以外の時間の緊急訪問対応でも、翌日に時間休暇を取り疲労が残らないよう対応している。

## 2. 令和6年度実績

訪問看護カルテのICT化により、記録時間の削減や訪問利用者数及び訪問件数の増加を見込み、予算を立てたが、利用者数と件数は減少する結果となった。新規依頼ケースにおいては、院外クリニックからの当日の急な訪問依頼にも対応した。年間20件以上の在宅看取り及びターミナルケア加算算定数の確保ができたため、機能強化型訪問看護療養費1の加算は継続できている。

その他の加算として、入院中から在宅移行時のカンファレンスや退院日訪問の対応により、退院時共同指導加算介護＝29件／年（192,270円）、医療＝45件／年（360,000円）、退院支援指導加算27件／年（216,000円）と前年度より増加し算定できた。

1人1日当たり平均訪問件数は年間平均2.98件で前年度と変わらず経過。利用者数、件数、収益は前年度比100%を下回り、利用者の月単価も、介護、医療共に前年度比96～99%であった。

利用者の新規依頼は院内の在宅支援コーディネーターからが47%で減少傾向、院外からの依頼は43%から45%に増加した。院内外の新規依頼を確保し、利用者数と件数の増加に向けて、訪問時間のシフト変更等対策をしていく。

### (1) R6年度の訪問実績

	年間利用者数（延べ人数）	年間訪問件数（延べ件数）	訪問看護【収益】（千円）	ターミナルケア加算算定数
医療保険	519	2,984	38,861	16
介護保険	843	4,337	45,660	6
計	1,362	7,321	84,521	22

### (2) 利用者月単価（円）

	介護保険	医療保険	全体
R6年度	54,712	78,159	63,740

## (3) 自宅にて他界した件数とターミナルケア加算算定割合

	自宅にて他界した件数	自宅他界のうちターミナルケア加算算定件数	算定割合
R6年度	22	22	100%

## (4) 新規依頼の紹介元

紹介元		介護	医療	計
院内	在宅支援コーディネーター	5	34	39
	居宅介護支援事業所	0	0	0
	地域包括支援センター	3	1	4
	医療福祉相談課	1	0	1
	医師	0	2	2
	小計	9	36	45
院外	他施設より（他病院・診療所等）	1	2	3
	居宅介護支援事業所	22	8	30
	地域包括支援センター	4	1	5
	小計	27	11	38
合計		36	47	83

## (5) 学生・実習生受け入れ状況

学校名	人数
加茂看護専門学校	9クール 40名
豊田地域看護専門学校	2クール 4名
学校法人愛西学園 弥富看護学校	2クール 8名
豊田訪問看護師育成センター実務研修	1名3日

## 14. 居宅介護支援事業所（豊田厚生介護保険センター）

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 在宅看取り支援及びターミナルケアの充実

- (1) 介護保険法改正について勉強会開催（ターミナルケアマネジメント算定要件等）
  - ・ケアマネ部会・自部署にて勉強会開催
- (2) 毎月集計
- (3) 事例検討会
  - ・ケアマネ会議にてスタッフ1事例ずつ事例の振り返りを実施
  - ・生活問題が多いケースは同行訪問しスタッフ間で情報共有しながら支援
  - ・他法人との事例検討会開催
  - ・1事例SW学会にて発表

#### 2. 次年度も居宅介護支援事業所の特定事業所医療介護連携加算の算定が維持できる

- ・R6/3/1～R7/2/28まで間、在宅看取り24件、その内ターミナルケアマネジメント加算19件算定（R6年4月介護保険法改正あり、がん末期以外の疾患も算定可能となる。他の要件も満たしており、次年度も算定可能となる）
- ・退院退所加算116回算定（加算要件は35回以上）
- ・週1回ケアマネ会議を開催し、新規ケースや問題ケースなどの情報を共有
- ・時間外携帯当番を365日対応
- ・運営基準減算に該当しないように適正にケアマネジメント業務を実施
- ・短期間で終了するケースや状態悪化にてプラン発生につながらないケースが多いため、今後も新規ケースの継続対応が必要
- ・特定事業所加算基準の遵守状況に関する所定の記録を毎月末まで作成し、5年間保存
- ・豊田市集団指導・講習会・運営指導の情報を適宜スタッフと共有

### 2. 令和6年度実績

#### 1. ケアプラン作成

令和6年度	
件数	収益
1,213	23,150,641

- ・特定事業所加算Ⅲ（300単位）・特定事業所医療介護連携加算（125単位）算定継続中
- ・活動実績は、ケアプラン件数は前年度比103%、収益は前年度比107%
- ・4月から新介護支援システムを導入した。業者でのデータ移行は最低限であり、職員自身でマスタ登録・データ移行入力作業など行い、給付管理作業が適切に処理できることを確認後問題なく活用中。新システム移行期間中、一部新規ケースの受け入れを制限したが、大きな影響はなかった。
- ・急性期病院の中にある居宅介護支援事業所のため、主に医療依存度の高いケースやがん末期のケースが安心して自宅療養できるように受け持ち対応している。医療依存度の高い場合やがん末期ケースの場合、状態変化しやすいケースが多い。急変にて相談対応は行ってもプランにならないケースが90件あった
- ・入院時医療連携加算1日以内64件 3日以内16件算定
- ・退院退所加算76回分算定（カンファなし連携1～2回、カンファ有り連携1～3回含む）（加算要件として35件以上必要）

## 2. 要介護別件数

要介護度別	令和6年度
要介護1	358
要介護2	354
要介護3	164
要介護4	170
要介護5	167
計	1,213

## 3. その他

### (1) 新規・終了など

	令和6年度件数
新規利用契約者	71
中止者（入所等）	29
死亡者	53
利用者（電話相談・訪問対応以外）	1,752
他事業所へのケース紹介（再掲）	1

### (2) 院外ケアマネから主治医連絡・入院時情報提供書対応件数（地域医療連携課事務担当）

主治医連絡票対応件数	495
介護保険医療連携用情報提供書対応件数	891

### (3) 感染に関するBCP（事業継続計画）・災害に関するBCP読み合わせ実施、記録の整備

- ・受け持ち利用者の個人ファイルのフェイスシートに緊急連絡先・主病名・主治医等すべて記入と入力できるように周知し実施

## 15. 豊田厚生地域包括支援センター

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

\*活動目標は3年ごとに“3年後を見据えた長期的な目標”を立案。令和6年度は3年計画の初年度であった。

#### 【活動目標】

- ・認知症の人やその家族が安心して過ごせるような浄水地区を目指す。
- ・多様な機関や地域支援者との連携を強化し、地域と医療・福祉のネットワーク構築ができる地域になる。
- ・将来の在りたい姿について考え、主体的に取り組む高齢者が増える。

### 1. 令和6年度の目標と成果

(1) 地域の様々な世代の方が認知症について知り、考える機会を作り、認知症の人が安心して暮らしていける地域になる。

#### (重点事項)

- ① 季刊誌を活用して地域住民に認知症サポーター養成講座の受講勧奨や認知症サポーター登録の勧奨を行う
- ② 季刊誌を活用して消費者被害に関する啓発や金銭管理に不安のある方の相談窓口を紹介する
- ③ 民生委員向けに認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座を開催する
- ④ ささえあいネット登録機関へ認知症サポーター養成講座やワンアクション研修の受講に関するアンケートを実施する
- ⑤ ささえあいネット登録機関へ認知症の人への対応方法に関するチラシを作成し配布する
- ⑥ 地域住民へロバ隊長マスコットの製作をはたらきかけ、完成したロバ隊長マスコットを地域住民に配布する
- ⑦ 浄水駅前マルシェやまごころフェスタにおいて認知症に関する啓発、情報発信を行う
- ⑧ 認知症カフェ「スイカフェ」を共催する

#### (成果) すべて予定通り実施

認知症の方への対応について区民会館より相談が入ったことをきっかけにステップアップ講座を開催、24名の方が受講され、認知症の知識や対応について知っていただく機会を作ることができた。ささえあいネット登録機関から通報をもらうこともあり、困った時の包括という認識が広まっている。ささえあいネットに登録している自覚をもち、認知症の方への対応に困らないようにチラシを配布し身近に対応する者として考えていただくきっかけを提供できた。地域住民に対しては浄水駅前マルシェやまごころフェスタを通じて啓発を行った。モニタリングにて、季刊誌をきっかけに消費者被害に対する意識が高まったことを確認することができた。

(2) 地域住民のニーズや課題を抱える高齢者が医療・福祉の多様な機関、専門職、地域の支援者につながる。

#### (重点事項)

- ① 民生委員の「ひまわり活動」に同行する等、一人暮らし登録者の生活状況の把握を行う
- ② 配食サービスの再アセスメントを通して、対象者全員の状況把握を行う
- ③ 自治区長や民生委員等が「支援が必要」と考える高齢者を確認し実態把握を行う
- ④ 自治区の区民会館等に相談カードとポストの設置をはたらきかけ、設置する
- ⑤ 地区内の居宅に対し、訪問やアンケート等で困難事例の聴き取り、助言を行う
- ⑥ 必要に応じて地域ケア個別会議を開催する
- ⑦ ケアマネ意見交換会を病院と共催し、医療・介護ネットワークの構築を目指す

⑧ 地域住民のニーズに即した専門関係機関へつなぎ、学びの機会を提供する

(成果) すべて予定通り実施

ひまわり活動では、96名の登録者全員を訪問や民生委員からの聴き取り等で実態把握を行った。昨年、今年と民生委員より気になる高齢者として、ひまわり活動の際に同行訪問の依頼があり、継続的に実態把握していた方を、介護保険の申請、サービス利用につなげることができた。ケアマネ意見交換会では、身寄りのない方への支援をテーマに設定、よりそい支援課、社会福祉協議会に講座を依頼し、55名の外部のケアマネと包括が参加、豊田厚生病院のMSW、在宅支援コーディネーターらを含めると計81名の方に参加いただいた。ケアマネジャーやサービス事業所、開業医やささえあいネット登録機関等の関係機関、民生委員や自治区役員、隣人などの地域支援者からの報告・相談や情報共有ができており、関係強化ができたと考える。

(3) 地域の方々が将来の在りたい姿について考え、行動できるようになる。

(重点事項)

- ① 季刊誌を活用し、人生会議やわたしのノートを地域に啓発、情報発信する
- ② 浄水駅前マルシェにおいて、健康づくりに関する啓発、情報発信を行う
- ③ まごころフェスタにおいて、防災に関する啓発、情報発信を行う
- ④ 病院やスーパーなどに行く際に利用できるバスマップを作成し、必要な方へ配布する
- ⑤ 利用者へ「浄水地区災害対策ガイド」を所持されているか確認し、無い方へ配布する
- ⑥ 自治区や民生委員等へ地区の防災訓練や防災対策の状況を情報収集する

(成果) すべて予定通り実施

バスマップを配布したことで、「外出しようと思える」という声が聞かれ外出意欲へつなぐことが出来たと考える。浄水駅前マルシェでは、健康づくりに関するチラシを15名の方に配布した。まごころフェスタでは、防災に関する啓発ポスターを掲示し、12名の方に”見たよシール”を貼っていただいた。地域住民への災害対策ガイドの再周知をきっかけに、飲料水の準備や避難場所の再確認ができ災害に対する意識づけができた。また、自治区サロンでの防災対策講座の機会を活用し、参加者へ備蓄や避難場所を確認し、防災対策の状況を把握することができた。

## 2. 令和6年度実績

(1) 相談に対する対応件数(件) ※地域包括支援センター支援システム実績

電話	訪問	来所	その他	合計(件)
6,611	1,563	627	268	9,069

(2) 介護予防支援実績

件数(件)	収入(円)	前年度比
1,026	5,094,870	107%

(3) 介護予防ケアマネジメント実績

件数(件)	収入(円)	前年度比
656	3,279,637	112.1%

(4) 会議・研修等参加実績 合計 42回

会議・研修名等(一部)・回数	
民生委員児童委員地区協議会	11回
サービス連絡調整会議	18回
地域包括支援センター連絡会議	12回
ケース検討会議(スクリーニング会議、コア会議含む)	1回
認知症初期集中支援チーム員会議	0回

5) 人材育成等計画の実績

事業区分	実施の有無
①センター職員の資質向上のための研修機会の確保	○
②センター職員と法人担当者との業務上の意見交換	○
③包括的支援事業に専念できる環境の整備	○
④3職種確保のための対応策	○
⑤そのほか法人独自の取組(任意)	○

## 16. 保健事業部 健康管理室

### 1. 令和6年度に実施した重点事項とその成果

#### 1. 健康管理センター資源の最大活用

##### ① WEB予約システムを導入

R7.2月より職員健診にてWEB予約システムを利用し予約・問診・結果配信を開始した。順次、企業や個人へも展開を広げることで業務効率化へつなげていく。

##### ② 空き枠の有効活用（閑散期対策）

閑散期対策であるJA組合員ドックについて、例年11月のみの広報（JA広報誌への折込）から、R6年度は11月と2月にも広報を拡大し、対象者も準組合員まで拡大したことで受診者数198名（前年比204%）、収入6,871,212円（前年比222%）、新規顧客も60名（JA組合員ドック受診者中30%）獲得した。

#### 2. 健康診断メニューの充実

##### ① 新規ドック（脊椎・腰痛・すい臓がん・骨粗しょう症）、新規オプション検査項目の開設

脊椎ドック18件、腰痛ドック5件、膵臓がんドック10件、骨粗しょう症ドック2件提供した。（収入1,014,200円）新規オプション検査項目としては内臓脂肪量検査、腸内フローラ検査、リウマチ検査、アレルギー検査、LOX-index、認知機能検査を開設した。

##### ② 職員健診項目の充実

R7年度からの胃透視あり健診に人間ドックを選択可能とし、夜勤者健診は項目を見直し血液検査を追加した。またオプション検査を選択して追加できる体制を構築した。

#### 3. 地域がん診療連携病院の機能発揮に繋げるがん検診の強化

##### ① 二次検診（精密検査）受診の支援拡大

従来の要精検者予約枠に加えて新規枠（心電図、脳ドック、脊椎、腰痛、すい臓がん、骨粗しょう症ドック）を増設した。脳ドックの二次検診予約は79件、脊椎／腰痛ドックは要精検者5名のうち4件を外来予約につなげることができた。

二次検診受診件数はR5年度866件からR6年度1,001件と増加した。

##### ② フォローアップ健診の充実

C判定フォローアップ健診の対象者を人間ドック受診者以外にも拡大するとともに、健診コースの検査項目内容を見直し、従来の1コースから3コースへ増設した。R7.4月より新コースでのフォローアップ健診を開始し、健康増進活動につなげていただく。

#### 4. 地域住民への情報提供

##### ① 市民公開講座、健診スクール

病院主催の市民公開講座「大腸がん・膵臓がんについて知ろう！～健康を守るためのガイド～」の講演終了後に健康管理センターにて健診に関する相談会と健診予約会を実施。膵臓がんドック3件の予約につながった。

また健康管理センター主催の健診スクールでは、骨粗鬆症とがん検診に関する2講演を企画し、講演終了後に健診相談会と4月の閑散期対策を兼ねた特別価格での健診予約会を実施した。相談会には8組が利用され、3名の予約につながった。待ち時間には血圧と骨密度測定の無料体験も実施し好評を得た。

##### ② 待ち時間を利用した情報提供

受診者が健康状態を維持・向上するために活用できる情報として、オーラルフレイル、ロコモティブシンドローム、健康寿命をのばそう、腰痛予防、認知機能低下予防、有酸素運動の計6本の動画を

リハビリテーション室と共同で作成し、健診の待ち時間に視聴できるよう放映した。

## 2. 令和6年度の実績

令和6年度の受診者総数は20,512名、総収入579,357千円（前年対比99.3%）であった。令和6年度の稼働日数は263日（前年度265日）で、1日当たりの平均受診者数は78.0名（職員健診含む）、また一日当たりの平均収入は2,203千円で、受診者一人当たりの平均単価は28,245円（前年対比94.8%）であった。各種健診別の受診者数の前年対比は人間ドック102.3%、企業健診および全国協会健保など90.4%、豊田市国保特定健診100.5%、豊田市がん検診98.7%であった。収入ベースは豊田市と企業の割合が多く、単価の高い人間ドック利用率は26.1%にとどまっているものの、受診者一人当たりの平均単価は28,245円と厚生連9施設中2番目の高さであった。

### 1. 令和6年度のがん検診の精査率

令和6年4月1日現在

	総受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
胃がん	9,967	618	6.2	459	74.3	10	0.10
肺がん	17,773	357	2.0	257	72.0	3	0.02
大腸がん	12,597	699	5.5	506	72.4	12	0.09
前立腺がん	2,133	128	6.0	75	58.6	3	0.14
子宮がん	4,577	487	9.4	370	76.0	0	0.00
乳がん	5,417	135	2.5	130	96.3	17	0.31

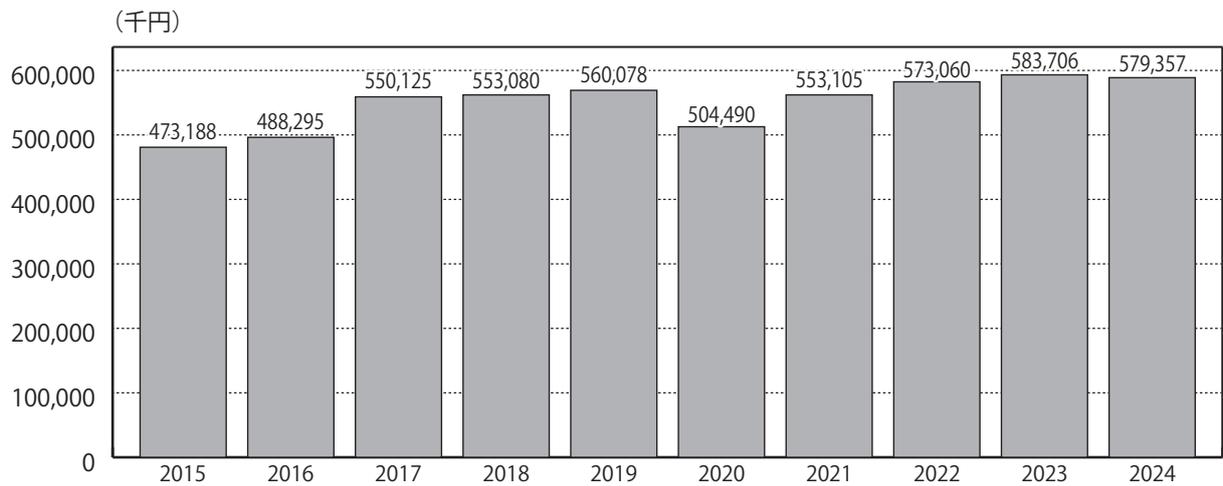
※胃がん検診で、食物残渣多量、描出不良、撮影不可等の理由にて検査未実施者は総数に含まず  
 ※各精検受診者数は、令和7年4月1日までに当健康管理室に報告されたもののみとする  
 ※精検受診率は1年遅れで集計

### 2. 健康管理室利用者数前年度比較

	令和6年度 (稼働日数263)	令和5年度 (稼働日数265)
人間ドック	4,202	4,151
JA組合員人間ドック	121	74
脳ドック	1,163	1,337
PET検診	211	163
肺ドック	312	292
レディースドック	365	390
甲状腺ドック	87	82
もの忘れドック	1	0
脊椎ドック (2024.10～)	18	－
腰痛ドック (2024.10～)	5	－
すい臓がんドック (2025.2～)	10	－
骨粗しょう症ドック (2024.12～)	2	－
豊田市国保特定健診	4,429	4,407
特定健診 (集合契約A)	541	558
保健指導 (動機付け) 協会健保/豊田市含む	344	215
保健指導 (積極的) 協会健保含む	202	233
全国協会健保 一般	1,659	1,762
〃 付加・差額	434	343
〃 乳・子宮がん	483	499
〃 肝炎	10	7
企業健診・身体検査	3,378	3,447
被爆健診	56	78

	令和6年度 (稼働日数263)	令和5年度 (稼働日数265)
職員健診	2,868	2,902
保健指導 (動機付け)	32	16
保健指導 (積極的)	12	14
豊田市がん検診 胃がん	3,113	3,419
〃 大腸がん	4,760	4,787
〃 肺がん	4,360	4,308
〃 子宮がん	1,364	1,351
〃 乳がん	1,874	1,828
〃 前立腺がん	781	797
〃 肝炎	314	283
〃 総合健診	207	227
〃 乳がん検診 (無料券)	49	40
〃 子宮がん検診 (無料券)	12	8
受診者数 (職員健診含む)	20,512	20,534
収益 (円)	579,357,166	583,705,653

### 3. 健康管理室 過去10年収益推移





## III 職員活動

---



# 1. 研究業績

## 緩和ケア内科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	終末期に植え込み型除細動（ICD）機能の停止を検討した重症心不全担癌患者の共同意思決定支援	村松雅人	窪田龍二、金子鎮二、西村大作 小島康裕、酒井博生、山口真和 新保暁子、西村栄輝、近藤有 安居 円、蕨野久美子、渡邊周一 眞野 香、加藤史哲	第29回日本緩和医療学会 学会術大会	6月15日
2	排尿障害を伴った直腸がん再発による旧肛門部痛に神経ブロック施行を熟慮した1症例	小島康裕	酒井博生、村松雅人	第29回日本緩和医療学会 学会術大会	6月15日

### 著書・論文

	題名	著者・発表者及び共同研究者	署名・雑誌名
1	Type 2 Diabetes and Hypertension as Risk Factors for Advanced Fibrosis in Biopsy Proven Metabolic Dysfunction-Associated Steatotic Liver Disease	Yosuke Inukai, Takanori Ito, Shinya Yokoyama, Kenta Yamamoto, Norihiro Imai, Yoji Ishizu, Takashi Honda, Tatsuji Shimizu, Masashi Hattori, Tomoaki Takeyama, Yusuke Ando, Takahiro Nishikawa, Kiyoshi Morita, Hidenori Toyoda, Masatoshi Ishigami, Hiroki Kawashima	Journal of Digestive Diseases Volume 25, Issue 11-12 p. 685-693
2	ALBI score predicts morphological changes in esophageal varices following direct-acting antiviral-induced sustained virological response in patients with liver cirrhosis	Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Chisa Kondo, Hidenori Toyoda, Koichi Takaguchi, Makoto Nakamuta, Tsunamasawa Watanabe, Asahiro Morishita, Joji Tani, Hironao Okubo, Atsushi Hiraoka, Akito Nozaki, Makoto Chuma, Kazuhito Kawata, Haruki Uojima, Chikara Ogawa, Toru Asano, Shigeru Mikami, Keizo Kato, Kentaro Matsuura, Tadashi Ikegami, Toru Ishikawa, Kunihiko Tsuji, Toshifumi Tada, Akemi Tsutsui, Tomonori Senoh, Michika Kitamura, Tomomi Okubo, Taeang Arai, Motoyuki Kohjima, Kiyoshi Morita, Takehiro Akahane, Hiroki Nishikawa, Motoh Iwasa, Yasuhito Tanaka & Katsuhiko Iwakiri	J Gastroenterol. 2024 Aug;59(8):709-718. doi: 10.1007/s00535-024-02109-8. Epub 2024 May 10

### 会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	村松雅人	地域で支える！がん疼痛治療連携セミナー	8月21日

## 血液内科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	NovelSERPINC1 mutation in a Brazilian patient with sudden-onset sagittal sinus thrombosis caused by congenital antithrombin deficiency	平賀潤二	原田靖彦、鈴木奈瑠子、 タムラショウゴ、 スズキノブアキ	European Journal of Medical and Health Sciences	誌上発表
2	3番染色体逆位を認めた骨髄異形成症候群患者に対する遺伝カウンセリング	平賀潤二	寺島浩史、原田靖彦	第13回日本血液学東海 地方会	6月9日
3	抗C5抗体不応性発作性夜間ヘモグロビン尿症に対しPegcetacoplanにて得られた有効な溶血抑制効果	伊藤怜花	原田靖彦、寺島浩史、平賀潤二	第13回日本血液学会東 海地方会	6月9日
4	ブラジル出身の先天性アンチトロンビン欠乏症患者に対する遺伝カウンセリング	平賀潤二	原田靖彦、鈴木奈瑠子、田村彰吾 鈴木伸明	第48回日本遺伝カウ ンセリング学会学術集 会	8月2日

5	B細胞リンパ腫におけるCD20抗体治療薬使用後のCD20陰性化の多様性		藤田医科大学血液内科 楫屋良子、他 豊田厚生病院血液内科 平賀潤二	第86回日本血液学会学術集会	10月11日
6	70歳以上の多発性骨髄腫に対する高齢者機能評価	鈴木奈瑠子	伊藤怜花、藤井智基、原田靖彦 平賀潤二	第86回日本血液学会学術集会	10月12日
7	血液内科医のいない病院との化学療法における病診連携	平賀潤二	藤井智基、鈴木奈瑠子、原田靖彦 中王子美保、間瀬 悟	第86回日本血液学会学術集会	10月13日
8	Kアミロイドーシスおよび好酸球増加症を伴う極めて稀な多発性骨髄腫における診断の困難	原田靖彦	渡邊絢史、齋藤絢恵、伊藤怜花 寺島浩史、鈴木奈瑠子、倉田久嗣 山下依子、平賀潤二	第86回日本血液学会学術集会	10月13日
9	第86回日本血液学会学術集会	伊藤怜花	藤井智基、鈴木奈瑠子、原田靖彦 平賀潤二	第86回日本血液学会学術集会	10月13日
10	AYA世代の血液悪性腫瘍患者における妊孕性の検討	平賀潤二	藤井智基、鈴木奈瑠子、原田靖彦	第22回日本臨床腫瘍学会学術集会	3月6日
11	免疫チェックポイント治療中に当院で認めた希な血液学的合併症	原田靖彦	平賀潤二、藤井智基、鈴木奈瑠子 伊藤怜花	第22回日本臨床腫瘍学会学術集会	3月8日

会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	原田靖彦	第13回日本血液学会東海地方会一般演題セッションB-II	6月9日
2	座長	平賀潤二	第253回日本内科学会東海地方会血液3	6月30日
3	座長	平賀潤二	第254回日本内科学会東海地方会血液2	10月6日

著書・論文

	題名	著者・発表者及び共同研究者	署名・雑誌名
1	Novel SERPINC 1 Mutation in a Brazilian Patient with Sudden-onset Sagittal Sinus Thrombosis Caused by Congenital Antithrombin Deficiency	Junji Hiraga, Yasuhiko Harada, Naruko Suzuki, Shogo Tamura, and Nobuaki Suzuki.	European Journal of Medical and Health Sciences, Vol 6, Issu 5, October 2024, ISSN 2593-8339.
2	Treatments and outcomes of newly diagnosed CD 5 -positive diffuse large B-cell lymphoma: a multi-institutional observational study.	Yuma Nato, Kana Miyazaki, . . . Junji Hiraga, et al.	Hematological Oncology, 2025; 43: e70047.

呼吸器内科

学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	当院における I-II 期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療症例の検討	伊東幸祐	指尾豊和、須川輝祥、林かずみ 柴田寛史、中原義夫、谷川吉政	第64回日本呼吸学会学術講演会	4月6日
2	セボフルラン吸入が著効した重症喘息の1例	鈴木日向	指尾豊和、中原義夫、柴田寛史 林かずみ、南谷友香、伊東幸祐	日本呼吸器学会東海地方会	6月9日
3	Cushing症候群を発症しホルモン管理に難渋した異所性 ACTH産生小細胞肺癌の1例	鈴木日向	伊東幸祐、南谷有香、柴田寛史 中原義夫、関本ちひろ	第126回日本呼吸器学会東海地方会	10月5日

講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	Lung Cancer Web Seminar 肺癌に対するエンハーツの使用経験	中原義夫	第一三共株式会社	1月23日



## 会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	中原義夫	豊田加茂NTM症講演会	1月29日
2	座長	中原義夫	Mikawa LC meeting 2025	3月17日
3	座長	中原義夫	第4回豊田肺癌セミナー	11月12日
4	座長	中原義夫	Comfortable Meeting	10月4日
5	座長	中原義夫	第3回豊田肺癌セミナー	5月17日
6	座長	中原義夫	Lung Cancer Seminar in TOYOTA	8月2日
7	座長	中原義夫	Lung Cancer Seminar in TOYOTA	5月21日

## 著書・論文

	題名	著者・発表者及び共同研究者	署名・雑誌名
1	Thyroid autoantibodies at baseline predict longer survival in non-small cell lung cancer patients treated with anti-programmed cell death-1 blockade: a prospective study.	Takayuki Okuji, Shintaro Iwama, Tomoko Kobayashi, Yoshinori Yasuda, Masaaki Ito, Ayana Yamagami, Masahiko Ando, Tetsunari Hase, Hirofumi Shibata, Takahiro Hatta, Xin Zhou, Takeshi Onoue, Yohei Kawaguchi, Takashi Miyata, Mariko Sugiyama, Daisuke Hagiwara, Hidetaka Suga, Ryoichi Banno, Yuichi Ando, Naozumi Hashimoto and Hiroshi Arima.	Nagoya J. Med. Sci. 86. 452-463, 2024 doi:10.18999/nagjms.86.3.452

## 循環器内科

## 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	側枝保護に工夫を要した完全閉塞病変	羽賀智明	佐藤佑城、米山千里、井関彰太、岩田恵輔、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、豊 陽祐、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第50回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会	4月27日
2	CEAgraftを介したretrograde approachを用いたRCACTOPCIの一例 The case of PCI for RCA CTO with retrograde approach via CEA graft	豊 陽祐	佐藤佑城、米山千里、井関彰太、岩田恵輔、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、羽賀智明、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	TOPIC2024	7月11日
3	LMT true bifurcationの高度石灰化病変に対してRotational atherectomyにて血行再建に成功した一例	佐藤佑城	羽賀智明、米山千里、岩田恵輔、井関彰太、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、豊 陽祐、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	TOPIC2024	7月11日
4	Rotablator使用後に冠動脈解離を生じた左回旋枝石灰化病変の1例	窪田龍二	大垣内琢也、桐谷元樹、早川 輝、岡本峻幸、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、羽賀智明、豊 陽祐、藤田雅也、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	TOPIC2024	7月11日
5	「デバイス通過困難であった高度石灰化を伴うLAD CTOの一例」	羽賀智明	豊 陽祐、窪田龍二	TOPIC2024	7月12日
6	A CASE OF EFFICACY OF A-ATP FOR ATRIAL TACHYCARDIA OBSERVED AFTER CATHETER ABLATION CONFIRMED BY INTRACARDIAC ELECTROCARDIOGRAPHY	中込敏文		第70回日本不整脈心電学会学術大会	7月18日

7	The Achievement rate of Simultaneous isolation in BOX Isolation	佐橋智博	金子鎮二、佐藤佑城、米山千里、井関彰太、岩田恵輔、櫻井礼子、堀 仁美、中込敏文、晷 陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第70回日本不整脈心電学会学術大会	7月19日
8	Elastic atrial septum might make laser balloon ablation difficult	櫻井礼子	金子鎮二、中込敏文、羽賀智明、晷 陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第70回日本不整脈心電学会学術大会	7月20日
9	「Comparison of the injection resistance of multiple microcatheters」	羽賀智明	大垣内琢也、桐谷元樹、櫻井礼子、堀 仁美、中込敏文、晷 陽祐、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	7月25日
10	GEAgraftを介したretrograde approachを用いたRCA CTO PCIの一例	晷 陽祐	佐藤佑城、米山千里、井関彰太、岩田恵輔、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、羽賀智明、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	7月25日
11	Optimal clinical inertia in LDL-C lowering therapy in patients with acute myocardial infarction.	窪田龍二	大垣内琢也、桐谷元樹、早川 輝、岡本峻幸、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、羽賀智明、晷 陽祐、藤田雅也、大橋大器、金子鎮二、篠田政典	CVIT2024	7月25日
12	労作時息切れの原因と考えられた多発性心房性期外収縮に対してカテーテルアブレーションが奏功した1例	中込敏文		カテーテルアブレーション関連秋季大会2024	10月10日
13	10年以上の長期持続性心房細動に対するLSPV以外を左房側通電のBOX隔離の治療成績	金子鎮二		カテーテルアブレーション関連秋季大会2024	10月11日
14	LVP carina前面のepicardial connectionが疑われた持続性心房細動の一例	佐藤佑城	中込敏文、金子鎮二、米山千里、岩田恵輔、井関彰太、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、羽賀智明、晷 陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	カテーテルアブレーション関連秋季大会2024	10月11日
15	肺動脈内でのエントリー回路が形成され間欠的に左房に伝導し心房細動をきたした症例	米山千里	金子鎮二、佐藤佑城、岩田恵輔、井関彰太、櫻井礼子、佐橋智博、中込敏文、堀 仁美、羽賀智明、晷 陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	カテーテルアブレーション関連秋季大会2024	10月11日
16	左上大静脈遺残と左房の接合部を焼灼した結果停止した心房細動、心房頻拍の1例	佐橋智博	金子鎮二、佐藤佑城、岩田恵輔、井関彰太、米山千里、櫻井礼子、中込敏文、堀 仁美、羽賀智明、晷 陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	カテーテルアブレーション関連秋季大会2024	10月11日
17	LMT true bifurcationの高度石灰化病変に対してRotational atherectomyにて血行再建に成功した一例	佐藤佑城	羽賀智明、米山千里、岩田恵輔、井関彰太、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、晷 陽祐、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	CVIT2024東海北陸地方会	10月19日
18	複数のMicrocatheterの造影剤注入速度・吸引抵抗の比較検討	羽賀智明	米山千里、佐藤佑城、岩田恵輔、井関彰太、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、晷 陽祐、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	CVIT2024東海北陸地方会	10月19日
19	A Case of LAD CTO with severe calcification which was difficult to pass the devices	羽賀智明		CCT2024	10月26日



20	THV留置後に冠動脈閉塞を合併した一例	櫻井礼子	篠田政典、金子鎮二、窪田龍二、大橋大器、暁陽祐、羽賀智明、中込敏文、佐橋智博、岩田恵輔、井関彰太、米山千里、佐藤佑城	ARIA2024	11月21日
21	脊髄刺激電極植込み症例にICD植込みを必要とした一例	金子鎮二		第17回植込みデバイス関東冬季大会	2月21日
22	The impact of Closed Loop Stimulation on Heart Rate Score And Atrial Fibrillation Burden	佐橋智博	中込敏文、金子鎮二、佐藤佑城、米山千里、岩田恵輔、井関彰太、櫻井礼子、堀仁美、羽賀智明、暁陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第89回日本循環器学会学術集会	3月28日
23	Strong Bending Angles at Target Vessel might Increase the Risk of Injury of Media Caused by Orbital Atherectomy System	櫻井礼子	羽賀智明、米山千里、佐藤佑城、岩田恵輔、佐橋智博、堀仁美、中込敏文、暁陽祐、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第89回日本循環器学会学術集会	3月29日
24	After Catheter Ablation of Atrial Fibrillation A Comparative Study of Very Late Recurrence vs. Recurrence within 5 Years	岩田恵輔	金子鎮二、佐藤佑城、米山千里、井関彰太、櫻井礼子、佐橋智博、堀仁美、中込敏文、羽賀智明、暁陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第89回日本循環器学会学術集会	3月29日
25	Analysis of recurrent cases after single ring box isolation for atrial fibrillation	米山千里	中込敏文、金子鎮二、佐藤佑城、岩田恵輔、井関彰太、櫻井礼子、佐橋智博、堀仁美、羽賀智明、暁陽祐、大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第89回日本循環器学会学術集会	3月29日
26	豊田厚生病院における心不全地域医療連携バスの現状	窪田龍二		第28回日本心不全学会学術集会	10月6日

## 消化器内科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	潰瘍性大腸炎に対する寛解維持期におけるJAK阻害薬間スイッチの治療成績	内田元太	近藤大也、古根 聡、高士ひとみ、竹内淳史、森田 清、都築智之	JDDW2024	10月31日
2	ダブルバルーン小腸内視鏡を用いた内視鏡的粘膜切除術により治癒し得た小腸血管腫の2例	牧野良祐	内田元太、石川大貴、木村侑樹、近藤大也、古根 聡、高士ひとみ、竹内淳史、森田 清、都築智之	第67回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	11月30日

### 著書・論文

	署名・雑誌名	著者・発表者及び共同研究者	署名・雑誌名
1	Type 2 Diabetes and Hypertension as Risk Factors for Advanced Fibrosis in Biopsy Proven Metabolic Dysfunction-Associated Steatotic Liver Disease	Yosuke Inukai, Takanori Ito, Shinya Yokoyama, Kenta Yamamoto, Norihiro Imai, Yoji Ishizu, Takashi Honda, Tatsuji Shimizu, Masashi Hattori, Tomoaki Takeyama, Yusuke Ando, Takahiro Nishikawa, Kiyoshi Morita, Hidenori Toyoda, Masatoshi Ishigami, Hiroki Kawashima	Journal of Digestive Diseases Volume 25, Issue 11-12 p. 685-693
2	ALBI score predicts morphological changes in esophageal varices following direct-acting antiviral-induced sustained virological response in patients with liver cirrhosis	Masanori Atsukawa, Akihito Tsubota, Chisa Kondo, Hidenori Toyoda, Koichi Takaguchi, Makoto Nakamuta, Tsunamasu Watanabe, Asahiro Morishita, Joji Tani, Hironao Okubo, Atsushi Hiraoka, Akito Nozaki, Makoto Chuma, Kazuhito Kawata, Haruki Uojima, Chikara Ogawa, Toru Asano, Shigeru Mikami, Keizo Kato, Kentaro Matsuura, Tadashi Ikegami, Toru Ishikawa, Kunihiko Tsuji, Toshifumi Tada, Akemi Tsutsui, Tomonori Senoh, Michika Kitamura, Tomomi Okubo, Taeang Arai, Motoyuki Kohjima, Kiyoshi Morita, Takehiro Akahane, Hiroki Nishikawa, Motoh Iwasa, Yasuhito Tanaka & Katsuhiko Iwakiri	J Gastroenterol. 2024 Aug;59(8):709-718. doi: 10.1007/s00535-024-02109-8. Epub 2024 May 10

## 小児科

## 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	カルバミルリン酸合成酵素1 (CPS1) 欠損症の2例	梶田光春		第23回三機関合同障がい児医療・療育に関する勉強会	6月13日
2	前日より右目が開かないため紹介された日齢25の女児	生駒雅信	梶田光春、武田将典、渡邊 亨	第76回豊田加茂小児科医会例会	7月20日
3	出生時に性別判断に迷った1例 (性分化疾患)	梶田光春	武田将典、生駒雅信	第76回豊田加茂小児科医会例会	7月20日
4	幼児期と思春期発症の全身型重症筋無力症の2例	梶田光春		第60回日本小児神経学会東海地方会	7月27日
5	幼児期と思春期発症の全身型重症筋無力症の2例	梶田光春		第59回中部日本小児科学会	8月18日
6	新生児スクリーニング検査～どんな病気を調べているの?～	梶田光春		第24回三機関合同勉強会	12月12日
7	右足痛を伴うサルモネラ菌血症の12才男児例 (サルモネラ骨髄炎)	梶田光春	武田将典、生駒雅信	第77回豊田加茂小児科医会例会	2月22日
8	脊柱矯正固定術後に発症した上腸間膜動脈症候群の3例	生駒雅信	梶田光春、武田将典、竹内敦史、辻 太一	第77回豊田加茂小児科医会例会	2月22日

## 腎臓内科

## 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	後天性血栓性血小板減少性紫斑病に対し血漿交換療法に加えカプラシズマブを使用した一例	小林優大	吉岡知輝	第69回日本透析医学会学術集会・総会	6月7日
2	導尿では診断できなかった維持血液透析患者における膀胱膿症の1例	渡邊絢史	山田拓弥、斎藤絢恵、神田亜希子、吉岡知輝、倉田久嗣	第69回日本透析医学会学術集会・総会	6月7日
3	大量メトトレキサート療法後の急性腎障害に対し、血液透析及び血液吸着を併用した一例	須川耀祥	渡邊絢史、山田拓弥、斎藤絢恵、神田亜希子、吉岡知輝、倉田久嗣	第69回日本透析医学会学術集会・総会	6月9日
4	横紋筋融解症を伴う急性尿細管壊死 (ATN) 回復期に高Ca血症を生じた一例	小林優大	渡邊絢史、須川耀祥、斎藤絢恵、武田有記、吉岡知輝、倉田久嗣	第54回日本腎臓学会西部学術大会	10月5日
5	肝右葉切除後の残肝dislocationによる下大動脈狭窄を原因とした腎うっ血の一例	須川耀祥	渡邊絢史	第54回日本腎臓学会西部学術大会	10月6日

## 講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	CKD連携を考える会 「CKD早期治療の重要性 CKD連携パス体制」	倉田久嗣・吉岡知輝	豊田加茂医師会/協和発酵キリン株式会社共催	7月10日

## 会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	倉田久嗣	心腎関連Networkセミナー in 西三河	8月7日
2	座長	倉田久嗣	豊田加茂IMAGINE Project連携講演会	10月16日
3	座長	倉田久嗣	多職種連携で考えるCKD治療Webセミナー	3月13日



## 総合内科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	嚥下障害をとおして内科医が学ぶべきこと	渡口賢隆		日本内科学会専門医部会主催懇親会	4月13日
2	誤嚥性肺炎で入院した救急搬送患者の在日日数に影響する因子について	西本泰浩	渡口賢隆、加藤誓子、伊藤怜花 山田崇義	第121回日本内科学会講演会	4月13日
3	環境変化に対する心因反応から生じた嚥下時貝咳嗽に対し半夏厚朴湯が著効した一例	渡口賢隆		第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	8月30日
4	Down regulation of CD22 and CD19 in acute lymphoblastic leukemia after antibody treatment.	伊藤怜花	藤井智基、鈴木奈瑠子、原田靖彦 平賀潤二	第86回日本血液学会学術集会	10月13日
5	多発蜂刺傷によるアナフィラキシーショックに末梢性顔面神経麻痺を含む多臓器障害を合併した1例	渡口賢隆	牧野良祐、本郷香織、伊藤怜花 加藤誓子、西本泰浩	第73回日本農村医学会学術総会	10月14日
6	自院の救急搬送データを利用した症例別ERマニュアル作成	西本泰浩	竹村元太、中島成隆	第52回日本救急医学会総会・学術集会	10月15日

### 著書・論文

	題名	著者・発表者及び共同研究者	署名・雑誌名
1	Surgical antimicrobial prophylaxis in Japanese hospitals: Real status and challenges.	Hiroshi Morioka, Yusuke Koizumi, Toshitaka Watariguchi, Keisuke Oka, Yuka Tomita, Yumi Kojima, Masami Okudaira, Yuji Ito, Junichi Shimizu, Koichi Watamoto, Hiroki Kato, Masatoshi Nagaoka, Manabu Yokota, Chihiro Hasegawa, Takeshi Tsuji, Shinsuke Shimizu, Kenta Ito, Shohei Kawasaki, Kenji Akita, Yuichi Kitagawa, Yoshikazu Mutoh, Masamitsu Ishihara, Susumu Iwata, Yasuhiro Nozaki, Masanori Nozawa, Munehiro Kato, Masao Katayama, Tetsuya Yagi	Journal of Infection and Chemotherapy, Volume 30, Issue 7, 2024, Pages 626-632.

## 内科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	イソニアジド髄腔内投与、腰部膿瘍ドレナージ術などの集学的治療で改善を得た結核性髄膜炎の1例	加納夏実	池田昇平、橋本明香里、松波亜佐子 糸見百合子、佐藤萌美、武重万里子 高橋美江、富田 稔、服部直樹	第28回日本神経感染症学会総会・学術大会	10月12日
2	抗LGI1抗体陽性辺縁系脳炎3例の臨床検討	足立涼輔	橋本明香里、松波亜佐子、稲垣祐美 糸見百合子、佐藤萌美、武重万里子 高橋美江、池田昇平、富田 稔 服部直樹	第42回日本神経治療学会学術集会	11月9日

## 内分泌内科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	オシドロスタットの投与量に難渋した異所性ACTH症候群疑いの一例	関本ちひろ	鈴木亮大、村瀬萌絵、澤井喜邦	第34回臨床内分泌代謝update	11月29日

## 脳神経内科

## 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	救急外来で脳波測定を行い早期診断・治療ができた非けいれん性てんかん重積状態1症例	稲垣祐美	伊藤雅也、糸見百合子(平 知之、加藤隼康、加藤博子、杉浦 真、川上 治)	第38回日本神経救急学会学術集会	6月15日
2	スエヒロタケschizophyllum communeによる真菌性髄膜炎の一例	稲垣祐美	池田昇平、高橋美江、服部直樹、富田 稔、福島大喜	第28回日本神経感染症学会総会・学術大会	10月12日
3	免疫チェックポイント阻害剤は抗AChR抗体の無症候陽性例に重症筋無力症を誘発するか-当院での検討-	池田昇平	橋本明香里、松波亜佐子、糸見百合子、佐藤萌美、高橋美江、富田 稔、服部直樹	第73回日本農村医学会学術総会	10月14日
4	難治性けいれん発作を来した免疫治療反応性良好であった抗GABA受容体抗体、抗GAD抗体陽性の自己免疫性脳炎	橋本明香里	松波亜佐子、佐藤萌美、高橋美江、富田 稔、服部直樹	第170回日本神経学会東海北陸地方会	11月16日
5	当院における認知症地域医療連携パスの現状	池田昇平	橋本明香里、松波亜佐子、糸見百合子、佐藤萌美、高橋美江、富田 稔、服部直樹	第43回日本認知症学会学術集会	11月22日
6	炎症性腸疾患に合併した脳静脈洞血栓症の1例	足立涼輔	橋本明香里、松波亜佐子、糸見百合子、佐藤萌美、池田昇平、高橋美江、富田 稔、服部直樹	第171回日本神経学会東海北陸地方会	3月1日
7	Microglia in Multi-Modal Sensory Integration in Higher Visual Areas	橋本明香里		第130回日本解剖学会、第102回日本生理学会、第98回日本薬理学会合同大会	3月17日

## 形成外科

## 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	人工物による乳房増大術術後合併症の経験	石塚直太	川端明子、今井弘恵、松山怜奈	第58回中部形成外科学会学術集会	7月20日
2	更年期女性における眼瞼下垂手術後合併症の2例	川端明子	石塚直太、松山怜奈	第81回東海形成外科学会	10月12日
3	両眼瞼下垂に対する腱膜固定後に重症筋無力症が判明した1例	吉田怜奈	石塚直太、川端明子	第82回東海形成外科学会	2月8日

## 外科

## 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	胃全摘後の空腸パウチの有用性について～当院単一施設での長期結果観察～	久留宮康浩		第124回日本外科学会定期学術集会	4月18日
2	金属ステント (SEMS) 留置後の閉塞性大腸癌に対する短期成績向上のための取組み-CROSSによる術前減圧効果判定の可能性-	山口真和	久留宮康浩、水野敬輔、菅原 元、井上昌也、秋田直宏、南 貴之、等々力広菜、岩田侑也、石田航大、小池愛理子	第124回日本外科学会定期学術集会	4月20日
3	当院における瘻切除術後遅発性出血への治療経験	藤澤建太	水野敬輔、秋田直宏、等々力広菜、小池愛理子	第52回日本血管外科学会学術集会	5月29日



4	当院におけるDrug-coated balloonによる短期治療成績の検討	等々力広業	水野敬輔、秋田直宏、小池愛理子 藤澤建太	第52回日本血管外科学会学術集会	5月29日
5	当院における医原性血管損傷23件の検討	小池愛理子	水野敬輔、秋田直宏、等々力広業 藤澤建太	第52回日本血管外科学会学術集会	5月30日
6	腹部大動脈瘤に対してEVAR後に瘤径縮小傾向であったが大動脈十二指腸瘻を発症した1手術例	田中雅人	田畑光紀、佐伯悟三（前病院※ 安城更生病院医師）	第52回日本血管外科学会学術集会	5月31日
7	Cholangiolocellular Carcinoma with Ductal Plate Malformation Pattern: 6-Year Follow-up	牛田雄太	菅原 元、南 貴之	第36回日本肝胆膵外科学会・学術集会	6月28日
8	障害に対する高気圧酸素治療の現状	菅原 元	世古口英、金子鎮二、谷川祐樹 西山和芳、兵藤好行	第58回日本高気圧潜水医学会学術集会	6月29日
9	術前化学療法のメリット-治療前NO症例には多くの場合で腋窩郭清を省略できる-	久留宮康浩	丹羽多恵、加藤真由子、世古口英 加藤健宏、権田紘丈	第32回日本乳癌学会学術総会	7月11日
10	乳腺内に発生したMucoepidermoid carcinomaの1例	加藤真由子	久留宮康浩、丹羽多恵、世古口英 加藤健宏、権田紘丈	第32回日本乳癌学会学術総会	7月11日
11	盲腸捻転に対し腹腔鏡下回盲部切除術を施行した1例	藤澤建太	浜辺健太、久留宮康浩、世古口英 菅原 元、井上昌也、加藤健宏 南 貴之、牛田雄太、権田紘丈 山口真和、田中雅人、 等々力広業、加藤真由子、 石田航大、市野貴大	第62回愛知臨床外科学会学術集会	7月15日
12	胆膵腫瘍のゲノム診断検査からみる新規治療の展望	牛田雄太	栗本景介	第79回日本消化器外科学会総会	7月19日
13	乳房に発生した螺旋腺腫の1例	権田紘丈	久留宮康浩、世古口英、加藤健宏 加藤真由子、丹羽多恵、 大西 桜	第21回日本乳癌学会中部地方会	9月8日
14	減黄不良により準緊急的に臍頭十二指腸切除を施行した十二指腸癌の1例	菅原 元	田中雅人、石田航大	第16回日本Acute Care Surgery学会学術集会	9月27日
15	膵神経内分泌腫瘍と付随する食道穿孔、胃十二指腸多発潰瘍、空腸穿孔に対してOncologyemergencyを含め3期的に切除を行った一例	石田航大	菅原 元、田中雅人	第16回日本Acute Care Surgery学会学術集会	9月27日
16	感染性被包化膵壊死に対して体空鏡・内視鏡併用ドレナージを施行した1例	田中雅人	石田航大、菅原 元	第16回日本Acute Care Surgery学会学術集会	9月27日
17	IABP留置後に、結腸壊死、肝梗塞、膵梗塞をきたしたコレステロール塞栓症の一例	石田航大	久留宮康浩、世古口英、加藤健宏 菅原 元、井上昌也、南 貴之 権田紘丈、山口真和、中根有登	第32回日本消化器関連学会週間JDDW2024	11月2日
18	下部消化管穿孔における切除吻合とハルトマン手術の比較検討	前畑昂洋	宇治誠人、李野泰司、松原秀雄 三浦泰智、伊藤量吾、青木優大 石川紘史	第86回日本臨床外科学会総会	11月21日
19	当院における進行再発胃癌1次治療におけるNivolumabの治療成績	久留宮康浩	菅原 元、井上昌也、加藤健宏 南 貴之、牛田雄太、権田紘丈 山口真和、等々力広業、加藤真由子 石田航大、藤澤建太、市野貴大	第86回日本臨床外科学会総会	11月22日
20	腹腔鏡下手術による胆嚢癌肝転移の治療：長期無再発生存の一例	牛田雄太	菅原 元、南 貴之	第37回日本内視鏡外科学会総会	12月5日
21	Rectopexyを施行した3例	加藤健宏	久留宮康浩、世古口英、井上昌也 南 貴之、権田紘丈、山口真和	第37回日本内視鏡外科学会総会	12月6日
22	当院におけるG2以上の急性胆嚢炎の治療成績	久留宮康浩	世古口英、井上昌也、加藤健宏 南 貴之、権田紘丈、山口真和 中根有登	第37回日本内視鏡外科学会総会	12月7日

23	Robotic sacrocolpopexy with ventral rectopexyを施行した3例	加藤健宏	久留宮康浩、水野敬輔、世古口英、菅原 元、井上昌也、秋田直宏、牛田雄太、権田紘丈、山口真和、田中雅人、加藤真由子、石田航大、市野貴大、藤澤健太	第17回日本ロボット外科学会	3月7日
24	根治切除後に単発肝転移を来した胃神経内分泌癌（NEC）の1例	山口真和	世古口英	第97回日本胃癌学会	3月14日

## 呼吸器外科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	局在同定が困難な末梢小型肺結節手術における低侵襲CTガイド下マーキング法の有用性 ～どの施設でも安全・簡便・正確に行える局在診断補助法	伊藤俊成	岡阪敏樹、石谷紗希、秋葉嘉将	第124回日本外科学会定期学術集会	4月20日
2	神経線維腫症1型に合併した肋間動脈破裂に伴う大量血胸の2手術例	石谷紗希	岡阪敏樹、伊藤俊成、秋葉嘉将	第41回日本呼吸器外科学会学術集会	5月31日
3	COVID-19感染を契機に発症し外科的肺生検で診断し得た肺浸潤を伴う悪性リンパ腫の1例	秋葉嘉将	石谷紗希、伊藤俊成、岡阪敏樹	第41回日本呼吸器外科学会学術集会	5月31日
4	新型コロナウイルス感染症は肺癌医療に何をもたらしたか？ ～未曾有の災禍が明らかにした検診の重要性～	岡阪敏樹	秋葉嘉将、石谷紗希、伊藤俊成	第65回日本肺癌学会学術集会	11月1日
5	当院における肺癌肺転移切除例の検討	伊藤俊成	秋葉嘉将、岩田侑也、岡阪敏樹	第65回日本肺癌学会学術集会	11月1日
6	MRIで術前診断し得た縦隔リンパ管腫の1例	秋葉嘉将	岩田侑也、伊藤俊成、岡阪敏樹	第126回日本肺癌学会中部支部学術集会	2月8日

### 著書・論文

	題名	著者・発表者及び共同研究者	署名・雑誌名
1	Successful Surgical Intervention for Purulent Pericarditis Caused by Klebsiella pneumoniae Perforating into the Thoracic Cavity: A Case Report.	Toshinari Ito, Yoshimasa Akiba, Saki Ishiya, Toshiki Okasaka	Cureus. 2025 Feb 25;17(2): e79625

## 産婦人科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	子宮頸癌に対し、放射線治療、ペバシズマブ治療後に瘻孔形成、膀胱破裂を発生し、治療に難渋した一例	新城加奈子	田中梨紗子、堂山 瑤、神谷知都世、新保暁子、針山由美	第66回日本婦人科腫瘍学会	7月19日
2	腹腔鏡下膣式子宮全摘術における尿管同定法の変更とその効果	神谷知都世	鈴木杏奈、前野有美、宗宮絢帆、新保暁子、新城加奈子、針山由美	第64回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	9月13日
3	嚢胞性子宮腺筋症の破裂による子宮内腔への穿刺と腹腔内出血に対して内視鏡的に修復した一例	新保暁子	鈴木杏奈、前野有美、宗宮絢帆、神谷知都世、新城加奈子、針山由美	第64回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会	9月13日
4	産婦人科内視鏡手術における自己フィブリン糊の活用	針山由美		第37回日本内視鏡外科学会総会	12月6日



## 歯科口腔外科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	先天性第Ⅶ因子欠乏症の高齢患者に対する抜歯経験	澤木 廉	川口拓朗、齋藤昌樹	日本口腔科学会雑誌	誌上発表
2	小児の舌に生じた外傷性神経腫の1例	澤木 廉	兼子隆次、河合孝真、末次晃宗	日本口腔外科学会中部支部学術集会	6月22日
3	豊田厚生病院歯科口腔外科における10年間の顎矯正手術の臨床的検討	河合孝真	澤木 廉	第34回日本顎変形症学会総会・学術集会	6月28日
4	当院が関わったファブリー病症例-第2報-	兼子隆次	河合孝真、澤木 廉	第78回NPO法人日本口腔外科学会学術集会	7月20日
5	認知症を有する高齢者が異物を誤飲した2例	末次晃宗	河合孝真、澤木 廉、兼子隆次	第67回NPO法人日本口腔科学会中部地方部会	10月13日
6	広範囲顎骨支持型装置を用いて再建を図った口腔癌症例の検討	兼子隆次	河合孝真、澤木 廉、末次晃宗	第73回日本農村医学会学術総会	10月14日
7	心肺停止から蘇生後に観血的整復固定術を施行し得た下顎骨骨折の1例	河合孝真	兼子隆次、末次晃宗、鳴神晶子 澤木 廉	第69回日本口腔外科学会総会・学術集会	11月24日
8	集学的治療を行った口腔癌の再建に広範囲顎骨支持型装置を用いた症例	兼子隆次	澤木 廉、河合孝真	第28回日本顎顔面インプラント学会	11月30日
9	口腔癌治療におけるカンサーボードの活動について	河合孝真	兼子隆次、澤木 廉	第43回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会	2月28日

## 耳鼻咽喉科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	口蓋扁桃摘出後の小児における長期の成長変化についての検討	森 浩紀	澤部 倫、有馬菜千枝、江崎伸一 岩崎真一	第186回東海地方部会連合講演会	12月15日
2	多重閉塞術を用いた嗅裂部突発性髄液鼻漏の1例	杉田周平	讃岐徹治、澤部 倫、遠山佐喜恵 森 浩紀、三田直弥、岩崎真一	第34回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	1月31日

## 心臓外科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	Delayed cardiac tamponade caused by erosion 5 years after percutaneous closure of atrial septal defect with Figulla Flex II	佐久本一樹	荒木善盛、野田美香、小林明裕 川口 鎮	Journal of Surgical Case Reports	誌上発表
2	心タンポナーデで発症した胸部大動脈破裂の1手術例	野田美香		第124回日本外科学会定期学術集会	4月19日
3	Figulla Flex IIによる心房中隔閉鎖術後5年目に、erosionによる心タンポナーデを発症し緊急手術を必要とした1例	佐久本一樹	荒木善盛、野田美香、小林明裕 川口 鎮	第67回関西胸部外科学会学術集会	6月13日
4	急性心筋梗塞も合併した乳頭筋断裂による僧帽弁閉鎖不全症に対してECPELLAで肺水腫改善後に僧帽弁手術を施行した1例	荒木善盛		第28回日本冠動脈外科学会学術大会	7月12日
5	経費的心房中隔欠損閉鎖術後遠隔期にerosionによる心タンポナーデをきたし緊急手術で救命した1例	野田美香	荒木善盛、小林明裕、佐久本一樹	第60回日本小児循環器学会総会・学術集会	7月12日

6	外巻生体弁ADVのための再弁置換術にてManouguian変法（BoYang法）を行うも極度の弁輪傾斜をきたした1例	荒木善盛	野田美香、小林明裕、佐久本一樹 小池愛理子、川口 鎮	第62回日本人工臓器学会大会	11月15日
7	機械弁による大動脈弁置換術後に人工弁機能不全となり再手術に至った2例	野田美香	荒木善盛、佐久本一樹、小林明裕 川口 鎮	第62回日本人工臓器学会大会	11月15日
8	小規模施設におけるloop techniqueの定型化がもたらす3D完全鏡視下MICS手術への恩恵	佐久本一樹	荒木善盛、野田美香、小林明裕 川口 鎮、伊藤敏明	第55回日本心臓血管外科学会学術総会	2月20日
9	当院の血液透析患者に対する単独冠動脈バイパス手術の手術成績	野田美香	荒木善盛、小林明裕、小池愛理子 佐久本一樹、川口 鎮	第55回日本心臓血管外科学会学術総会	2月20日
10	決戦閉塞型A型大動脈解離の保存的加療の成績	小林明裕	荒木善盛、小池愛理子、佐久本一樹 野田美香、川口 鎮	第55回日本心臓血管外科学会学術総会	2月21日

## 整形外科

### 学会及び誌上発表届

	演題名	発表者	共同研究者	学会・研究会名	年月日
1	脊椎破裂骨折を併発した高度踵骨粉碎骨折の治療経験 =Vertebrae to Calcaneus=	稲垣智也	金山康秀、辻 太一、大田恭太郎 前田真崇、高山真央、瀧野孝明 館 寛人	第142回中部日本整形災害外科学会	4月12日
2	心肺停止後に頸髄虚血による麻痺が出現した1例	瀧野孝明	辻 太一、大田恭太郎、服部恭典 前田真崇、館 寛人、高山真央 金山康秀	第142回中部日本整形災害外科学会	4月13日
3	Sarilumab投与症例における関節エコー所見改善効果の検討～Tocilizumab投与例との比較～	金山康秀	前田真崇、服部恭典	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会	4月18日
4	当院における特発性側弯症の血液型別手術中出血量について	大田恭太郎	辻 太一、館寛人	第53回日本脊椎脊髄病学会学術集会	4月19日
5	リウマチ合併骨粗鬆症患者に対するロモゾマブの効果と安全生について	前田真崇	金山康秀	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会	4月20日
6	早期発症例側弯症治療の現状と未来-未だに解決されない諸問題-	辻 太一		第97回日本整形外科学会学術集会・シンポジウム	5月24日
7	成人脊柱変形手術における術前貯血式自己血輸血の重要性	辻 太一	大田恭太郎、小宮山喜代美、山口佳代 藤本順子、木村有里、金山康秀	第37回自己血輸血・周術期輸血学会学術集会	7月5日
8	成人脊柱変形手術における術中回収式自己血輸血の重要性～Bowl sizeの差について～	辻 太一	大田恭太郎、小宮山喜代美、山口佳代 藤本順子、木村有里、金山康秀	第37回自己血輸血・周術期輸血学会学術集会	7月6日
9	側弯症手術における貯血式自己血輸血を用いた新たなstrategy～自己フィブリン糊の可能性 preliminary report～	辻 太一	大田恭太郎、小宮山喜代美、山口佳代 藤本順子、木村有里、金山康秀	第37回自己血輸血・周術期輸血学会学術集会	7月6日
10	JAK阻害薬使用中の関節リウマチ患者において白内障術後眼内炎を発症した一例	前田真崇	高山真央、金山康秀	第77回東海膠原病研究会	7月27日
11	関節リウマチ診療におけるJAK阻害薬の有用性～フィルゴチニブの果たす役割～	金山康秀		第35回中部リウマチ学会ランチョンセミナー	9月6日
12	当科におけるSarilumabの治療成績	前田真崇	金山康秀	第35回中部リウマチ学会	9月7日
13	変形性関節症症例に対する人工膝関節全置換術前後における腰椎および大腿骨近位部骨密度変化の検討	金山康秀		第35回日本リウマチの外科学会	9月13日



14	頸椎椎弓形成術におけるC3椎弓形成の是非＝アライメントに着目して＝	大田恭太郎	館 寛人、辻 太一	第33回日本脊椎インストゥルメンテーション学会	9月20日
15	変性側弯症に対する術式別の椎体回旋矯正率の比較	館 寛人	大田恭太郎、辻 太一	第33回日本脊椎インストゥルメンテーション学会	9月20日
16	椎弓根スクリューを用いた脊柱矯正手術の現状	辻 太一		第33回日本脊椎インストゥルメンテーション学会	9月21日
17	脛骨骨折骨接合に対する腰椎麻酔後に心停止となった一例	高山真央	前田真崇、金山康秀	第143回中部日本整形災害外科学会	10月4日
18	関節リウマチ治療前に肺炎の急性増悪から気管切開まで至った一例	田島美咲	前田真崇、金山康秀	第143回中部日本整形災害外科学会	10月4日
19	手根骨転移で胃痛が発見された1例	中島 陸	前田真崇、金山康秀、館 寛人、高山真央、稲垣智也、田島美咲	第143回中部日本整形災害外科学会	10月5日
20	多職種で挑む側弯症周術期出血対策	辻 太一		第3回日本自己血輸血・周術期学会フォーラム	11月2日
21	麻痺性側弯症に対する手術治療-当院の現状-	辻 太一		第58回日本側弯症学会学術集会	11月2日
22	思春期特発性側弯症(Lenketype 5)における固定範囲の設定＝LEVがL4の場合でもLIVをL3にするために＝	大田恭太郎	辻 太一、館 寛人	第58回日本側弯症学会学術集会	11月2日
23	Sarilumab投与症例における関節エコー所見改善効果について～24週経過例におけるTocilizumabとの比較検討～	金山康秀	前田真崇、下竹美由紀、宮地文子、藤田啓介、小山 舞、水野文恵	第39回日本臨床リウマチ学会	11月30日

## 著書・論文

	題名	著者・発表者及び共同研究者	書名・雑誌名
1	Comparison of Denosumab with Romosozumab in the treatment of male osteoporosis: a retrospective cohort study	Tomonori Kobayakawa, Yasuhide Kanayama, Yuji Hirano, Yukio Nakamura	Sci Rep. 2024 Oct 1;14(1):22785.
2	Clinical effectiveness of baricitinib and abatacept in patients with rheumatoid arthritis	Shuji Asai, Nobunori Takahashi, Kenya Terabe, Yutaka Yoshioka, Toshihisa Kojima, Tomonori Kobayakawa, Yasumori Sobue, Tatsuo Watanabe, Yuji Hirano, Yasuhide Kanayama, Takefumi Kato, Masahiro Hanabayashi, Mochihito Suzuki, Shiro Imagama	Int J Rheum Dis. 2024 Nov;27(11):e15414.
3	Preoperative low Hounsfield units in the lumbar spine are associated with postoperative mechanical complications in adult spinal deformity	Ippei Yamauchi, Hiroaki Nakashima, Sadayuki Ito, Naoki Segi, Jun Ouchida, Ryotaro Oishi, Yuichi Miyairi, Yoshinori Morita, Yukihito Ode, Yasuhiro Nagatani, Yuya Okada, Kazuaki Morishita, Yosuke Takeichi, Yujiro Kagami, Hiroto Tachi, Kazuma Ohshima, Keisuke Ogura, Ryuichi Shinjo, Tetsuya Ohara, Taichi Tsuji, Tokumi Kanemura, Shiro Imagama	Eur Spine J. 2024 Jul;33(7):2824-2831
4	Association between P1NP value and increases in bone mineral density in patients with postmenopausal osteoporosis treated with romosozumab	Kyosuke Hattori, Yasuhide kanayama	Mod Rheumatol. 2024 Aug 20;34(5):1047-1055
5	Longitudinal impact of multi-segment spinal fixation surgery on mobility status and clinical outcomes in adult spinal deformity: a multicenter retrospective study	Jun Ouchida, Hiroaki Nakashima, Sadayuki Ito, Naoki Segi, Ippei Yamauchi, Ryotaro Oishi, Yuichi Miyairi, Yoshinori Morita, Yukihito Ode, Yasuhiro Nagatani, Yuya Okada, Mikito Tsushima, Tokumi Kanemura, Masaaki Machino, Tetsuya Ohara, Kyotaro Ota, Hiroto Tachi, Taichi Tsuji, Yujiro Kagami, Ryuichi Shinjo, Shiro Imagama	Eur Spine J. 2024 Oct;33(10):3894-3903

6	Therapy with transitions from one bone-forming agent to another: a retrospective cohort study on teriparatide and romosozumab	Tomonori Kobayakawa, Yasuhide Kanayama, Yuji Hirano, Toshitaka Yukishima, Yukio Nakamura	JBMR Plus. 2024 Oct 23; 8 (12):ziae131.
---	---	--	---

講演会等講師

	講演会名及び演題	演者	主催	年月日
1	関節リウマチ治療におけるバリシチニブの可能性	金山康秀	RA Cross Talk Web Meeting	5月9日
2	関節リウマチ治療におけるバリシチニブの可能性	金山康秀	第3回 RA Care Management Seminar	5月29日
3	関節リウマチ患者に対するロモソズマブの投与12か月後の効果と安全性についての検討	前田真崇	第19回三河骨粗鬆症研究会	6月8日
4	関節リウマチ診療におけるウパダシチニブの使いどころ	金山康秀	RA Expert Seminar～シニア世代のRA診療の向上をめざして～	6月26日
5	関節リウマチ治療におけるフィルゴチニブの位置づけ	金山康秀	RA Up to date in 東海	6月27日
6	乾癬性関節炎の新たな展開	金山康秀	Gifu Bimzelx Forum	7月2日
7	関節リウマチ治療におけるTNF阻害薬の意義と各製剤特性について～RFの関連と当科のエコーデータも含めて～	金山康秀	ユーシービージャパン株式会社社内講演会	7月16日
8	自己抗体陽性RA患者に対するアバタセプトの活かしどころについて～自験例における関節エコー所見改善効果の検討を含めて～	金山康秀	オレンシアWEBライブセミナー	7月17日
9	骨粗鬆症治療と地域連携の重要性（2次骨折予防も含めて）	金山康秀	愛知県保険医協会西三河地区「臨床懇談会」	7月21日
10	脊椎外来診療の実際と経皮吸収型鎮痛薬の使い所	辻 太一	ジクトルテープ75mg発売3周年記念講演会 in 豊田	7月25日
11	関節リウマチ治療におけるTNF阻害薬の意義と各製剤特性について	金山康秀	日本化薬社外講師勉強会	8月23日
12	当院における骨粗鬆症性椎体骨折に対する地域連携外来パスの取り組み	大田恭太郎	豊田加茂骨粗鬆症セミナー	8月24日
13	RAOPにおけるデノスマブの長期治療成績について	前田真崇	整形外科疾患Total Care Seminar	9月5日
14	骨粗鬆症の診断・治療と地域連携の重要性（2次骨折予防も含めて）	金山康秀	薬剤師勉強会	9月15日
15	関節リウマチ治療におけるバリシチニブの可能性	金山康秀	RA治療を考える会	9月19日
16	骨粗鬆症治療における2次骨折予防、治療継続と病診連携の重要性について	金山康秀	頸部骨折パス会議	10月17日
17	関節エコーを活用したRA治療戦略	金山康秀	リウマチ診療スキルアップセミナー	10月30日
18	側弯症の基本と治療の実際-当院の取り組み-	辻 太一	鶴舞整形外科カンファレンス	11月9日
19	関節破壊の観点から考えるバリシチニブの可能性	金山康秀	Olumiant RA Seminar	11月14日
20	TNF阻害薬を再考する～RFが提起する新たな課題～	金山康秀	第10回三河関節エコー研究会	11月16日



21	骨粗鬆症性椎体骨折術後の続発性骨折予防について～経皮的椎体形成術後地域連携パスの取組～	大田恭太郎	STOP! くりかえし骨折を考える会	12月5日
22	年齢に応じた骨粗鬆症治療	前田真崇	西三河整形外科疾患Webセミナー	12月5日
23	FLS導入前後の2021-2023年に当院で手術した大腿骨頸部骨折患者の退院後経過についての検討	前田真崇	大腿骨近位部骨折地域連携パス会議	2月27日
24	ぜひ若手に知ってほしい!! 頸椎症性脊髄症診断のコツ	大田恭太郎	-明日から使える! - -Ortho Edu Seminar-	3月4日
25	乾癬性関節炎診療における早期診断、早期治療の重要性	金山康秀	Bimzelx Web Seminar in Asahikawa	3月8日
26	私が考えるPhase 2におけるオルミエントのベストユース～関節エコーの観点から～	金山康秀	Olumiant Focus Month Web Conference	3月17日
27	骨粗しょう症にともなう骨折の予防～健康寿命をのばしましょう～	金山康秀	第8回検診スクールプログラム	3月28日

### 会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	年月日
1	座長	金山康秀	第14回三河IL-6研究会	5月18日
2	座長	金山康秀	UCB PSA Expert Meeting	5月31日
3	座長・司会	金山康秀	地域で考える二次性骨折予防セミナーfrom 愛知	6月6日
4	座長	金山康秀	第19回三河骨粗鬆症研究会	6月8日
5	座長	金山康秀	ナノゾラ適正使用講演会 in 愛知	7月3日
6	座長	辻 太一	第37回自己血輸血・周術期輸血学会学術集会 ランチョンセミナー I	7月5日
7	座長	金山康秀	RA Expert Seminar	7月13日
8	座長	金山康秀	ウパダシチニブの適正使用を考える会 Summer	7月24日
9	座長	金山康秀	AICHI OSTEOPOROSIS SEMINAR～病院整形外科における骨粗鬆症治療を考える会～	7月25日
10	座長	金山康秀	第77回東海膠原病研究会	7月27日
11	総合座長	辻 太一	地域で支える整形外科疾患治療連携セミナー	8月22日
12	座長	金山康秀	豊田加茂骨粗鬆症セミナー	8月24日
13	座長	金山康秀	整形外科疾患Total Care Seminar	9月5日
14	座長	大田恭太郎	-明日から使える! - -Ortho Edu Seminar-	10月22日
15	座長	金山康秀	ILD合併RAの治療戦略を考える会	10月25日
16	司会	金山康秀	第11回愛知DMARDs研究会	10月26日
17	総合司会	金山康秀	リウマチ診療スキルアップセミナー	10月30日
18	司会	金山康秀	第10回 RA-BETTER WEB研究会	11月2日
19	座長	金山康秀	RA Expert Seminar	11月8日
20	司会	金山康秀	RA Expert Web Conference	11月15日
21	コメンテーター	金山康秀	第39回日本臨床リウマチ学会 シンポジウム 3	11月30日
22	座長	金山康秀	第39回日本臨床リウマチ学会一般演題16	12月1日
23	座長	辻 太一	STOP! くりかえし骨折を考える会	12月5日

24	座長	金山康秀	STOP！くりかえし骨折を考える会	12月5日
25	座長	金山康秀	-明日から使える！- -Ortho Edu Seminar-	12月10日
26	座長	金山康秀	RA治療の新たな展開 ~Revisiting structural Features~	12月20日
27	座長	金山康秀	整形外科の観点からSpA診療を考える会	2月12日
28	座長	金山康秀	三河脊椎関節炎フォーラム 2025	2月15日
29	座長	金山康秀	RA Expert Meeting in Nagoya ~Revisiting structural Features~	2月16日
30	座長	金山康秀	RA Expert Seminar~RA診療の向上をめざして~	3月7日
31	座長	金山康秀	第6回 BONE RESEARCH FORUM in OSAKA	3月14日
32	座長	金山康秀	RA Expert Seminar in 名古屋	3月28日

## 泌尿器科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	Outcomes of ECIRS at our hospital	東 凌平		第111回日本泌尿器科学会総会	4月25日
2	転移性尿路上皮がんに対するエンホルツマブドリンにおける初期治療経験	名里瑛美	小林大地、東 凌平、奥田奈央子 宇佐美雅之、橋本良博、岩瀬 豊	第111回日本泌尿器科学会総会	4月26日
3	エビデンス確実性CのCQを深掘りする：CQ2	宇佐美雅之		日本尿路結石症学会第34回学術集会	8月30日
4	当院でのロボット支援前立腺全摘除術（RARP）の初期経験	宇佐美雅之	名里瑛美、東 凌平、小林大地 飯田啓太郎、橋本良博、安井孝周	第38回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会	11月28日

## 皮膚科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	全身性野生型トランスサイレチン型アミロイドーシスを発症した尋常性乾癬	藤井靖子	武市拓也、山下雄太、奥村貴裕 榊原綾子、室 慶直	第310回日本皮膚学会東海地方会	12月15日
2	エルロチニブによって生じた薬剤性皮膚血管炎の一例	中根啓允	鈴木伸吾、松井健一郎、竹中花子 中原義夫	第311回日本皮膚科学会東海地方会	3月23日
3	リツキシマブが有効であった尋常性天疱瘡と落葉状天疱瘡の4症例	藤井靖子	桃原真理子、神谷怜志、明石憲佳 小泉 遼、山下雄太、武市拓也	第311回日本皮膚学会東海地方会	3月23日

## 麻酔科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	食道がんに伴うがん性疼痛および腰椎椎間板ヘルニア併発患者の陽背部痛の鑑別に硬膜外ブロックが有用であった1症例	小島康裕		Palliative Care Research 2023年	誌上発表
3	排尿障害を伴った直腸がん再発による旧肛門部痛に神経ブロック施行を熟慮した1症例	小島康裕	酒井博生、村松雅人	第29回日本緩和医療学会学術大会	6月15日
4	声帯開大不全を伴う多系統萎縮症の患者に対して脊髄くも膜下麻酔を施行した一例	嶋 佑太	上原博和	東海北陸支部第22回学術集会	9月7日



5	肥大型心筋症を伴ったNoonan症候群患者の麻酔経験	溝口瑛心	上原博和	東海北陸支部第22回学術集会	9月7日
6	Charcot-Marie-Tooth病患者の側弯症手術に対し、筋弛緩薬を使わずに全身麻酔を行った一例	丸山航平	岩 怜、上原博和	東海北陸支部第22回学術集会	9月7日
7	冠動脈に高度狭窄を有する患者に対し大動脈バルーンパンピング(IABP)を挿入し腹臥位で全身麻酔を行った一例	高見音宇	酒井博生、上原博和	東海北陸支部第22回学術集会	9月7日

## 医師臨床研修科

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	神経筋接合部の障害が疑われた多系統蛋白質症の一例	都築美奈	山原直紀、吉倉延亮、木村暁夫、下畑亮良、※岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野	第65回日本神経学会学術大会	6月1日
2	乳がん術後に同部位局所に発症したびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例	宮澤実里	寺島浩史、原田靖彦、平賀潤二、伊藤怜花	第253回日本内科学会東海地方会	6月30日
3	顕微鏡的多発血管炎および多発筋炎治療中にクリプトコッカス髄膜炎を合併した1剖検例	柴田光輝	池田昇平、橋本明香里、松波亜佐子、稲垣祐美、糸見百合子、佐藤萌美、武重万里子、高橋美江、富田 稔、服部直樹、岩崎 靖、吉田真理	第169回日本神経学会東海北陸地方会	7月6日
4	MRI所見が特徴的であった右総腓骨神経麻痺の1例	宮澤実里	池田昇平、橋本明香里、松波亜佐子、稲垣祐美、糸見百合子、佐藤萌美、武重万里子、高橋美江、富田 稔、服部直樹、平野聡子、村上あゆ香	第35回日本末梢神経学会学術集会	9月6日
5	正中神経手根管部に高度のアミロイド沈着を認めた遺伝性ATTRアミロイドーシスの1剖検例	柴田光輝	池田昇平、橋本明香里、羽賀智明、松波亜佐子、稲垣祐美、糸見百合子、佐藤萌美、武重万里子、高橋美江、富田 稔、服部直樹、古川宗磨、小池春樹、勝野雅央	第35回日本末梢神経学会学術集会	9月6日
6	手根骨転移で胃癌が発見された1例	中島陸	前田真崇、金山康秀、舘 寛人、高山真央、稲垣智也、田島美咲	第143回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会	10月5日
7	COVID-19感染後の器質化肺炎との鑑別を要した肺原発末梢性T細胞リンパ腫の一例	墨隆紘	石谷紗希、秋葉嘉将、岡阪敏樹、平賀潤二、鈴木日向、伊東幸佑、南谷有香、柴田寛史、中原義夫	第126回日本呼吸器学会東海地方会	10月5日
8	皮膚生検にて診断された芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍の一例	小西達也	原田靖彦、藤井智基、伊藤怜花、鈴木奈瑠子、平賀潤二	第254回日本内科学会東海地方会	10月6日
9	潜在性乳がんに対してPembrolizumab投与中に認めた血球貪食性リンパ組織球症の1例	飯尾悠真	原田靖彦、藤井智基、伊藤怜花、鈴木奈瑠子、平賀潤二	第254回東海地方会	10月6日
10	外傷性大動脈解離に隠れた内臓臓器の脱出を認めない左横隔膜損傷(Ⅲa)を診断した一例	平櫛慎多郎	竹村元太、中島成隆、西本泰浩、水野敬輔、菅原 元、秋田直宏、石田航大	第52回日本救急医学会総会・学術集会	10月15日
11	顕微鏡的多発血管炎および多発筋炎治療中にクリプトコッカス髄膜炎を合併した1剖検例の治療経験	柴田光輝	池田昇平、橋本明香里、松波亜佐子、稲垣祐美、糸見百合子、佐藤萌美、武重万里子、高橋美江、富田 稔、服部直樹、岩崎 靖、吉田真理	第42回日本神経治療学会学術集会	11月8日
12	プロテインS欠損症による脳静脈血栓症が疑われた視床梗塞の1例	都築美奈	橋本明香里、松波亜佐子、稲垣祐美、糸見百合子、佐藤萌美、池田昇平、武重万里子、高橋美江、富田 稔、服部直樹	第170回日本神経学会東海北陸地方会	11月16日

13	右冠動脈のステント内石灰化病変に対するRota使用においてwirebiasを変化させることで良好な切削を得られた一例	高橋泰樹	佐藤祐城、米山千里、井関彰太、岩田恵輔、櫻井礼子、佐橋智博、堀 仁美、中込敏文、羽賀智明、豊 陽祐、大橋大器、窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	ARIA2024	11月21日
----	--	------	---	----------	--------

## 栄養管理室

### 学会及び誌上発表届

	演題	主たる発表者	学会・雑誌名	月日
1	甲状腺原発扁平上皮がん患者に対する半固形栄養剤を活用した在宅栄養管理	森 茂雄	第11回日本在宅栄養管理学会	7月14日
2	高齢者施設における粥の加水量とトロミ剤の使用状況調査	森 茂雄	第11回日本在宅栄養管理学会	7月14日
3	シンポジウム「職種による臨床検査の多面性」管理栄養士の立場から	森 茂雄	第63回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会	3月2日

### 講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	GLIM基準の活用事例摂食嚥下機能低下患者編	森 茂雄	2024年度GLIM基準の理解と実践のためのオンデマンド講座. 日本栄養士会	5月~3月
2	診療報酬への取り組み~臨床栄養と給食管理の両輪~	森 茂雄	2024年度全国厚生連栄養士協議会研修会	10月26日
3	栄養ケアプロセスの基本~臨床で実践できる栄養診断のはじめかた~	森 茂雄	ステップアップセミナー	11月17日
4	栄養士の役割と連携	森 茂雄	日本福祉大学中央福祉専門学校	12月2日
5	行動変容を促す栄養指導をめざして	鈴木祥子	多職種連携で考えるCKD治療WEBセミナー	3月13日

### 著書

	雑誌名・タイトル	氏名	出版社	日付
1	高齢者の排尿・排便障害、認知症における食事の工夫	森 茂雄	病院介護施設・在宅で活用できる高齢者の栄養ケアのポイントBOOK	5月
2	誰も教えてくれなかった看取りの栄養ケア	森 茂雄	ニュートリションケア	4月~3月
3	緩和ケアと栄養サポート	森 茂雄	臨床栄養臨時増刊号. 疾患・病態別のポイントがわかる! 栄養指導オールガイド	6月
4	栄養管理スキルアップドリル. 経腸栄養の基本	森 茂雄	ニュートリションケア	8月
5	看取り期にある在宅療養者への管理栄養士の栄養食事指導の回数が食事摂取量に与える効果	森 茂雄	日本在宅栄養管理学会誌10巻2号	8月

## 感染制御部

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	地域連携医療機関への感染対策研修を通して見えた課題	駒井博子		第12回日本感染管理ネットワーク学会	5月31日
2	新興感染症の発生を想定した訓練の実際	駒井博子	川端 厚、渡口賢隆、酒井幹康、永田悠起、菅原 元	第73回日本農村医学会学術総会	10月15日

## 歯科衛生士

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	豊田厚生病院における口腔機能低下症と栄養評価の関連性について	坂田桃子	河合孝真、佐藤 薫、吉川奈月 中野留稀菜、兼子隆次	第73回日本医療薬学会 年会	10月14日

## 診療放射線室

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	DRL s 2024を踏まえたデバルキングデバイスを使用したPCIにおける患者被ばく線量の研究	黒瀬颯太	岡本昂樹、小林晋也、深田真司	CVIT2024	7月25日
2	放射線治療装置更新に伴うコミッション試験の諸経験	柴田貴行		第73回日本農村医学会 学術総会	10月15日
3	心臓CT検査における動き補正技術の有効性について	柴田英輝		雑誌日本CT技術学会 雑誌	8月7日
4	左前下行枝の高度石灰化病変に対し心臓CTを有効活用しRotational Atherectomyを使用した一例	黒瀬颯太	岡本昂樹、小林晋也、深田真司 羽賀智明、豊 陽祐、窪田龍二 篠田政典	ARIA2024	11月21日
5	心臓CTや胸部領域における動き補正技術の有用性について	柴田英輝		CCT2024	10月25日
6	非造影CT画像におけるArtificial Intelligence技術を活用した自動抽出機能による左心房容積の精度検証	柴田英輝	大河原優み、安藤仁美、黒瀬颯太 小寺直人、深田真司	第1回日本放射線医療 技術学術大会	11月3日
7	Radiation dose structured report (RDSR)の生合成に関する調査報告	柴田英輝		日本放射線技術学会 雑誌	1月1日

### 講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	鳥取県診療放射線技師会造影ゼミナール	深田真司	鳥取県診療放射線技師会	3月22日

### 会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	会長	深田真司	愛知県診療放射線技師会西三地区会	4月~3月
2	司会	深田真司	愛知県診療放射線技師会第3回研修会	1月25日
3	司会	深田真司	第36回東三河CT研究会特別講演	1月29日
4	司会	深田真司	愛知県診療放射線技師会学術大会	3月16日
5	司会	深田真司	西三地区会総会特別講演	3月19日

## 薬剤部

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	Development and validation of an automated antimicrobial surveillance system based on indications for antimicrobial administration	Mikiyasu Sakai	Takamasa Sakai, Toshitaka Watariguchi, Atsushi Kawabata, Fumiko Ohtsu	Journal of Interction and Chemotherapy	誌上発表

2	シックデイールの統一に向けた薬剤師の取り組み	神野禎実	松田詩乃、澤井喜邦、間瀬 悟	第12回日本くすりと糖尿病学会学術集会	10月5日
3	経口セマグルチドの胃腸障害による中止症例における臨床的特徴の検討	小田康介	松田詩乃、酒井幹康、近藤 有 中村和行、間瀬 悟	第12回日本くすりと糖尿病学会学術集会	10月5日
4	携帯情報端末および監査支援システム導入による調剤過誤防止対策の評価	古田茉莉子	西澤圭祐、間瀬 悟	第73回日本農村医学会学術総会	10月14日
5	直接作用型第Xa因子阻害剤中和剤（オンデキサ）の運用方法と使用実態調査	渡邊千尋	西澤圭祐、間瀬 悟	第73回日本農村医学会学術総会	10月15日
6	化学療法誘発性悪心・嘔吐における予防的制吐療法の適正費用を明らかにするための費用対効シミュレーション	小嶋亮太	近藤 有、酒井幹康、小田切由梨 間瀬 悟	歳34回日本医療薬学会年会	11月3日
7	オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対するスタチン系薬剤の影響調査	志賀有雅	藤井友和、森 巧一、三浦崇則 杉浦洋二、羽田勝彦、間瀬悟	第34回日本医療薬学会年会	11月2日
8	電子カルテのテンプレート機能を用いた副作用情報収集体制の構築	神納由美		愛知県厚生連薬剤師会相互啓発研修会	11月9日
9	婦人科がん化学療法患者の制吐治療におけるオランザピンの使用実態に関する調査	廣田ひかる	近藤 有、大岩由香里、間瀬 悟	第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会	1月25日
10	65歳未満の成人市中肺炎に対する治療期間の実態調査：大規模保険請求データを用いた検討	酒井幹康	酒井隆全、大津史子	第46回日本病院薬剤師会近畿学術大会	1月26日
11	心不全多職種チーム立ち上げから3年間の活動報告～チームにおける薬剤師の関わり～	加藤恭平		第33回厚生連病院薬剤師業務研究研修会	2月22日

講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	令和6年度4月薬剤師勉強会「制吐薬適正使用ガイドライン改訂のポイントと当院の取り組み」	近藤 有	豊田厚生病院	4月11日
2	第37回東海地区感染制御研究会 抗菌薬セミナー Advanced Course 「黄色ブドウ球菌菌血症と付随する合併症について学ぶ」	早川智章 栗木駿輔 酒井幹康 岩田 聡	愛知県病院薬剤師会	12月22日
3	New Generation Cancer Seminar in 東海「オキサリプラチンにおける安全性の検討」	志賀有雅	高田製薬	2月14日
4	令和6年度第6回愛知県病院薬剤師会 感染制御部会 学術講演会 「胆道系感染症に対する治療戦略」	酒井幹康	愛知県病院薬剤師会	2月20日

リハビリテーション室

学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	嚥下障害を主症状とし、テンシロン試験の効果判定に嚥下造影が有効だった重症筋無力症の1例	萩野周作	池田昇平、渡口賢隆	第30回日本接触嚥下リハビリテーション学会学術大会	8月30日
2	レカネマブ投与におけるリハビリとしての関わり	萩野周作	畑 康夫、福田大輔、加古 覚 高橋瑛介、田村貴治、池田昇平	第73回日本農村医学会学術総会	10月15日



3	with Adolescent Idiopathic Scoliosis	濱中美来	池田実咲、鈴木洋平、辻 太一	第58回日本側彎症学会 学術集会	11月2日
4	Postoperative activity of Adolescent Idiopathic Scoliosis Patients focus on amusement parlatractions	池田実咲	濱中美来、鈴木洋平、辻 太一	第58回日本側彎症学会 学術集会	11月2日

## 臨床検査室

### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	尿沈渣検査を契機にファブリー病 と診断された2症例	寺坂明香	田中浩一、永田篤志、酒巻尚子 藤上卓馬、梅村美穂、高島幹代	第73回日本医学検査学 会	5月11日
2	『JA愛知厚生連臨床検査技師就職セ ミナー』を企画しての効果	加藤雄大	和田裕司、桂川陽平、笠松加奈子 白石愛深、梅村美穂、宮地文子 田中浩一	第73回日本医学検査学 会	5月11日
3	当院におけるクリオシールシステ ム導入の取り組みと導入後の実績	木村有里	辻 太一、大田恭太郎、山口佳代 藤本順子、泉あかね、小見山貴代 金山康秀	一般社団法人日本自己 血輸血・周術期輸血学 会第37回学術総会	7月6日
4	ホルター心電図を用いた睡眠時無 呼吸症候群スクリーニング有用性	高本智史	中嶋穂乃佳、近藤 香、林 健太 棉本友香、藤田啓介、田中浩一	第73回日本医学検査学 会in金沢	5月11日
5	タスクシフトの始め方造影超音波 や救急外来で活躍する	宮地文子		JSS中部第40回地方学 術集会	8月25日
6	血液培養検査に対するマイクロバ イオジーラウンド導入の取り組み	杉山梨乃	杉山宗平、永田悠起、松久保修 杉山裕衣、松本美咲、田中浩一	令和6年度日臨技中部 圏支部医学検査学会	11月3日
7	どうする？尿からアプローチする タスク・シフト/シェア	伊藤彰洋		令和6年度日臨技中部 圏支部医学検査学会	11月2日
8	潜在性睡眠時無呼吸症候群検出を 目的としたCVHRsの有用性	高本智史	近藤 香、林 健太、棉本友香	第54回日本臨床神経生 理学会	10月23日
9	能登半島被災地でのDVT（深部静 脈血栓症）検診について	中島孝輔		第73回日本農村医学会 学術総会	10月14日
10	恐れのない組織作りへの挑戦	田中浩一	木村有里、杉山宗平、深田英樹	令和6年度日臨技中部 圏支部医学検査学会	11月2日
11	静脈路確保の実際	高橋礼子		令和6年度日臨技中部 圏支部医学検査学会	11月2日
11	透析患者の貯血式自己血採取に対 する多職種での取り組み	熊谷美希	木村有里、松井貴弘、松崎有希奈 田中浩一、酒出篤弥、近藤浩史 佐野公俊、大田恭太郎、辻 太一	第73回日本農村医学会 学術総会	10月14日
12	透析患者の貯血式自己血採取に対 する多職種での取り組み	熊谷美希	木村有里、松崎有希奈、松井貴弘 田中浩一	令和6年度中部圏支部 医学検査学会	11月3日
13	当院におけるEnterobacter cloacae complexとKlebsiella aerogenesによ る菌血症の臨床的特徴の比較検討	加藤雄大		第36回日本臨床微生物 学会総会・学術集会	1月24日

### 講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	検査オーダーについて再考する	加藤雄大	愛知県臨床検査技師会 微生物検査研究班 4月研究会	4月6日
2	生化学検査の試験対策	笠松加奈子	緊急臨床検査士 試験対策 Web講習会	5月26日
3	生化学検査 模擬試験の解説	笠松加奈子	緊急臨床検査士 試験対策 模擬試験	6月15日
4	体腔液講師	杉山宗平	日本臨床細胞学会東海連合会細胞診基礎講座	7月7日
5	血液培養の解説	加藤雄大	愛知県臨床検査技師会 微生物検査研究班 基礎講座	8月4日

6	甲状腺・耳下腺・顎下腺の基礎	宮地文子	第79回東海エコーカンファレンス	10月27日
7	脱力症状に立ち向かえ！～多発神経障害を鑑別せよ～	高本智史	愛知県臨床検査技師会 生理検査研究班 11月研究会	11月16日
8	基礎・胆道	藤田啓介	愛知県臨床検査技師会 生理検査研究班 基礎講座	12月1日
9	令和6年度能登半島地震DVT検診活動報告	高本智史	愛知県臨床検査技師会 令和6年度西三河地区研修会	12月21日
10	当院における術中モニタリングの取り組み～2024～	棉本友香	第23回日本側弯症学会 研修セミナー ベーシックコース	12月21日
11	「医療機関でのハラスメントを考える」パネリスト	宮地文子	令和6年度管理運営研修会	1月18日

会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	司会	加藤雄大	緊急臨床検査士 試験対策 Web講習会	5月26日
2	司会	加藤雄大	緊急臨床検査士 試験対策 模擬試験	6月15日
3	司会	加藤雄大	愛知県臨床検査技師会 微生物検査研究班 基礎講座	8月4日

臨床工学室

学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	豊田厚生流教育論	遠藤泉樹	兵藤好行、沖島正幸、酒出篤弥、小川正博、辻川圭亮、西山和芳、谷 亮太	第50回日本血管インターベンション治療学会CVIT東海北陸地方会	4月27日
2	教育者側の立場から考える呼吸療法分野の教育と障壁	沖島正幸	シンポジスト	第34回日本臨床工学技士会	5月18日
3	UAP患者にIABP挿入するもバルーンシャフトの屈曲により抜去を余儀なくされた1例	澤田知広	沖島正幸、谷 亮太、遠藤泉樹	第34回日本臨床工学技士会	5月18日
4	血種形成によるV-AECMO送血カニューレの血管外逸脱が推定された1例	遠藤泉樹	兵藤好行、沖島正幸、酒出篤弥、小川正博、辻川圭亮、西山和芳、谷 亮太、近藤浩史、澤田知広、齊藤委住、佐野広俊、菅 森歩、日焼功貴、手島優貴	第34回日本臨床工学技士会	5月18日
5	腹水濾過濃縮再静注法（CART）の施行件数増加への取り組み	谷 亮太	谷川祐樹、菅 森歩、佐野公俊、遠藤泉樹、齊藤委住、澤田知広、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行	第34回日本臨床工学技士会	5月19日
6	仕組みを考慮した呼吸療法業務への関わり	沖島正幸	シンポジスト	日本医工学治療学会第40回学術大会	5月26日
7	下肢血栓閉塞に対する術中HDF施行し救命し得た1例	菅 森歩	佐野公俊、齊藤委住、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行、神田亜希子、吉岡和輝、倉田久嗣	第69回日本透析医学会学術集会・総会	6月8日
8	高気圧酸素における教育と緊急時訓練	市川愛梨	兵藤好行、沖島正幸、酒出篤弥、西山和芳、小川正博、辻川圭亮、谷 亮太、谷川裕樹	愛知県臨床工学技士会第19回学術大会	6月16日
9	内視鏡室におけるタスクシフトの現状	増元聖夏	西山和芳	愛知県臨床工学技士会第19回学術大会	6月16日
10	人工呼吸器離脱困難症例への挑戦	沖島正幸	パネリスト	第46回日本呼吸療法医学会学術集会	6月28日
11	臨床工学技士の立場から呼吸療法のタスクシフト・シェアを考える	沖島正幸	シンポジスト	第46回日本呼吸療法医学会学術集会	6月28日



12	当院CEの人工呼吸療法の関わりと若手医師への教育について	齊藤委住	沖島正幸、澤田知広	第46回日本呼吸療法医学会学術集会	6月28日
13	呼吸療法業務における教育プログラムの経験	日焼功貴	沖島正幸、澤田知広	第46回日本呼吸療法医学会学術集会	6月28日
14	当院における高気圧酸素療法の教育体制	西山和芳	谷川裕樹、兵藤好行、金子鎮二、菅原元、世古口英	第58回日本高気圧潜水医学会	6月29日
15	耳抜き不良による治療の中止を防ぐための取り組み	谷川裕樹	西山和芳、兵藤好行、金子鎮二、菅原元、世古口英	第58回日本高気圧潜水医学会	6月29日
16	OCT撮影時Double Injection Technique (DIT)の有用性の検討	遠藤泉樹	兵藤好行、沖島正幸、酒出篤弥、小川正博、辻川圭亮、西山和芳、谷亮太、近藤浩史、澤田知広、齊藤委住、佐野公俊、菅森歩、日焼功貴、手嶋優貴、山下真咲、前田優作、谷川裕樹	Tokyo Percutaneous Cardiovascular Intervention Conference 2024	7月12日
17	抗頻拍ペーシングにより早期電池消耗を来した2例	辻川圭亮	金子鎮二、中込敏文、前田優作、日焼功貴、遠藤泉樹、谷亮太、西山和芳、酒出篤弥、小川正博、沖島正幸、兵藤好行	第70回日本不整脈心電学会学術大会	7月19日
18	高度石灰化病変を伴う慢性完全閉塞性病変に対してIVUSガイドTip detection法が有用であった一例	前田優作	辻川圭亮、遠藤泉樹、手嶋優貴、三宅真咲、早川輝、羽賀智明、暁陽祐、窪田龍二、篠田政典	第32回日本血管インターベンション治療学会学術集会	7月25日
19	高度石灰化病変を伴うST上昇型心筋梗塞に対して血管内結石破碎が有用であった一例	三宅真咲	辻川圭亮、遠藤泉樹、手嶋優貴、前田優作、早川輝、羽賀智明、暁陽祐、窪田龍二、篠田政典	第32回日本血管インターベンション治療学会学術集会	7月27日
20	右室流出路起源心室期外収縮の最早期興奮部位特定に新たな指標の可能性	辻川圭亮	金子鎮二、中込敏文、三宅真咲、前田優作、日焼功貴、遠藤泉樹、西山和芳、酒出篤弥、小川正博、沖島正幸、兵藤好行	日本不整脈心電図学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2024	10月10日
21	解析ツールを駆使し複合的視点を要した1例	日焼功貴	辻川圭亮、中込敏文、金子鎮二	日本不整脈心電図学会カテーテルアブレーション関連秋季大会2024	10月10日
22	当院が経験したECPELLA管理の2症例	谷亮太	菅森歩、佐野公俊、澤田知広、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行	第49回日本体外循環技術医学会大会	10月13日
23	当院における脊椎手術時の自己血回収装置について	近藤浩史	兵藤好行、沖島正幸、酒出篤弥、小川正博、辻川圭亮、西山和芳、谷亮太、辻太一、服部直樹	第73回日本農村医学会学術総会	10月14日
24	医療材料費削減への取り組み	酒出篤志	兵藤好行、沖島正幸、小川正博、辻川圭亮、西山和芳、谷亮太、近藤浩史	第73回日本農村医学会学術総会	10月15日
25	遠隔モニタリングの活用したデバイス外来へ	辻川圭亮	金子鎮二、中込敏文、前田優作、日焼功貴、遠藤泉樹、谷亮太、西山和芳、酒出篤弥、小川正博、沖島正幸、兵藤好行	第73回日本農村医学会学術総会	10月15日
26	炭酸リチウム多量摂取による急性リチウム中毒に対して血液透析を施行した1症例	佐野公俊	菅森歩、谷亮太、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行、吉岡知輝、倉田久嗣	第35回日本急性血液浄化学会学術総会	10月20日
27	CSPとCRTについて	辻川圭亮	パネリスト	Abbott社主催研究会	10月25日
28	TAVI介入2年後経過のインシデントに対する考察	小川正博		第24回中部臨床工学会	11月2日
29	左心室起源のPVCに対するアブレーション中に冠動脈解離を発症した一例	遠藤泉樹	窪田龍二、辻川圭亮、谷川裕樹、三宅真咲、手嶋優貴、前田優作、日焼功貴、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行、羽賀智明、暁陽祐、篠田政典	ARIA2024	11月21日

30	当院の心臓カテーテル室業務における教育体制の課題	三宅真咲	辻川圭亮、谷川裕樹、手嶋優貴、前田優作、日焼功貴、遠藤泉樹、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行	ARIA2024	11月22日
31	近部位にプラーク病変を有する関杯病変に対し、Debulking deviceの選択にimagingが有用であった一例	手嶋優貴	窪田龍二、辻川圭亮、谷川裕樹、三宅真咲、遠藤泉樹、前田優作、日焼功貴、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行、羽賀智明、豊陽祐、篠田政典	ARIA2024	11月23日
32	豊田厚生病院のMACT(Monitor Alarm Control Team)活動	辻川圭亮	谷亮太、西山和芳、小川正博、酒出篤弥、沖島正幸、兵藤好行	令和6年度JA愛知厚生連臨床工学技士会研修会	11月23日
33	Monitor Alarm Control Team(MACT)活動の振り返り	沖島正幸	辻川圭亮、兵藤好行、大橋大器、加納千津子	第19回医療の質・安全学会学術集会	11月28日
34	当院における心電図モニターのアラームに関する現状調査	辻川圭亮	沖島正幸、兵藤好行、萩原美保、加納千津子、中根生弥、大橋大器、金子鎮二、金山康秀	第19回医療の質・安全学会学術集会	11月29日
35	様々なモダリティ選択を要したギラン・バレー症候群の一例	酒出篤志	佐野公俊、近藤浩史、谷亮太、沖島正幸、兵藤好行、池田昇平、吉岡和輝、倉田久嗣	日本アフェレシス学会中部地方会	12月14日
36	術中回収式自己血輸血-MEの立場から	近藤浩史	シンポジスト	第23回日本側弯症学会	12月22日
37	TAVI後の完全房室ブロックにおけるペースメーカー植込みの必要性	辻川圭亮	金子鎮二、中込敏文、三宅真咲、前田優作、日焼功貴、遠藤泉樹、手嶋優貴、西山和芳、酒出篤弥、小川正博、沖島正幸、兵藤好行	第17回植込みデバイス関連冬季大会	2月21日
38	臨床工学技士による一次読影を施行し小腸出血を早期発見できた1例	西山和芳	手嶋優貴、谷川祐樹、増元聖真、市川愛梨、内田元太、石川大貴	第18回日本カプセル内視鏡学会学術集会	2月23日
39	人工呼吸器離脱に向けた抜管時間の検討	谷亮太	沖島正幸、澤田知広、斎藤委任、村岡祐介、中島成隆、竹村元太	第52回日本集中治療医学会学術大会	3月14日
40	集中治療室業務充実に向けたCEの体制再考	斎藤委任	沖島正幸、澤田知広、谷亮太、中島成隆、竹村元太	第52回日本集中治療医学会学術大会	3月15日
41	愛知県厚生連8病院における事業所間研修の取り組み	沖島正幸	澤田知広、斎藤委任、谷亮太、村岡祐介、中島成隆、竹村元太	第52回日本集中治療医学会学術大会	3月16日

講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	人工呼吸器SBT実践症例で考える人工呼吸器離脱ハンズオンセミナー	沖島正幸	日本臨床工学会	5月18日
2	呼吸療法セミナー人工呼吸器が苦手な臨床工学士が届けするNPPV療法	谷亮太	愛知県臨床工学技士会オンデマンドセミナー	1月8日
3	施設のこだわり「うちの加温加湿、ここに拘っています。」	沖島正幸	日本臨床工学技士会第一回呼吸療法Webセミナー	8月17日～25日
4	「エコーと共に臨床工学技士が拓く新たな離床の未来」	谷亮太	日本離床学会冬季学術集会2025	1月18日
5	臨床工学技士のアセスメント	沖島正幸	第20回三重県臨床工学技士会呼吸療法セミナー	3月5日

会長・司会・座長

	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	辻川圭亮	第50回日本血管インターベンション治療学会東海北陸地方会	4月27日
2	座長	酒出篤弥	第34回日本臨床工学会	5月19日
3	座長	斎藤委任	第19回愛知県臨床工学技士会学術大会	6月16日



4	世話人	辻川圭亮	第1回東海テクニカルアリスミアセミナー	8月1日 ～3日
5	座長	辻川圭亮	第1回東海テクニカルアリスミアセミナー	8月3日
6	座長	沖島正幸	第17回東海CHDF技術検討会	9月14日

### 著書

	雑誌名・タイトル	氏名	出版社	日付
1	『みんなで呼吸器 Respica』/ {院内での酸素療法見てわかるQ &A}	沖島正幸	メディカ出版	11月

### 看護部

#### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	貯血式自己血輸血の実施管理体制 確立に向けて～貯血量不足症例の 検討から～	小見山貴代美		第72回日本輸血細胞治 療学会学術集会	5月30日
2	嚥下訓練の同意書運用を開始して の1年の報告	松井 都	荻野周作	第73回日本農村医学会 学術総会	10月15日
3	緊急度判定（院内トリアージ）	吉田栄里		救急初療看護に活かす フィジカルアセスメン ト改訂第2版	11月1日
4	透析中運動療法でレジスタンス トレーニングを実施している患者に 対して有酸素運動を併用した際の 効果について	金子礼音	千々岩尚子、山口梨恵、酒出篤弥	第27回日本腎不全看護 学会学術集会・総会	11月9日

### 地域医療福祉連携部

#### 学会及び誌上発表届

	演題	発表者	共同研究者	雑誌名・学会名	月日
1	本人の望む生活とはなにか～アル コール依存症の本人と内縁の妻を 支えた事例から振り返る（急性期 病院の視点より）	安立奈美	泰玄会病院岡崎大樹	第19回愛知県医療ソー シャルワーク学会	2月8日
2	本人の望む生活とはなにか～アル コール依存症の本人と内縁の妻を 支えた事例から振り返る（在宅の 視点より）	楠 智也	泰玄会病院岡崎大樹	第19回愛知県医療ソー シャルワーク学会	2月8日

#### 講演会等講師

	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	愛知医療通訳システム養成講座 「医療機関の仕組みと医療保険制 度」	医療福祉相 談課長 杉村龍也	愛知県多文化共生推進室	6月23日
2	豊田市市民後見人養成講座 「医療機関と公的医療保険制度」	医療福祉相 談課長 杉村龍也	豊田市成年後見支援センター	10月5日
3	訪問看護師育成事業がん看護・難 病看護 ～MSWからみる地域を支える～	医療福祉相 談課長 杉村龍也	豊田市訪問看護師育成センター	11月21日
4	日本福祉大学オープンキャンパス 「MSWってどんな仕事？～医療現 場に福祉の相談員がいる意味～」	医療福祉相 談課 浅井省吾	日本福祉大学	8月24日

## 2. 院内研修活動

### 1. 職員・地域の医療従事者向け研修

	題名	講師	主催	開催日
1	令和6年度新人職員研修	-	教育委員会	2024.4.2~4.3
2	第68回ICLS講習会	救急科外来医長 竹村元太	救命救急センター運営委員会	2024.4.6
3	第100回令和6年4月薬剤師勉強会	医薬情報課長 近藤 有	薬剤部	2024.4.11
4	令和6年度医療機器安全管理研修・除細動器	臨床工学室 遠藤泉樹	医療機器安全管理責任者・医療安全管理部	2024.6.3~6.28
5	第101回令和6年6月薬剤師勉強会	総合内科医長 渡口賢隆	薬剤部	2024.6.13
6	第100回BLS-AED講習会	循環器内科CCU部長 大橋大器	救命救急センター外来	2024.6.13
7	第1回看護技術研修会	皮膚・排泄ケア認定看護師 福岡沙織	地域医療連携課	2024.6.20
8	第173回救急症例検討会	救命救急センター長 水野敬輔	救命救急センター運営委員会	2024.6.27
9	第37回令和6年度第1回医療安全全体研修	Safety Plus e-ラーニング研修	医療安全対策委員会	2024.7.1~7.22
10	保険診療講演会	委員会作成資料の閲覧	保険診療委員会	2024.7.1~7.21
11	第2回看護技術研修会	皮膚・排泄ケア認定看護師 福岡沙織	地域医療連携課	2024.7.11
12	第69回豊田厚生病院ICLS講習会	救命救急副センター長 西本泰浩	救命救急センター運営委員会	2024.7.15
13	令和6年度 RRS院内研修	Safety Plus e-ラーニング研修	救命救急センター運営委員会 (web開催)	2024.8.1~8.31
14	特定機能病院に準じた医療機器研修	血液浄化業務係長 谷 亮太	臨床工学室・医療安全管理部	2024.8.1~8.29
15	第3回看護技術研修会	感染管理認定看護師 駒井博子	地域医療連携課	2024.8.7
16	第11回乳腺勉強会	副院長件外科代表部長兼乳腺外科部長 久留宮康浩 病理診断科代表部長 山下依子 外科 丹羽多恵	地域医療連携課	2024.8.21
17	令和6年度 第4回褥瘡予防対策委員会全体講演会	皮膚・排泄ケア認定看護師 福岡沙織	褥瘡予防対策委員会	2024.8.22~9.20
18	第1回コンプライアンス院内研修会	Safety Plus e-ラーニング研修	コンプライアンス委員会	2024.8.28~9.18
19	令和6年度 感染対策委員会主催全体講演会	感染管理認定看護師 駒井博子	感染対策委員会	2024.9.9~9.27
20	在宅医療に関する勉強会	豊田地域医療センター 在宅医療支援センター長 近藤敬太氏	地域医療連携課	2024.9.11
21	第101回BLS-AED講習会	循環器内科CCU部長 大橋大器	救命救急センター外来	2024.9.12
22	令和6年度第102回薬剤師勉強会	医療安全管理部長 金山康秀	薬剤部	2024.9.12



23	第4回看護技術研修会	感染管理認定看護師 駒井博子	地域医療連携課	2024.9.18
24	第3回令和6年度 栄養サポート全体研修	委員会作成資料の閲覧	栄養サポート委員会	2024.9.24～10.11
25	第174回救急症例検討会	救命救急センター長 水野敬輔	救命救急センター運営委員会	2024.9.26
26	令和6年第2回度新人職員研修	-	教育委員会	2024.10.1
27	第38回令和6年度第2回医療安全全体研修	Safety Plus e-ラーニング研修	医療安全対策委員会	2024.10.1～10.22
28	令和6年度医療機器安全管理研修・血液浄化装置	臨床工学室 佐野公俊	医療機器安全管理責任者・医療安全管理部	2024.10.1～10.31
29	第5回看護技術研修会	認知症看護認定看護師 石川雅恵	地域医療連携課	2024.10.2
30	第70回ICLS講習会	救急科外来医長 竹村元太	救命救急センター運営委員会	2024.10.5
31	令和6年度 診療協同部 合同研修会	臨床工学室 菅森歩、手嶋優貴、前田優作、市川愛梨、増元聖真、三宅真咲、谷川祐樹	診療協同部	2024.11.1
32	第3回情報セキュリティに関する研修	委員会作成資料の閲覧	医療情報係	2024.11.1～1.31
33	令和6年度 診療用放射線の安全利用のための研修会	Safety Plus e-ラーニング研修	放射線診断科、診療放射線室	2024.11.5～11.29
34	第20回患者サービス向上委員会全体講演会	株式会社MME 菊池みよ子氏	患者サービス向上委員会	2024.11.5～11.25
35	第6回看護技術研修会	認知症看護認定看護師 石川雅恵	地域医療連携課	2024.11.6
36	第10回がん看護基礎研修会	化学療法係長 榊原崇芳 看護課長 古橋美直子、中王子美保 看護係長 吉田栄里、佐藤修秀、稲熊幸子、武山 忍 看護部 藤本 歩、安居 円	緩和ケア委員会	2024.11.16・12.7
37	職員研修会「若手世代の心を動かすコミュニケーション術」	ヘルスケアオンライン株式会社 谷田昭吾氏	事務管理室	2024.11.21
38	第11回がん看護基礎研修会	身体機能リハ係長 岩附史明	緩和ケア委員会	2024.11.22・12.13
39	第1回人材育成研修	人材育成準備室長 山本美奈子	臨床検査室	2024.11.29
40	第7回看護技術研修会	緩和ケア認定看護師 安居 円	地域医療連携課	2024.12.4
41	令和6年度第20回かも学会	-	教育委員会	2024.12.11～12.12
42	第102回BLS-AED講習会	循環器内科CCU部長 大橋大器	救命救急センター外来	2024.12.12
43	保険診療講演会	委員会作成資料の閲覧	保険診療委員会	2024.12.16～1.17
44	第174回救急症例検討会	救命救急センター長 水野敬輔	救命救急センター外来	2024.12.26
45	令和6年度医療機器安全管理研修・人工呼吸器	臨床工学室 齊藤委住	医療機器安全管理責任者・医療安全管理部	2025.1.6～1.31
46	第2回コンプライアンス院内研修会	Safety Plus e-ラーニング研修	コンプライアンス委員会	2025.1.6～3.31

47	第4回令和6年度 栄養サポート全体研修	委員会作成資料の閲覧	栄養サポート委員会	2025.1.7～ 1.31
48	第7回認知症サポート委員会講演会	委員会作成資料の閲覧	認知症サポート委員会	2025.1.20～ 2.14
49	第8回看護技術研修会	訪問看護ステーション長 齋藤靖子	地域医療連携課	2025.1.22
50	第12回乳腺勉強会	副院長件外科代表部長兼乳腺外科部長 久留宮康浩 病理診断科代表部長 山下依子 外科 丹羽多恵	外科	2025.1.22
51	第16回医療安全フォーラム	-	医療安全対策委員会	2025.1.30～ 2.4
52	第1回BLS-AED講習会 維持研修	Safety Plus e-ラーニング研修	救命救急センター運営委員会	2025.2.1～ 3.31
53	令和6年度 RRS院内研修	Safety Plus e-ラーニング研修	救命救急センター運営委員会	2025.2.1～ 2.28
54	第1回医療ガス安全研修会	ナンプ薬品株式会社	医療ガス安全管理委員会	2025.2.3～ 3.28
55	第29回豊田がんフォーラム	安城更生病院 がん化学療法看護認定看護師 有馬順子氏 安城更生病院 消化器内科代表部長 林大樹朗氏	化学療法委員会・企画課	2025.2.5
56	令和6年度 豊田感染症フォーラム	感染管理認定看護師 駒井博子	感染対策委員会	2025.2.10～ 2.28
57	クリニカルパス研修	委員会作成資料の閲覧	クリニカルパス委員会	2025.2.21～ 3.13
58	令和6年度第103回薬剤師勉強会	臨床検査第2課長 杉山宗平	薬剤部	2025.2.13
59	第31回医療事故ワークショップ (弁護士招聘)	後藤・太田・立岡法律事務所 (愛知県厚生連顧問弁護士) 植木祐矢 氏	医療安全対策委員会	2025.2.20
60	第71回ICLS講習会	循環器内科CCU部長 大橋大器	救命救急センター運営委員会	2025.3.2
61	令和6年度医療機器安全管理研修・閉鎖式保育器	臨床工学室 谷川祐樹	医療機器安全管理責任者・医療安全管理部	2025.3.3～ 3.31
62	第10回輸血療法委員会全体講演会	愛知県赤十字血液センター	輸血療法委員会	2025.3.3～ 3.21
63	身体拘束についての研修	委員会作成資料の閲覧	認知症サポート委員会	2025.3.3～ 3.28
64	虐待対応研修	委員会作成資料の閲覧	虐待対応委員会	2025.3.4～ 3.17
65	第3回二次性骨折予防継続管理料算定に関する研修会	救命救急センター長 水野敬輔	リハビリテーション室	2025.3.7～ 3.28
66	倫理委員会 全体講演会	委員会作成資料の閲覧	倫理委員会	2025.3.10～ 3.21
67	令和6年度 豊田加茂医師会・豊田厚生病院合同CPC	医師臨床研修科 今村茉由、藤井皓基	内科・地域医療連携課事務局	2025.3.12
68	第103回BLS-AED講習会	循環器内科CCU部長 大橋大器	救命救急センター外来	2025.3.13
69	第175回救急症例検討会	生活機能リハ係長 鬼頭有子	救命救急センター運営委員会	2025.3.21

## 2. 市民向け講座

	題名	講師	主催	開催日
1	第114回がんサロン煌	がん化学療法看護認定看護師 稲熊幸子	がん相談支援センター	2024.4.26
2	第115回がんサロン煌	-	がん相談支援センター	2024.5.24
3	第45回ひまわり総会	-	4 C 病棟	2024.6.15
4	第116回がんサロン煌	消化器内科代表部長 都築智之	がん相談支援センター	2024.6.21
5	第117回がんサロン煌	スヴェンソン株式会社 田澤直子氏	がん相談支援センター	2024.7.19
6	第118回がんサロン煌	臨床栄養係長 江口真奈美	がん相談支援センター	2024.8.30
7	令和6年度第1回 患者及び家族向け療養教室	腎臓内科病棟部長 吉岡知輝 血液浄化センター看護師 千々岩尚子	栄養管理室	2024.9.18
8	第119回がんサロン煌	診療放射線室 前田雅子	がん相談支援センター	2024.9.27
9	令和6年度第2回 患者及び家族向け療養教室	内分泌・代謝内科代表部長 澤井喜邦 リハビリテーション室 日高範久	栄養管理室	2024.10.23
10	第120回がんサロン煌	緩和ケア内科代表部長 村松雅人	医療福祉相談課	2024.10.25
11	第42回オストミー友の会	栄養管理係長 脇坂涼子 皮膚・排泄ケア認定看護師 福岡沙織	医療福祉相談課	2024.11.8
12	令和6年度第3回 患者及び家族向け療養教室	臨床検査室 伊藤彰洋 栄養管理室 中島朱希	栄養管理室	2024.11.20
13	第121回がんサロン煌	訪問看護ステーション長 齋藤靖子	がん相談支援センター	2024.11.22
14	令和6年度第4回 患者及び家族向け療養教室	内分泌・代謝内科代表部長 澤井喜邦 栄養管理室 市川日向子	栄養管理室	2024.12.4
15	第122回がんサロン煌	薬剤部 西村栄輝	がん相談支援センター	2024.12.20
16	第123回がんサロン煌	臨床心理士 加藤史哲	がん相談支援センター	2025.1.24
17	第124回がんサロン煌	ペインクリニック外科部長 小島康裕	がん相談支援センター	2025.2.21
18	第26回豊田厚生病院市民公開講座	消化器内科外来医長 内田元太 下部消化管外科部長 加藤健宏 消化器内科代表部長 都築智之 外科 牛田雄太	教育委員会	2025.3.15
19	第125回がんサロン煌	緩和ケア認定看護師 安居 円	がん相談支援センター	2025.3.28



## IV 委員会活動

---



## 1. 委員会一覧

令和7年3月末

名称	設置 年月日	目的	開催回数
栄養食事委員会(法)(保)	S63.4.1	豊田厚生病院の行う患者の食事療養と及び、賄食に関する必要な事項を検討協議する	4回
治験倫理審査委員会(法)	H9.4.1	委員会は病院長の諮問に応じ、審査の対象とされる治験及び臨床研究等が倫理的及び科学的に妥当であるかを審査することを目的とする。医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議及び検討することを目的とする	6回
倫理委員会	R5.8.1	医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議及び検討することを目的とする	1回
輸血療法委員会	H10.6.1	「輸血療法の適正化に関するガイドライン」に示された望ましい輸血の管理体制に基づいた適切な輸血療法を推進する（厚生省健康政策局通知健政発第502号、平成元年9月19日制定「輸血療法の適正化に関するガイドライン」）	6回
臓器移植倫理委員会	H14.4.1	医の倫理に基づき検討し、適正に実施する（平成9年法律第104号臓器移植に関する法律（平成9年10月16日施行））	5回
診療録管理委員会(保)	H12.4.20	豊田厚生病院の診療録(電子カルテ含む)および印刷物に関する事項について協議し、診療録の内容の向上と適切な管理を行う	12回
研修管理委員会(法)	H11.5.1	豊田厚生病院および関連病院、関連施設における医師臨床研修を統括管理する	3回
臨床研修委員会(法)	H27.4.1	研修医がプライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、『患者に適切な医療を提供』できるようになる為に、臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	12回
歯科医師研修管理委員会(法)	H24.4.1	歯科研修医が『歯科医師として患者を全人的な視点に配慮した上で、基本的・総合的な臨床能力を修得し、患者や家族の信頼に応じられる姿勢を身に付ける』ことを主旨として、歯科医師臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	3回
栄養サポート委員会	H15.5.1	入院患者の栄養の評価と栄養改善に関する提言を行い、栄養教育を支援する	12回
褥瘡予防対策委員会	H15.5.1	入院患者の褥瘡の発生の予防をし、既造の褥瘡の治療を集約的に行う	6回
摂食・嚥下推進委員会	H16.4.1	豊田厚生病院における摂食・嚥下障害を有する患者の機能評価および機能回復の推進に関する事項について協議する	12回
クリニカルパス委員会	H11.8.6	医療資源の効率的な活用と医療の質の向上を図り、クリニカルパスの作成とその運用についての協議を行い、病院の発展に寄与する	12回
化学療法委員会	H15.10.17	豊田厚生病院の化学療法の安全かつ適正な運用を図り、診療内容の向上に寄与する	12回

診療関連

名 称		設置 年月日	目的	開催回数
診療関連	緩和ケア委員会	H16.4.1	患者のQOLに配慮して様々な苦痛や症状の緩和を図ることを検討し、緩和医療の適応基準や緩和プログラムの具体的な支援について協議する	7回
	がんゲノム医療委員会	R1.10.1	がんゲノム医療に関する検査について、運用の構築や提供体制の整備を図るとともに、検査の実施や進捗状況を管理する	24回
	電子カルテ運用委員会	H20.2.1	豊田厚生病院における医療情報システムを円滑に運用する	6回
	認知症サポート委員会	H28.10.1	認知症の容態に応じた適時・適切な医療を提供するため、職員へ認知症患者のサポートに関する提言を行い、認知症対応能力の向上を目的とする	6回
教育・広報	教育委員会	H15.4.1	職員の知識および患者サービス向上を目的とする	6回
	ボランティア委員会	H6.4.1	職員とボランティアの協議により、地域の人たちのための病院づくりの活動をする	4回
安全管理関連	防災対策委員会(法)	H1.4.1	地震・火災・その他の災害が発生した場合に人的、物的被害を最小限に防止するため防災管理対策を徹底することを目的とする。また、災害拠点病院として常に行動できるよう調整する。	10回
	医療ガス安全管理委員会(法)	H2.4.1	医療ガス（医療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する	1回
	廃棄物管理委員会(法)	H10.8.1	病院としての特殊性に鑑み、廃棄物処理法及び廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルに従って、主として感染性廃棄物を中心に、加えて一般廃棄物および産業廃棄物について、厚生連廃棄物処理規程に基づき必要な事項を定め、適正な処理を確保し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上、推進を図る	1回
	感染対策委員会(保)	H3.4.1	豊田厚生病院における院内感染防止に関する事項について協議し、感染対策を立案、実施する	12回
	医療安全対策委員会(保)	H12.4.1	医療事故・再発防止・対策などを検討及び具体化して、患者に安全で質の高い医療を提供する	13回
	医療事故防止対策委員会	H14.4.1	重大な医療事故への具体的対応を行い、併せて再発防止策を検討し、患者に安心と安全な診療を提供する	0回
	虐待対応委員会	H12.11.1	この委員会は、子ども虐待、高齢者虐待、障害者虐待、配偶者暴力（DV）の予防及び早期発見と被虐待児、被虐待者の救済を目的とする	6回
	透析機器安全管理委員会(保)	H22.4.1	血液浄化療法を安全に運用するため、関連機器の管理ならびに使用する透析液水質管理をする	3回
	コンプライアンス委員会	H25.4.1	この委員会は、コンプライアンスに関する意識の向上とコンプライアンス態勢の確立を図ることを目的とする	5回
	業務改善	患者サービス向上委員会	H13.2.6	医療はサービス業であるとの認識を持って患者により良いサービスを提供する
業務分担推進委員会		H24.4.1	病院勤務医、看護職員・負担の軽減及び処遇の改善を検討することを目的とする	2回



	名 称	設置 年月日	目的	開催回数
経営関連	薬 事 委 員 会	S55.4.22	医薬品その他薬品の管理、適正使用、医療内容の向上および病院経営の発展に寄与する	6回
	医 療 材 料 委 員 会	H16.4.1	医療材料・検査試薬の管理及び適正合理化を図り、医療内容の向上、病院経営の発展に寄与する	6回
	購 買 委 員 会	H8.12.12	事業年度における固定資産枠内取得品目の選定を適正かつ円滑に行う	1回
	保 険 診 療 委 員 会	H12.4.1	診療報酬の効率的な算定、返戻・査定減に関する事項、DPCの運用、適切なコーディングに関する事項および病床管理について協議を行い、病院診療の運営に寄与する	6回
各部門運営関連	放 射 線 安 全 委 員 会 (法)	S60.10.1	法律に基づき、放射線発生装置の取扱いによる放射線障害の発生を防止すると共に、公共の安全を確保する	1回
	中 央 放 射 線 部 運 営 委 員 会	H13.6.1	中央放射線部の適正な活用と質の向上を目的とし、その運営について協議し、病院の発展に寄与する	6回
	臨 床 検 査 運 営 委 員 会 (保)	H12.4.1	臨床検査の適正な活用と臨床検査の質の向上を目的とする	6回
	救 命 救 急 セ ン タ ー 運 営 委 員 会	R6.4.1	救命救急センターの利用状況の把握および諸問題を検討し、円滑な医療体制を整えることを目的とする。	6回
	中 央 手 術 セ ン タ ー 運 営 委 員 会	H14.4.1	手術室の運営に関わる諸問題を検討し、円滑な手術室の運営ができる体制を整える	6回
職員関連	安 全 衛 生 委 員 会 (法)	H1.4.1	豊田厚生病院における職員の安全と健康を確保し、業務の向上と円滑な遂行を図る	12回
	保 育 委 員 会 (法)	H5.4.1	愛知健康性農業協同組合連合会 保育所管理要領第4条第3項の規程に基づき、院内保育所、病児保育室、小児病棟、その他附帯する業務の円滑な運営を行う	4回
	総 務 委 員 会 (法)	H10.4.1	愛知県厚生農業協同組合連合会の規程改訂及び病院業務運営の改善向上に関する意見を集約し病院長に具申する	2回
	厚 生 委 員 会	H10.8.1	職員の親睦ならびに資質の向上と、健全明朗な環境を作り上げ、豊田厚生病院の繁栄に寄与する	12回
	人 事 考 課 制 度 推 進 委 員 会	H12.4.1	事業所における人事考課制度の実施・推進を目的とし、人事考課制度の円滑な運用を図る	2回
	看 護 職 確 保 対 策 委 員 会	H25.4.1	看護職の確保に係ることについて検討することを目的とする	7回

(法)：法律に基づく設置

(保)：診療報酬に基づく設置

豊田厚生病院 令和6年度年報

2026年2月 発行

発行・編集 愛知県厚生農業協同組合連合会

豊田厚生病院

〒470-0396

愛知県豊田市浄水町1丁目58番地1

TEL (0565)43-5000

印刷 ニチモウ印刷株式会社



JA 愛知厚生連

**豊田厚生病院**

TOYOTA KOSEI HOSPITAL